ChattyInfty AITalk版
基本操作ガイド



2024年4月18日版

社会福祉法人
日本点字図書館

NPO法人
サイエンス・アクセシビリティ・ネット

本ガイドは、ChattyInfty AITalk 版 Ver.3.22 を基に作成しています。特に、章・節ごとに縦書き・横書き指定が可能になったため、「６．ドキュメントの構造化」と「９．DAISY 出力」の記述が従来と変わっていますので、ご留意ください。

また、機能や操作方法は、バージョンアップにより変更される場合があります。

目次

0. 追加・変更 10

0-1. 編集ツールバーを折り返し表示 10

0-2. 副編集ツールバーを新設 10

0-3. 新規作成文書を空白から開始 11

0-4. ハイライト領域（旧：レイヤー）編集画面の変更・機能追加 11

0-5. 箇条書き機能 11

0-6. 表のリフロー（自動折り返し）機能 11

1. テキストの編集 12

1-1. ファイルのインポート 12

1-1-1. テキストファイルのインポート 12

1-1-2. DAISY2.02／EPUB3 のインポート 13

1-2. ファイルの保存 14

1-3. テキストの入力 14

1-4. 斜体にする 14

1-5. 太字にする 14

1-6. 下線を引く 15

1-7. 打消し線を引く 15

1-8. 脚注番号・記号を付ける 15

1-9. コメント行にする 15

1-10. 文字列の配置 16

1-11. 枠線で囲む 16

1-12. ルビをふる 17

1-13. 全ルビ自動変換機能 19

1-13-1. 原本ルビ版と総ルビ版の一体製作方法 21

1-14. 分かち書きと連文節区切り機能 21
1-15. 置換 22
1-16. 拡張クリップボード機能 22
1-16-1. 拡張クリップボードにコピー（登録） 22
1-16-2. 拡張クリップボードからペースト（貼り付け） 23
1-16-3. その他の操作 23
1-17. 表の作成 24
1-17-1. 表の見出し機能 25
1-17-2. 選択範囲を表に変換 26
1-17-3. 表のリフロー（自動折り返し）機能 27
1-18. 行ごとの表示フォントサイズ変更 28
1-19. 表示フォントの種類・サイズ変更 28
1-20. 表示倍率の変更 29
1-21. 配色の変更 29
1-22. 書式の一括削除 30
1-23. 箇条書き 30
2. 画像の挿入と編集 32
2-1. 画像の挿入 32
2-2. 画像の編集 33
2-3. OCR 画像の利用 34
3. 数式の編集 35
3-1. 数式の入力 35
3-2. 数式レベルの設定 36
3-3. 分数の入力 37
3-4. 指数・添え字の入力 37

3-5. 根号の入力 37
3-6. 筆算の入力 ― 足し算・引き算 38
3-7. 筆算の入力 ― 掛け算 39
3-8. 筆算の入力 ― 割り算 40
3-9. 連立方程式の入力 41
3-10. 数式番号の入力 42
4. 化学式の編集 43
5. 音声の調整 44
5-1. 読み上げ 44
5-1-1. 読み上げの ON／OFF 44
5-1-2. Shift キーによる読み上げ開始と停止 44
5-2. 標準話者の選択 45
5-3. 話者の切り替え 46
5-3-1. 英語音声での話者指定 46
5-3-2. 画像設定での話者指定 48
5-4. 話者の詳細設定 48
5-5. 読み設定 49
5-5-1. 読み設定の仕方 49
5-5-2. 漢字を使っての読み設定 51
5-5-3. 読み設定の音声ファイル対応 51
5-5-4. 読みテキスト音声ファイル化機能（AITalk 版） 56
5-5-5. 読み上げの制御 56
5-5-6.「有声音」指定 57
5-6. ポーズの挿入 58
5-6-1. 文章中への挿入 58

5-6-2. 画像への挿入 58
5-7. 無音化 59
5-7-1. 任意の文字列の無音化 59
5-7-2. 一文字の無音化 59
5-8. 単語辞書の選択 60
5-9. 単語辞書の変更 60
5-10. 単語辞書の編集 61
5-11. 単語辞書への単語の追加 63
5-12. ドキュメントに付加した単語辞書の確認方法 64
5-13. 他のドキュメント（imlx ファイル）の単語辞書をインポートする 65
5-14. 単語辞書をエクスポート 66
5-15. 読み上げ定義の選択 67
5-16. 数式読み上げモードの選択 68
5-17. ハイライト単位の設定 69
5-18. 任意の箇所でハイライトを区切る 70
5-18-1. 間合いの開かないハイライト区切り 70
5-19. ハイライトの結合（フレーズ結合機能） 70
5-20. 化学式の添字の読み方の変更 71
6. コンテンツの構造化 72
6-1. ページ番号の設定 72
6-2. セクションの分割と階層化 72
6-3. セクションの分割/結合 75
6-4. 縦書き横書き（AITalk 版・SAPI 5 版日本語モード） 76
6-5. セクションタイトル 77
6-6. タイトル行設定 78

6-7. セクションの移動 79
6-8. ページ区切り 79
6-9. ファイルの読み込み 80
7. アニメーションの作成 81
7-1. 作成方法１　複数画像を選択して 81
7-2. 作成方法２　編集画面上の既存画像から 82
7-3. アニメーションの編集 83
7-3-1. 読み上げ音声・ポーズの付加 83
7-3-2. フレームの複製 84
7-3-3. フレームの削除 84
7-3-4. ファイルやクリップボードから挿入する 85
7-3-5. フレームの移動 86
7-3-6. マスキングツール 86
7-3-7. ペイントツール 87
8. ハイライト領域（旧：レイヤー）機能 88
8-0. Ver.3.28c 以降で新しく追加された機能 88
8-0-1 複数のハイライト領域の範囲指定と操作 88
8-0-2 キー操作での複数選択 89
8-0-3 ハイライト領域の結合 89
8-0-4 ハイライト領域の分割 89
8-0-5 ハイライト領域の削除（切り取り）と貼り付け 90
8-0-6 ハイライト領域をまとめて移動 90
8-0-7 ハイライト領域をまとめてサイズ変更 90
8-0-8 アンドゥ・リドゥ（元に戻す・やり直す）機能 90
8-0-9 新規ハイライト領域の挿入位置 91

8-0-10 単語辞書編集（AITalk 版のみ） 91
8-0-11 日本語/英語話者切り替え 91
8-0-12 読み上げテキスト表示 92
8-1. 画像中の文字をハイライトしながら読み上げる機能 93
8-2. ハイライト領域の編集 96
8-2-1. ハイライト領域の選択 96
8-2-2. ハイライト領域の移動 96
8-2-3. ハイライト領域のサイズ変更 96
8-2-4. 読み上げテキストの再編集 96
8-2-5. 読み上げの順番（ハイライト領域の順番）の変更 97
8-2-6. 重なり合うハイライト領域について 97
8-2-7. ハイライト領域のグループ化 98
8-3. 画像の中に文字を書き込み読み上げるハイライト領域編集（ルビ付け可能） 100
8-4. ハイライト領域機能とアニメーション機能の比較 102
9. DAISY 出力 102
9-1. DAISY 出力 102
9-2. DAISY 変換ダイアログ 103
9-3. 表紙画像 104
9-4. DAISY 出力設定 105
9-4-1. 分かち書きの出力 107
9-4-2. DAISY/EPUB3 出力設定の保存 108
9-5. スタイルのフォントに関して 108
9-6. DAISY/EPUB 出力のセクション結合に関して 109
9-7. SAPI5 版英語モードでの DAISY / EPUB 出力の関して 109
10. EPUB 出力 110

11. PDF から「認識してはりつけ」機能（オプション） 112
11-1. 使用条件 112
11-2. 使い方 112
12. ハイパーリンク機能 116
13. ショートカットキー一覧 120
ファイル操作 120
インデックス操作 120
編集 121
挿入 121
検索 122
書式 122
表示 124
読み上げ機能 124
設定 125
ハイライト領域編集 125
ヘルプ 126
その他 126

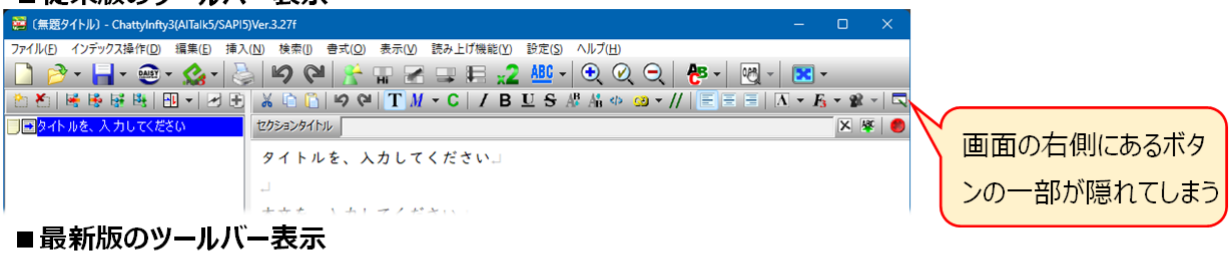
0. 追加・変更

0-1. 編集ツールバーを折り返し表示

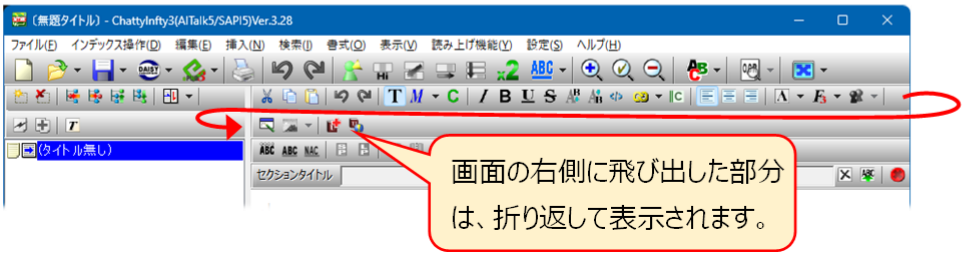
インデックス(目次)ツールバーと編集ツールバーを折り返して表示するようにしました。

従来の ChattyInfty3 では画面幅が狭いときにツールバーの右側が隠れてしまい、一部のツールボタンが表示されていませんでしたが、最新版では、画面幅に合わせてツールバーを折り返し表示し全てのボタンを表示できるようにしました。

■従来版のツールバー表示

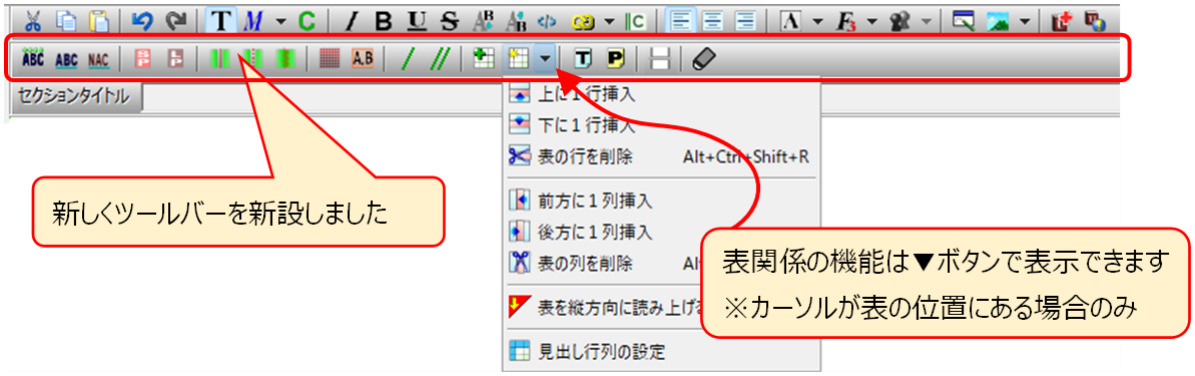


■最新版のツールバー表示



0-2. 副編集ツールバーを新設

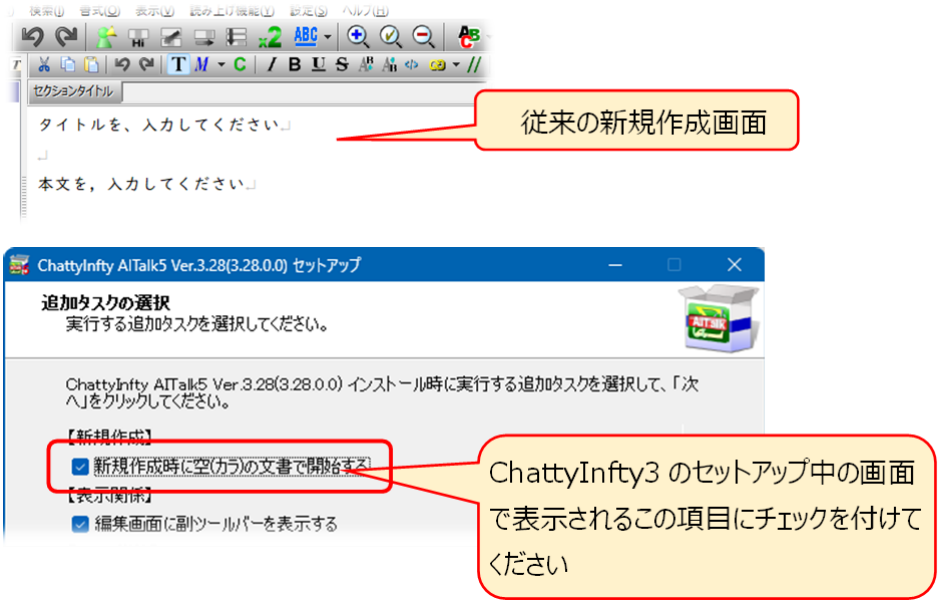
編集画面のツールバーの下段に、挿入関係やコンテクストメニュー(右クリックメニュー)の一部の機能を副編集ツールバーに配置しました。



0-3. 新規作成文書を空白から開始

従来は文書を新規作成するときに「タイトルを入力してください。」と「本文を、入力してください。」の画面から開始していましたが、空の文書から開始することができるようになりました。

新規作成時に、従来の文書か、空の分署かは、セットアップ画面で選択することが出来ます。



0-4. ハイライト領域（旧：レイヤー）編集画面の変更・機能追加

※「レイヤー」から「ハイライト領域」に変更になりました。

「8. ハイライト領域（旧：レイヤー）機能」に記述（88 ページ）

0-5. 箇条書き機能

「1-23. 箇条書き」に記述（30 ページ）

0-6. 表のリフロー（自動折り返し）機能

「1-17-3. 表のリフロー（自動折り返し）機能」に記述（27 ページ）

1. テキストの編集

1-1. ファイルのインポート

1-1-1. テキストファイルのインポート

txt ファイル・tex ファイル・iml ファイル* をインポートできます。

［ファイル］ → ［インポート］ → ［File Import］ ／ Ctrl + Shift + I



フォルダから追加：選択したフォルダに含まれるファイルを一括指定できます。

ファイルを追加：任意のファイルを必要な数だけ指定できます。

上へ移動・下へ移動：インポートする順番を並べ替えることができます。

フォルダ名をタイトルにする：指定したファイルが含まれるフォルダの名前が、本文 1 行目・最初の見出しとなります。

※ 以下は、NPO 法人サイエンス・アクセシビリティ・ネットが販売する「InftyReader」で出力あるいは「InftyEditor」で編集した iml ファイルをインポートする際の機能です。

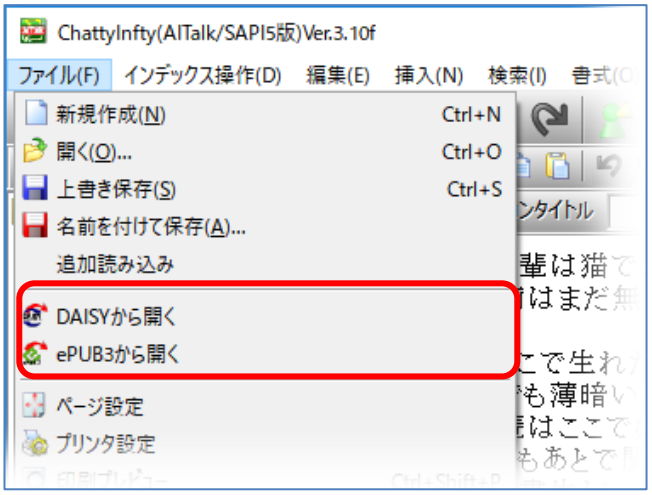
任意の改行を削除する：InftyReader で文字認識し、InftyEditor で修正したファイルを読み込む際に、１行ごとに挿入されている改行記号を削除して、段落ごとの文章にすることができます。

ページ右寄せにする：　InftyEditor のスタイル設定でページ番号のスタイルを設定した場合、それらを自動で右寄せにすることができます。

※　「iml」は、NPO 法人サイエンス・アクセシビリティ・ネットが販売する数式対応 OCR ソフト「InftyReader」と、数式文書エディタ「InftyEditor」に対応するファイル形式です。

1-1-2. DAISY2.02／EPUB3 のインポート

ChattyInfty3-AITalk 版の「ファイル」メニューに、「DAISY から開く」と「ePUB3 から開く」の機能を追加しました。この機能は、DAISY2.02 や EPUB3 のファイルを IMLX 形式に変換して、元々の音声を読みとして設定したコンテンツとして開きます。



DAISY や EPUB3 から変換したコンテンツは、元の DAISY フォルダや EPUB ファイルと同じ場所に作成されます。変換済みの IMLX コンテンツは、同じ名前の ”.audio” フォルダと１セットになります。

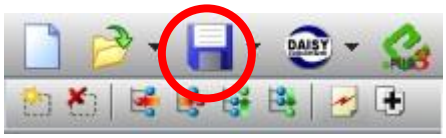
【注意】

- 変換元のコンテンツが高度なスタイル設定やレイアウトを保つ場合、正しく変換できない場合があります。
- DAISY や EPUB3 から変換したコンテンツは ChattyInfty3 SAPI5 版では再生することが出来ません。
- 変換元のコンテンツに著作権がある場合は、変換後のコンテンツが著作権法に触れる場合がありますのでご注意下さい。

1-2. ファイルの保存

新規保存 ： ［ファイル］ → ［名前を付けて保存］ ／ Ctrl ＋ S

上書き保存 ： ［ファイル］ → ［上書き保存］ ／ Ctrl ＋ S



※ 「imlx」という形式で保存されます。

※ 自動バックアップ機能はありますが、こまめに保存することをお薦めします。

1-3. テキストの入力

入力モードには、「**テキストモード**」「**数式モード**」「**化学式モード**」の３種類があります。

数式・化学式以外のテキストを入力する場合は、「**テキストモード**」を選択します。

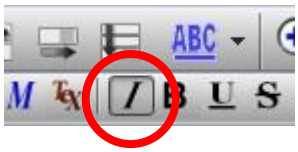
［書式］ → ［テキストモード ］

Ctrl ＋ スペース で［テキストモード ］と[数式モード]とが切り替え。



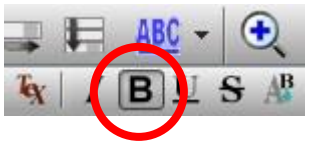
1-4. 斜体にする

文字を選択 → Ctrl ＋ I



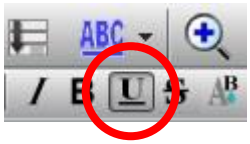
1-5. 太字にする

文字を選択 → Ctrl ＋ B



1-6. 下線を引く

文字を選択 → Ctrl + U



1-7. 打消し線を引く

文字を選択 → Ctrl + K

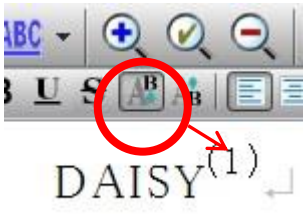


1-8. 脚注番号・記号を付ける

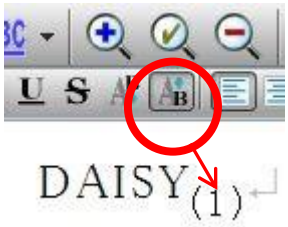
任意の文字や記号を、上付きあるいは下付きにすることができます。

文字・記号を選択／脚注番号・記号をつけたい語句の後で → ボタンをクリック

【上付き】



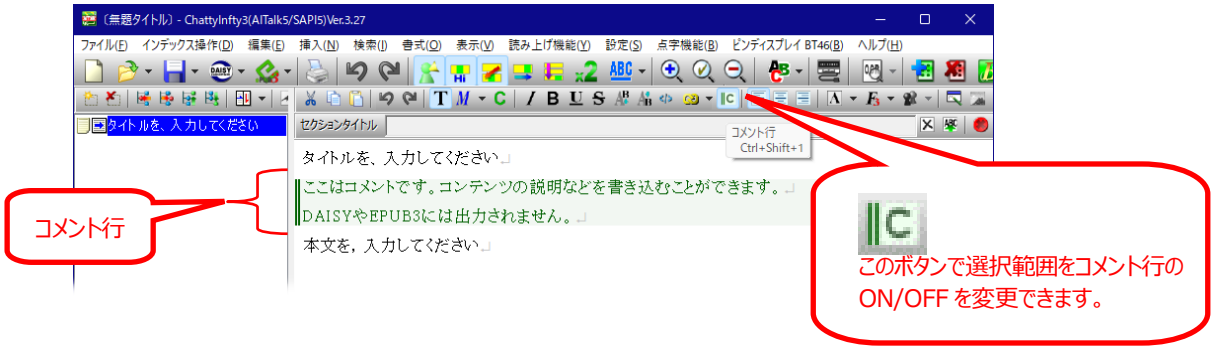
【下付き】



1-9. コメント行にする

コンテンツに説明文などを記述することができます。

コメントに指定された範囲は DAISY や EPUB3 などには出力されません。



1-10. 文字列の配置

左寄せ　：　Ctrl ＋ L

中央寄せ：　Ctrl ＋ E

右寄せ　：　Ctrl ＋ R

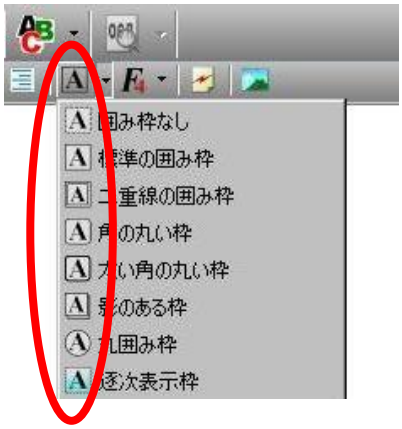


1-11. 枠線で囲む

枠線で囲みたい語句を選択し、ボタンから枠の種類を選択します。

枠線を削除するには、枠線で囲まれた語句を選択し、メニューボタンから　［囲み枠なし］　を選択します。

※　枠線のバリエーションは、ChattyInfty 上でのみ有効です。DAISY 出力すると、すべて　［標準の囲み枠］　で表示されます。



■ 複数行の枠囲み

書式メニューの「複数行のボックス」で、複数行に渡る枠囲みを設定できます。

① 編集画面で複数行を選択します。

② 書式メニューから「複数行のボックス」を選択します。ショートカットキーは Alt+Ctrl+G

③ 枠のスタイル設定画面が表示されますので、任意の値を設定して OK をクリックします。

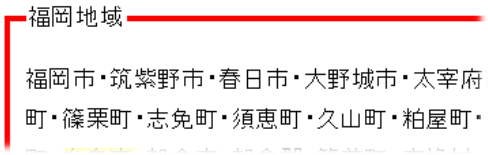


※ 一旦設定したボックスのデザインを変更するには、書式メニューの「複数行のボックスの設定」をクリックします。

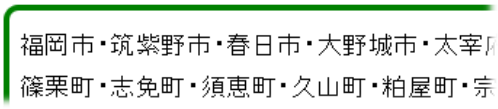
※ 枠囲み指定を解除するには、枠が込の範囲内で再度「書式」メニューから「複数行のボックス」を選択するか、Alt + Ctrl + G で解除します。

複数行の枠囲みは、1行目にテキストを設定すると、DAISYで枠囲みの見出しになります。

1行目にテキストを設定しない場合は、選択範囲の外側の枠囲みとしてDAISY出力されます。



見出し有りの場合



見出し無しの場合

【注意事項】

見出しを設定した枠囲みの場合は、AMIS・EasyReader・ChattyBooksなどWindowsのInternetExplorerを利用したDAISYビュアーでは、丸みのない四角い枠として表示します。（IEがサポートしていないため、角の丸みが表示できません。） また、見出しが有る枠囲みを縦書きで出力した場合、プレーヤーによっては表示に不具合がでることがあります。

1-12. ルビをふる

① 語句を選択 → Ctrl + Shift + ↑



② ルビを入力 → 適用

選択した語句にルビがふられます。



【ルビの削除】

① ルビをふった語句を選択 → Ctrl ＋ Shift ＋ ↑

② ルビを削除 → 適用



【ルビ設定の便利機能】

適用して次に を実行すると、まず選択した語句に設定が適用され、次に文書内の同じ語句が検索されます。

次の語句だけに同じ設定を適用したい場合は、 適用 を実行します。

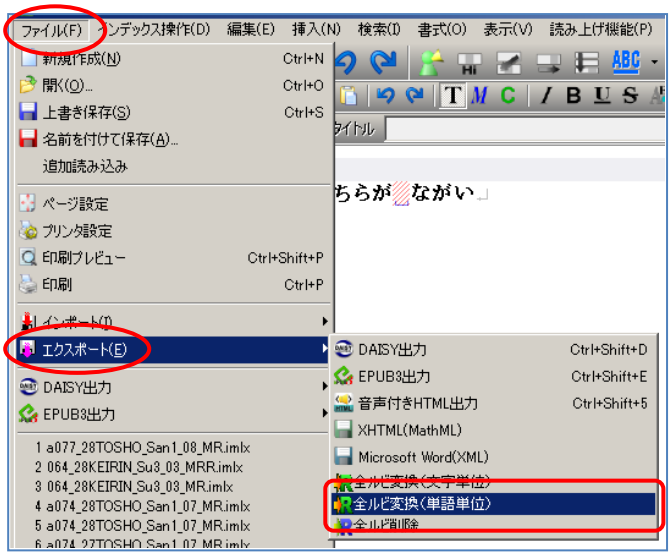
次の語句にも同じ設定を適用し、引き続き同じ語句の検索を続けるには、 適用して次に を実行します。

次の語句には適用せず、同じ語句の検索を続けるには、 次を検索 を実行します。

文書内の語句すべてに設定を適用するには、 すべて適用 を実行します。

1-13. 全ルビ自動変換機能

「ファイル」→「エクスポート」→「全ルビ変換（文字単位）」/「全ルビ変換（単語単位）」と選択して実行すると、全ての漢字にルビが振られた文書に変換され、変換結果が表示されます。生成された全ルビのファイル名は、元のファイルが aaa.imlx の場合、aaa_ruby.imlx となります。



【文字単位のルビと単語単位のルビ】

例えば、「古典」にルビを振る場合、文字単位のルビでは、「古」の上の真ん中に「こ」、「典」の上に「てん」とルビが振られます。それに対して、単語単位のルビでは、「古典」という単語に対して「こてん」というルビがふられますので、ルビの「て」の文字は「古」と「典」の間の真上に位置することになります。どちらが読みやすいかは人によると思いますので、製作者の考えで選んで下さい。

【ルビの修正】

変換結果のルビに誤りがある場合の修正の仕方は２通りあります。

（１）**ChattyInfty の編集機能を使う方法**　個別に一つ一つ修正する方法（1-11 ルビを振る 参照）

（２）**変換補正用辞書を使う方法**　頻繁に出てくる漢字文字列に対して、間違いをなくすためには、変換補正用辞書に登録することが出来ます。上記の方法で一度全ルビ変換を実行すると、元の imlx ファイルと同じフォルダに「AddRuby 補正辞書.txt」というファイルが出来ます。この補正辞書に漢字を含む単語とそのルビ文字列を指定しておけば、

次回以後、その内容が優先されてルビ変換が行われます。

補正辞書への登録方法は、補正辞書の始めの部分に例を添えてコメントで書かれていますので、容易に分かると思います。変換する漢字（漢字仮名交じり文）と読みの仮名文字列の間は、必ず TAB を用いて下さい。また、"_" で漢字１文字ずつの読みを区切るようにします。単語の切れ目には空白 " " を入れて下さい。必ずしも単語や熟語でなくても、漢字仮名交じりの短文でも登録できます。逆に漢字１文字だけの読みの登録は、全体の変換精度に悪影響を与える場合がありますので、そのような場合はできる限り漢字に続く送り仮名等を付けて登録するようにしてください。

登録できる文字数には強い制限はなく、５万語位までは大丈夫です。

自分なりの補正辞書を作り、対象とする imlx ファイルと同じフォルダに置いて全ルビ変換を実行すれば、いつもその内容が反映されます。

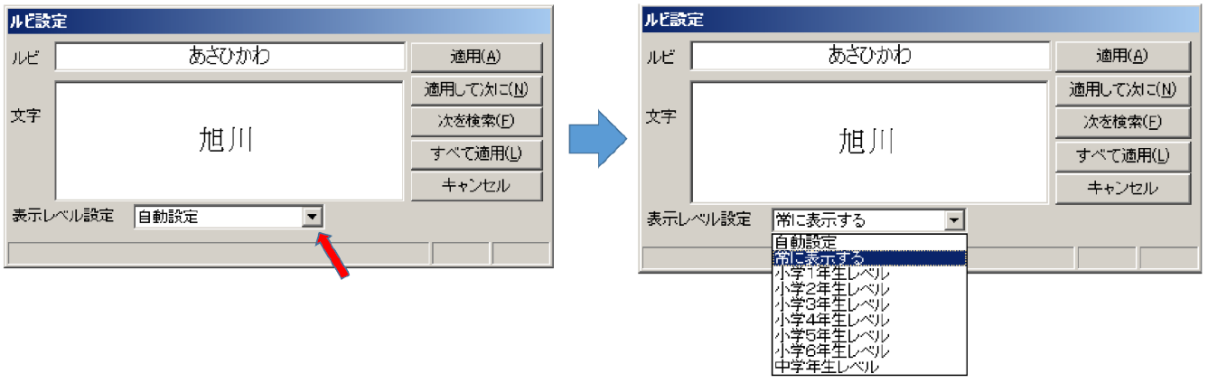
【全ルビ削除】

「ファイル」→「エクスポート」→「全ルビ削除」を実行すると、ルビが一斉に削除されます。変換後のファイル名は、元のファイル名が aaa.imlx の場合は aaa_noRuby.imlx になります。（元のファイル名が aaa_ruby.imlx の場合も aaa_noRuby.imlx となります。）

マルチメディア DAISY の教科書・教材製作では、同じ内容で原本通りにルビを振ったものと全ルビの二通りのコンテンツを製作する必要が生じることがあります。そのような場合には、一旦全ルビで作成し、

原本にルビがあった　語句を選択 → Ctrl + Shift + ↑

を押すと、次のようなルビ修正画面が現れます。



この右側の図のように、「常に表示する」に設定したルビは、全ルビの削除機能を実行しても消されずに残ります。従って、全ルビで ChattyInfty のコンテンツを完成した後で、

原本にあるルビについては、「常に表示する」に設定すれば、同一のコンテンツから自動変換（ルビ削除と DAISY 出力）で、全ルビと原本通りに二通りのルビのマルチメディア DAISY 製作が可能になります。

1-13-1. 原本ルビ版と総ルビ版の一体製作方法

DAISY を一つの製作フローの中で効率的に製作するためには以下の手順が有効です。

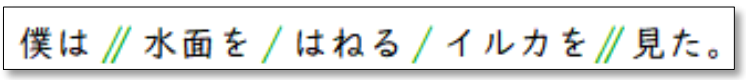
１．先ず、原本ルビ版を製作します。その場合、原本にないルビは振らないようにします。（以下、そのファイル名を aaa.imlx とします。）

２．次に、「Set original ruby level 0.」という1 行だけのテキストファイルを作成し、「Addruby_setting.ini」という名前のファイルを作成し、１．で製作した原本ルビ版のimlxファイルと同じフォルダに置きます。Addruby_setting.ini のファイルはサンプルが ChattyInfty のパッケージに含まれていますので、参考にして下さい。

３．ChattyInfty の「ファイル」「エクスポート」から、「全ルビ変換」を選んで実行します。 全ルビ変換には、単語単位・文字単位と分かち書きの有無により 4種類ありますが、どれでもいいです。全ルビ変換を実行すると、元のimlxファイルにあったルビは原本ルビと判断されChattyInfty の画面ではルビが赤く表示されます。後から自動変換されたルビは黒く表示されますので、区別はしやすいと思います。

４．ここのルビの修正や原本ルビ指定の仕方、解除方法などは、1-12 節に解説がありますので、参考にして下さい。

1-14. 分かち書きと連文節区切り機能



「/」は分かち書きで、[//]は連文節の分かち書きを表します。

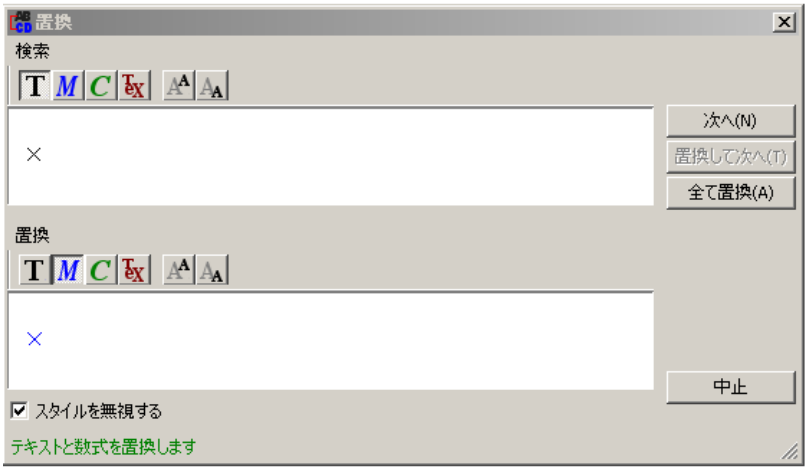
Ctrl+[W]　分かち書き

Ctrl+Shift+[W]　　連文節区切り

※このショートカットはトグルになっており、連続して同じ操作を行うと分かち書きと連分節区切りが切り替わります。

1-15. 置換

置換したい文字列を選択し、[検索] → [置換] をクリックすると置換画面が表示されます。下は「×（テキスト）」を「 × （数式）」に置換する例です。



【置換の便利機能】

置換して次に を実行すると、まず選択した文字列が置換され、次に文書内の同じ文字列が検索されます。

次の文字列には適用せず、同じ文字列の検索を続けるには、 次へ を実行します。

文書内の文字列すべてを置換するには、 全て置換 を実行します。

1-16. 拡張クリップボード機能

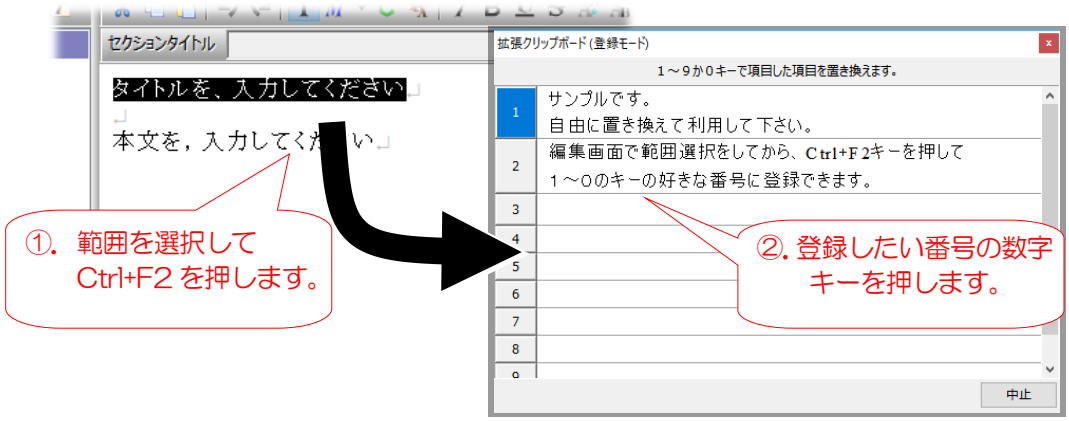
従来のコピー＆ペーストでは１件のテキストや数式のみを記憶することしか出来ませんでしたが、Ver3.20 以降では複数の項目を記録（コピー）しておき、任意に貼り付けて使うことが出来るようになりました。

1-16-1. 拡張クリップボードにコピー（登録）

編集画面上で任意の範囲を選択（Shift を押しながら→キー）して、 Ctrl + F2 キーを押下すると拡張クリップボードの画面が表示されますので、数字キーを押して任意の項目に登録することが出来ます。

※ 0 キーを押すと１０番目の項目に登録されます。

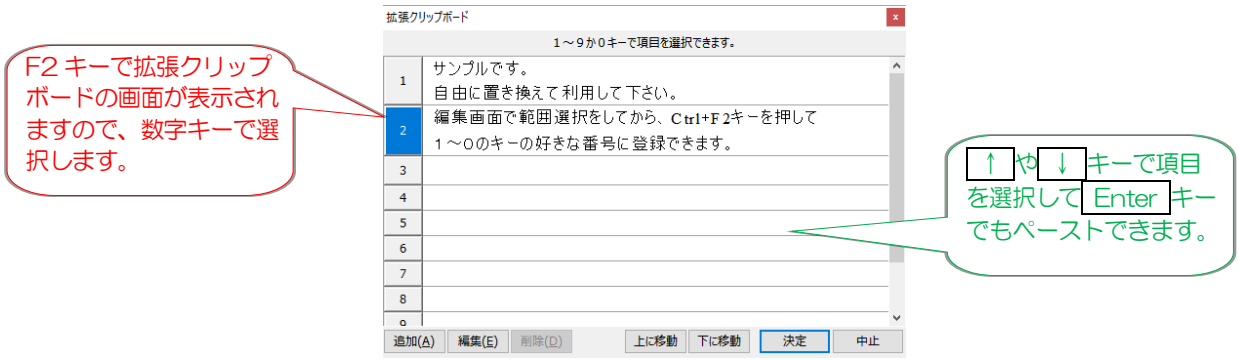
数字キーを入力すると登録が完了して拡張クリップボードの画面は消えます。



※既に登録済みの番号を選択した場合は確認メッセージが表示されます。

1-16-2. 拡張クリップボードからペースト（貼り付け）

編集画面上の任意の位置で F2 キーを押すと拡張クリップボードの画面が表示されますので、コピーのときと同じように数字キーを押すと目的の項目が編集画面に挿入されます。



1-16-3. その他の操作

追加ボタン … １０番目以降に新た項目を作成することが出来ます。
１０番目以降は上下キーで選択して決定ボタン又は Enter キーでペースト操作になります。

編集ボタン … 登録済みの項目を修正することも可能です。

削除ボタン … １０番目以降に追加した項目を削除することが出来ます。

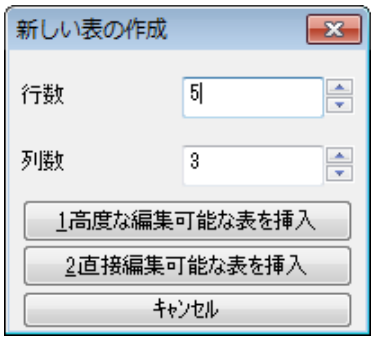
上・下に移動 … 各項目の順番を任意に入れ替えることが出来ます。

1-17. 表の作成

［挿入］ → ［表を挿入］ ／ Ctrl ＋ Shift ＋ T

③　　行数と列数を入力

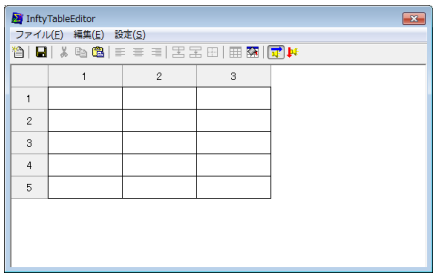
④　高度な編集可能な表を挿入 ／
直接編集可能な表を挿入 を選択



【高度な編集可能な表】

作成された表をダブルクリックすると、「Infty Table Editor」が立ちあがります。

このエディタでセルの結合などさまざまな編集ができます。



【直接編集可能な表】

作成された表のセルに直接入力ができます。セルの幅は、入力文字数によって自動的に伸縮します。

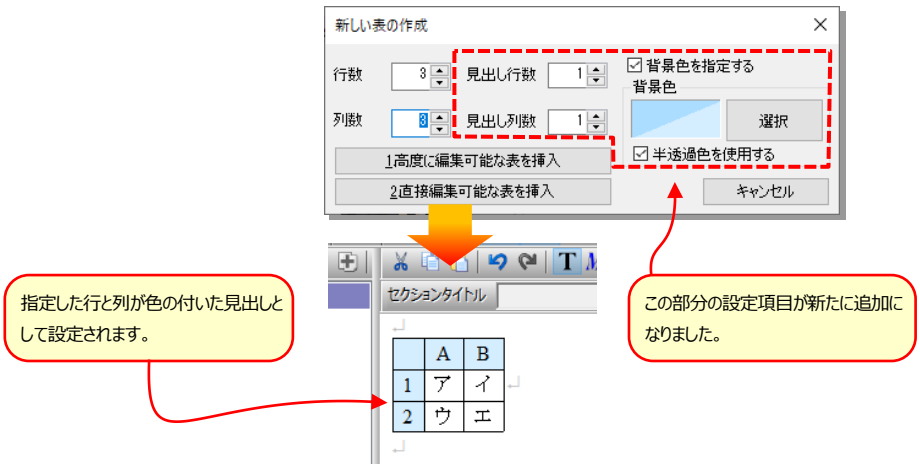
表の上で右クリックすると表示されるコンテクストメニューから、さまざまな編集ができます。

項目	Aさん	Bさん



1-17-1. 表の見出し機能

表作成画面

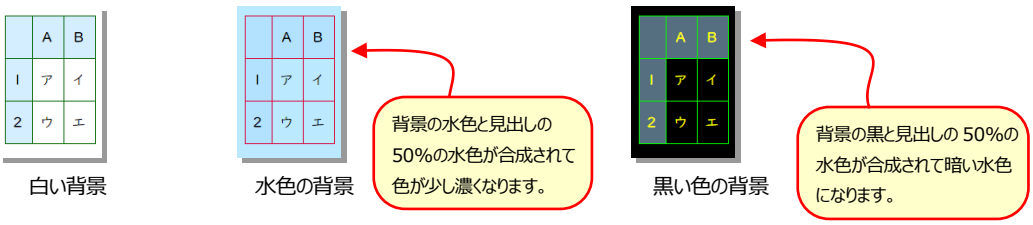


見出し行と列を指定することにより、視覚的に判りやすい表を作成することが出来ます。

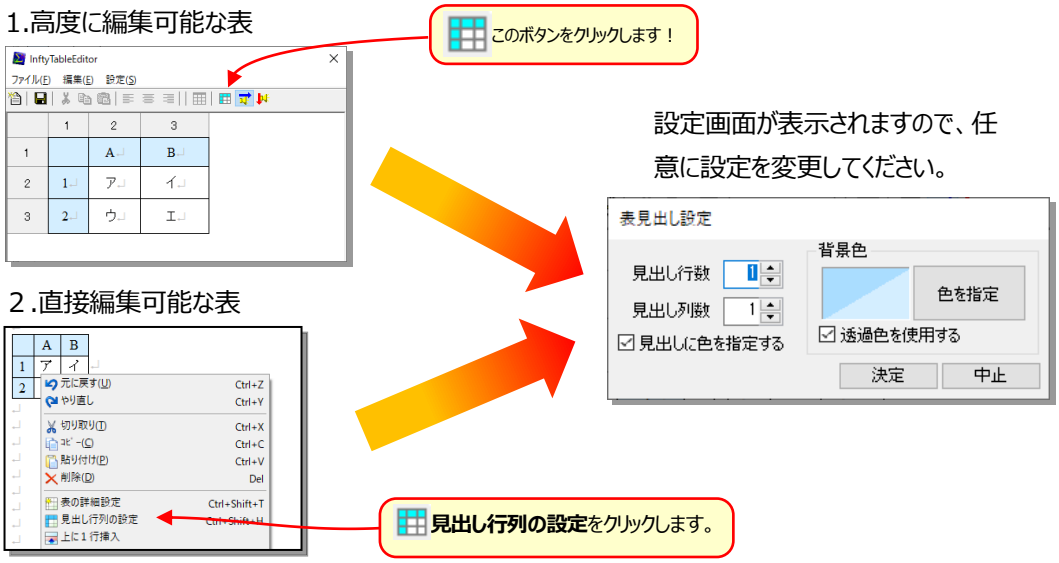
項目	詳細
見出し行数	表の上側の見出し部分を指定します。
見出し列数	表の左側の見出し部分を指定します。
見出しに色を指定する	チェックを ON にすると、見出しに色を付けることが出来ます。
色を指定	見出しの背景色を選択します。
透過色を使用する	編集画面の背景に対して見出し色を５０%の濃度で着色します。

背景色を透過にする理由

見出しの背景色を透過にすることにより DAISY 出力したコンテンツを DAISY プレイヤー(ChattyBooks 等)で表示した際に、ユーザーが表示色(テキストや背景の色)を変更しても、半透明の見出しセルが背景とブレンドされて表示されますので、背景と同化してしまうようなことはありません。

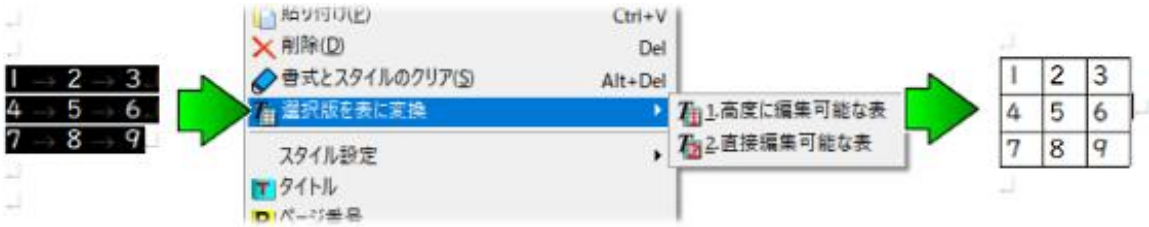


見出し行列の再設定



1-17-2. 選択範囲を表に変換

複数のタブを含む範囲を選択して右クリック(コンテクストメニュー)から「選択版を表に変換」から実行します。



操作方法

①. タブ(→)で区切られた項目を含む複数の行を範囲選択します。

②. マウスを右クリックしてコンテクストメニューから「選択範囲を表に変換」を選択してさらに「1.高度に編集可能な表」か「2.直接編集可能な表」を選択します。

注意事項

・各行に含まれるタブの数は同じ数でなければなりません。

・表を含む範囲に対して、この操作を行うことはできません。

1-17-3. 表のリフロー（自動折り返し）機能

表の編集画面でセル内でのテキストの折り返しを指定することができます。

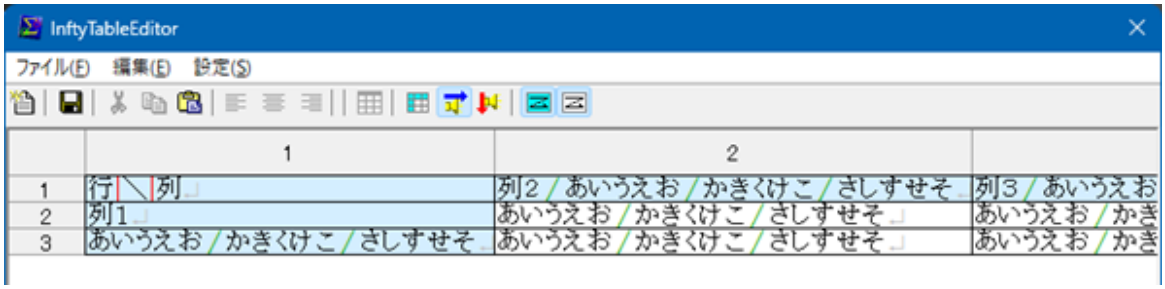
表の編集画面（直接編集可能な表は、表を右クリックして**表の詳細設定**を表示）



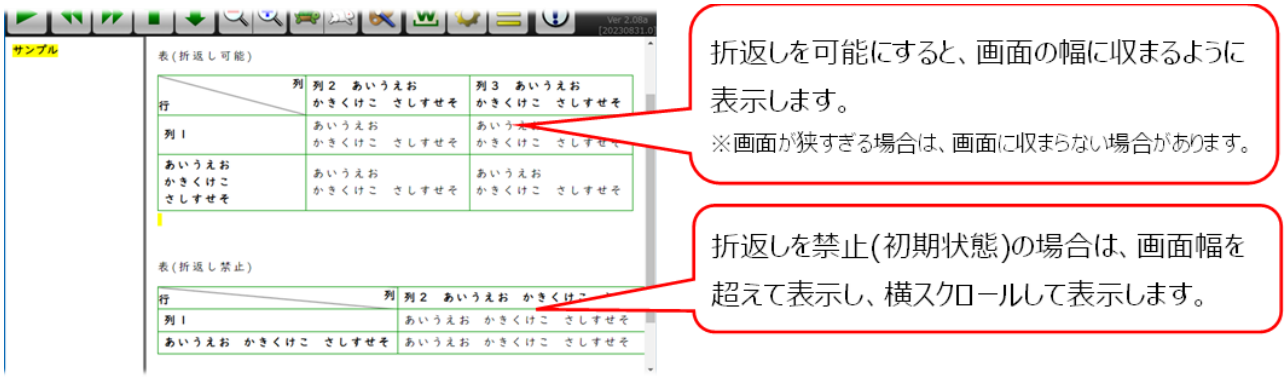
表の見出しセル(HTML の<TH>に相当)のテキストを折り返し許可にします。

表の通常セル(HTML の<TD>に相当)のテキストを折り返し許可にします。

●ChattyInfty3 の画面サンプル



●出力結果サンプル(DAISY や EPUB3 再生ソフトでの表示画面)



1-18. 行ごとの表示フォントサイズ変更

【倍率】

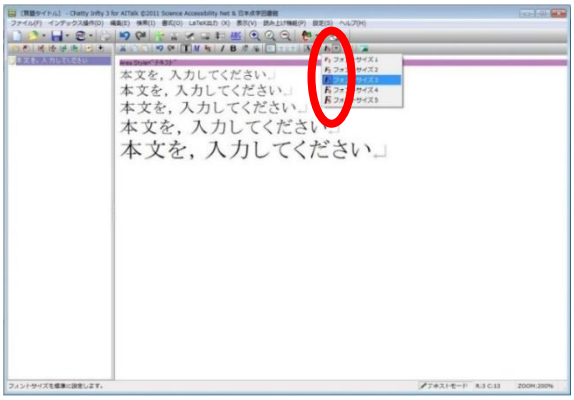
フォントサイズ 1：60%

フォントサイズ 2：80%

フォントサイズ 3：100%

フォントサイズ 4：125%

フォントサイズ 5：150%



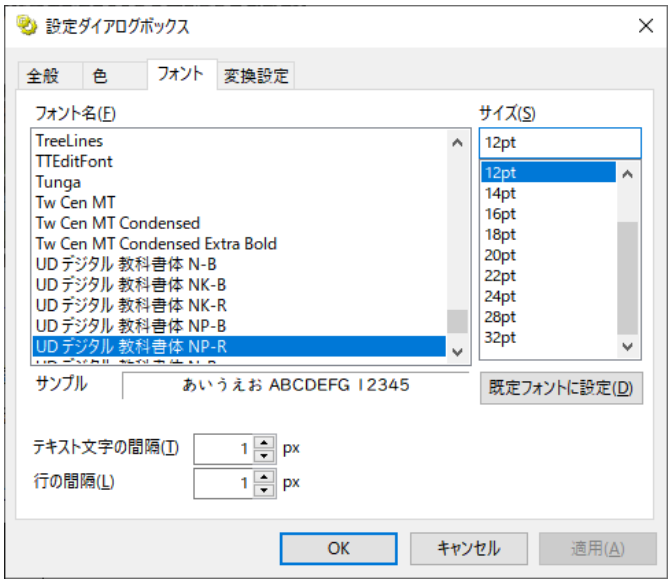
※　この設定は、出力データにも反映されます。

1-19. 表示フォントの種類・サイズ変更

［設定］ → ［オプション設定］ → ［フォント］

ChattyInfty 上で表示されるフォントの種類とサイズを設定できます。

※　この設定は、出力データには反映されません。



1-20. 表示倍率の変更

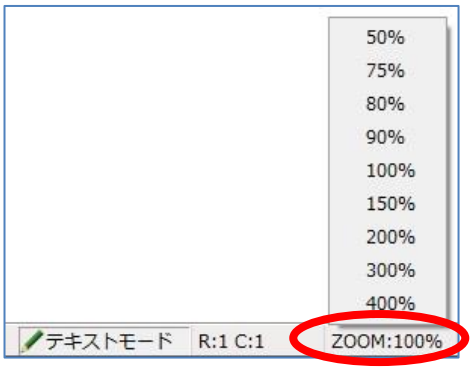
［表示］ → ［表示サイズ拡大］ ／ Alt ＋ PageUp

［表示］ → ［元のサイズで表示］ ／ Alt ＋ Home

［表示］ → ［表示サイズ縮小］ ／ Alt ＋ PageDown

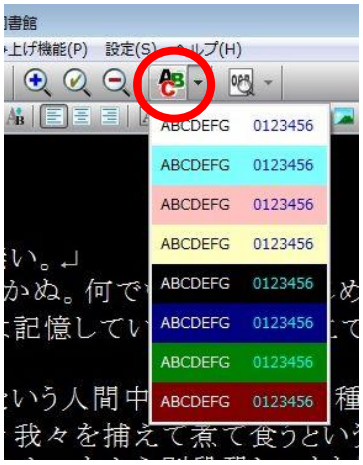


編集画面右下の ［ZOOM］ をクリックすると、50%から400%まで変更できます。



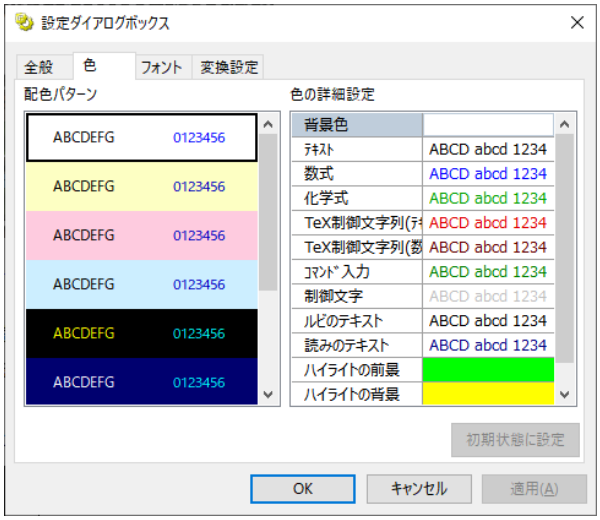
1-21. 配色の変更

編集画面上の表示色の組み合わせを変更できます。



オプション設定でさらに細かく変更できます。

［設定］→ ［オプション設定］ → ［色］



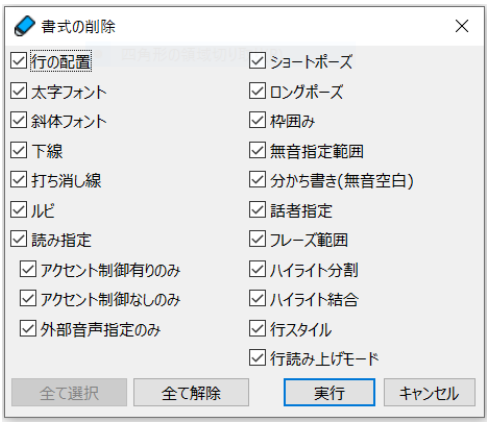
※　この設定は、出力データには反映されません。

1-22. 書式の一括削除

選択範囲中の指定した書式を一括削除する機能を追加しました。

操作方法は、任意の場所を範囲指定して

Alt + Del で右のような画面が表示されますので、目的の書式にチェックを付けて 実行 ボタンをクリックしてください。



1-23. 箇条書き

■記述方法■

(1)　ツールバーの</>ボタンか[書式]メニューから[HTMLタグ入力モード]をクリックします。

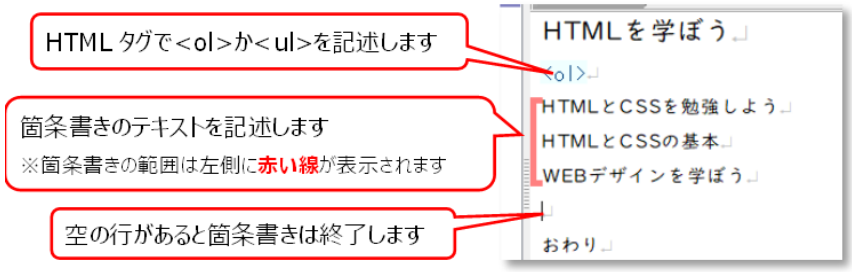
(2)　編集画面のカーソル位置に半角小文字で「ol」もしくは「ul」と入力します。

※<ol>は数字形式で、<ul>は中点(・)形式のリストです。

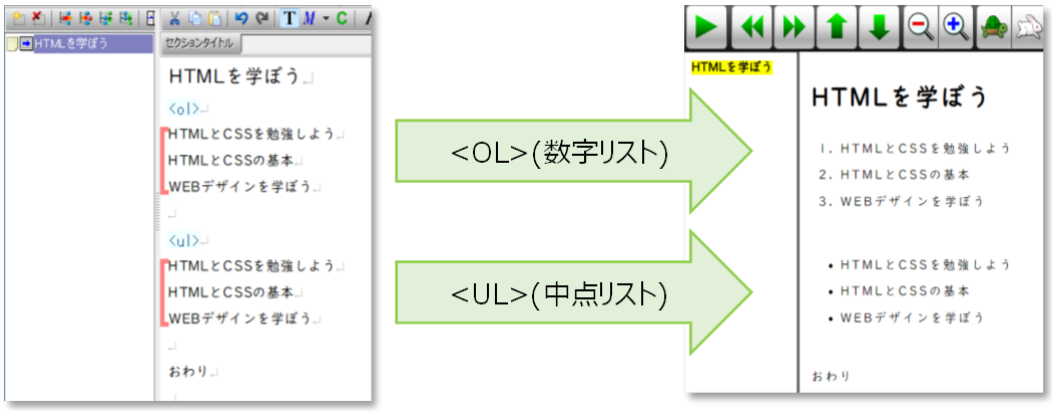
(3)　カーソルを行末に移動してから「ENTER」キーを押して次の行に移動します。

(4)　次の行からは、箇条書きにしたい文章を通常通り入力します。

(5)　箇条書き(リスト形式)を終了する場合は、空(カラ)の行を１行開けてください。



■出力結果■



■注意事項■(重要)

HTMLの<OL>リストは、その子要素である<LI>(リストアイテム)に対してブラウザが自動的に番号を付加しますので、HTMLのコンテンツ自体に数字が記述されてはいません。

このため、**番号に対して読み上げる音声を割り当てたり、再生時にハイライトすることは出来ません。**
(HTMLの構造上、読み上げやハイライトは出来ません)

■リストのスタイル指定に関して■

HTMLタグによる箇条書き(リスト)では、CSSで定義されたスタイル指定を利用して数字や中点以外のマークを利用することが出来ます。
下記の指定方法はCSSで定義されたlist-styleの一例です。

HTMLタグの記述	出力するマーク
	白丸
	四角
	頭に0をつけた算用
	ローマ数字の小文字
	ローマ数字の大文字
	英文字の小文字
	英文字の大文字
	漢数字
	イロハニホヘト

2. 画像の挿入と編集

2-1. 画像の挿入



画像を挿入したい位置にカーソルを移動 → 「画像の挿入」ボタン

→ ファイルを選択 → ［開く］

または 「挿入」→「画像の挿入」→ ファイルを選択 → ［開く］

※ クリップボードから編集画面上に直接貼り付けることもできます。（＝他のファイルからコピー＆ペーストができます。）

2-2. 画像の編集

画像上で右クリック → ［画像の設定］　で、画像の配置方法やサイズ調整、代替テキスト、読み上げテキストの入力ができます。



読み上げテキストでは、テキスト／数式／化学式のモードの切り替えができます。また、ポーズは本文と同様に、「SP」「LP」の挿入ができます。（5-5. ポーズの挿入参照）

画像上で右クリック → ［ペイントツールで開く］　で、一度挿入した画像を外部のペイントツールで編集することができます。

ペイントツールが設定されていない場合は、ファイル選択ダイアログが表示されますので、任意のペイントツールを選択して下さい。
（Windows ペイントの場合は、"C:¥Windows¥System32¥mspaint.exe" です。）

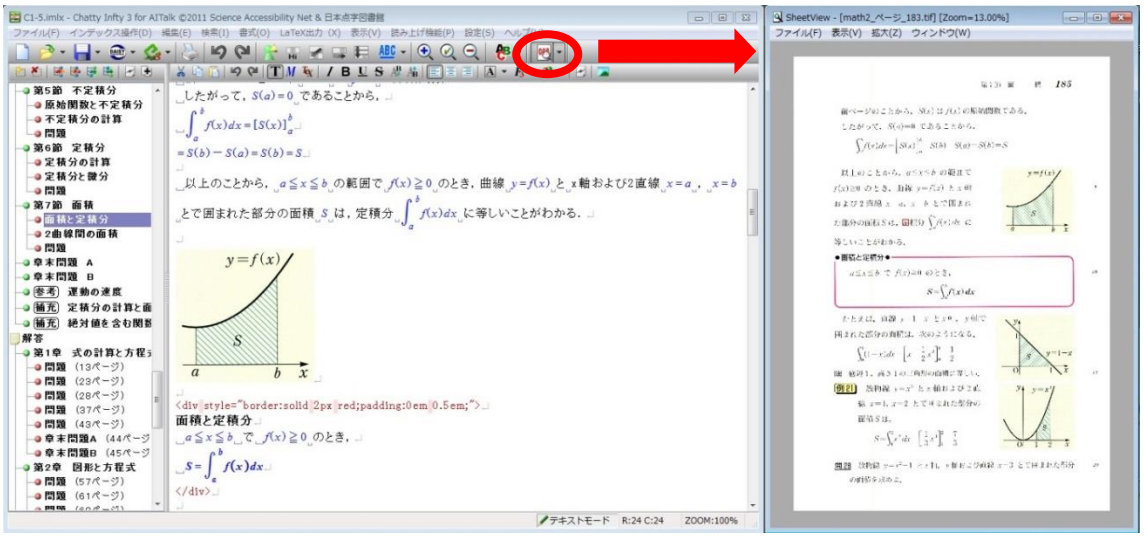
※　ペイントツールを変更するには、右クリック → Ctrl ＋［ペイントツールで開く］

2-3. OCR 画像の利用

InftyReader で OCR 処理をしたファイルを編集する場合、読み取った元画像を別ウィンドウで表示させることができます。

画像は文書の該当箇所と連動して切り替わります。

※　ただし、imlx ファイルと元画像が同じ階層のフォルダ内にないと、表示できません。



表示させた元画像から必要な部分を切り取って、貼り付けることができます。

①　Ctrl を押しながら、切り取る範囲をドラッグして選択、コピー。



② 文書の必要な個所に貼り付けます。（ Ctrl ＋ V ）

3. 数式の編集

3-1. 数式の入力

［書式］→［数式モード］ ／ Ctrl ＋ スペース で入力モードを切り替えます。

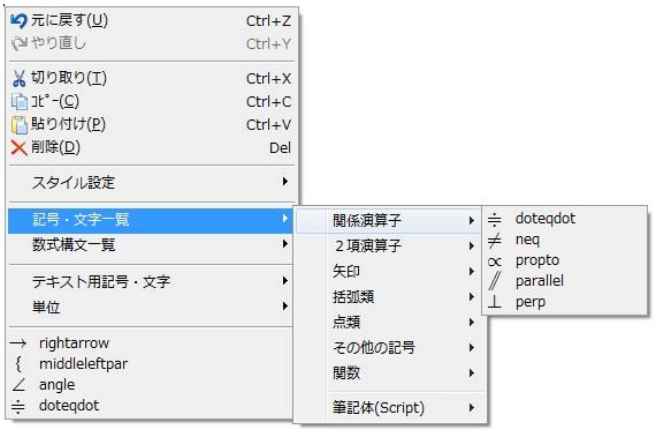


数式モードで入力された文字列は、青色で表示されます。

ある整式 A を x^2-2x+2 で割ると，

※ テキストモードで入力した文字列を選択して数式モードに切り替え、選択した文字列を数式モードにすることもできます。

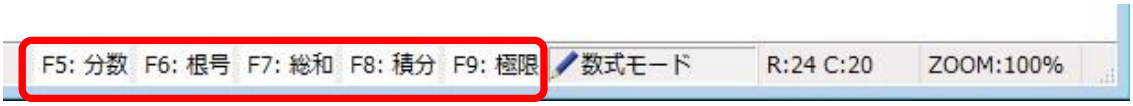
キーボード上の文字・記号のほか、右クリックで表示されるコンテクストメニューから様々な記号・文字・構文・単位を選んで入力できます。



一度選んで入力した記号・文字・構文・単位は、リスト下に直近 10 個まで表示されます。再度入力する際は、ここから選ぶと便利です。



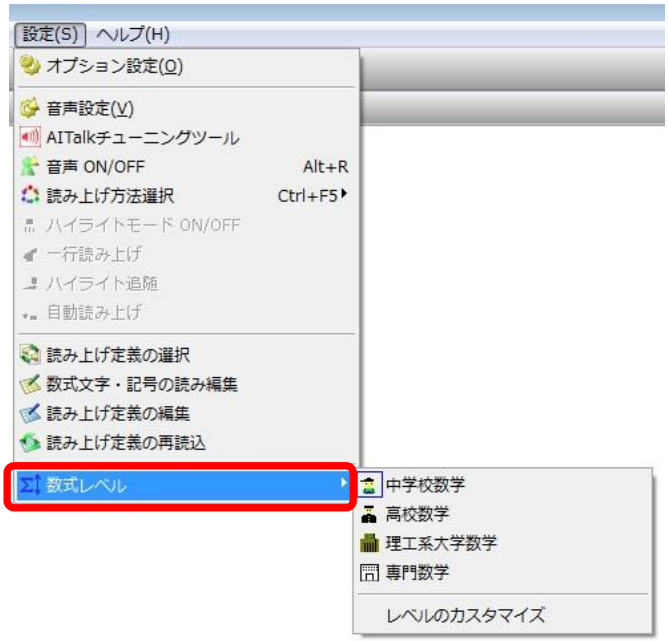
多用する分数・根号などは、上記の方法以外に、ファンクションキーでも入力できます。対応するキーは、入力を数式モードに切り替えると、編集画面下部に表示されます。



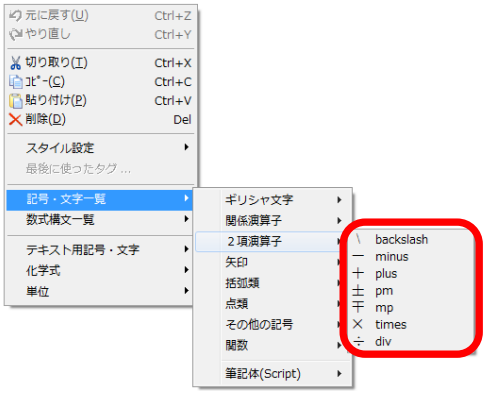
3-2. 数式レベルの設定

［設定］ → ［数式レベル］

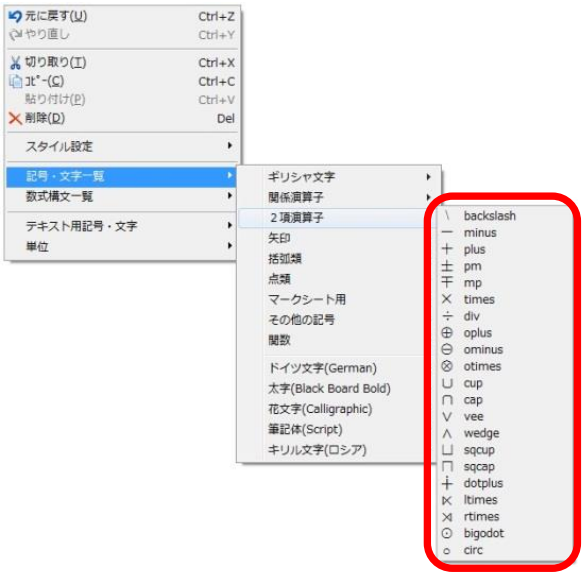
あらかじめレベルを設定しておくことによって、コンテクストメニューに表示される入力候補を、目的に合ったものにすることができます。



【中学校数学の２項演算子】



【専門数学の２項演算子】



3-3. 分数の入力

① 数式モード で F5

横線が引かれ、分子あるいは分母の位置にカーソルが移動します。

② Enter ／ ↑ ／ ↓

分母あるいは分子の位置にカーソルが移動します。

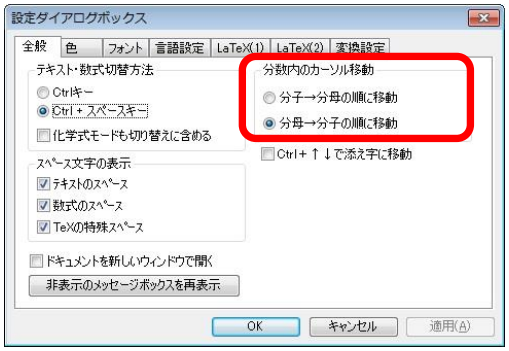
③ Enter ／ →

分数の外にカーソルが移動します。

※ 横線が引かれた後、最初にカーソルが分子・分母どちらに移動するかを、

［設定］ → ［オプション設定］ → ［全般］

で指定できます。



3-4. 指数・添え字の入力

① 指数・添え字を与えたい数字や記号の左／右で、 ↑ ／ ↓

指数・添え字を入力します。

② Enter ／ →

指数・添え字を与えた項の外にカーソルが移動します。

3-5. 根号の入力

① 数式モード で F6

根号が現れ、根号内にカーソルが移動します。数字・数式等を入力。

② Enter ／ →

根号の外にカーソルが移動します。

3-6. 筆算の入力 ― 足し算・引き算

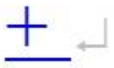
① ¥ + H

筆算のリストが表示されます。

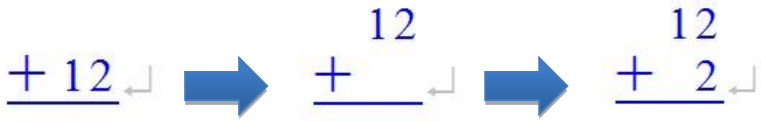


② リストから該当するスタイルを選択 → Enter

③ 演算子と横線が表示されます。



④ 数を入力 → Enter → 入力で、計算する数を積み上げます。



⑤ Shift + Enter で、カーソルが横線の下に移動。

答えを入力します。



※ 答えを入力しない場合は、 → でカーソルを筆算の外に出します。

3-7. 筆算の入力 ― 掛け算

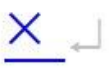
① ¥ + H

筆算のリストが表示されます。

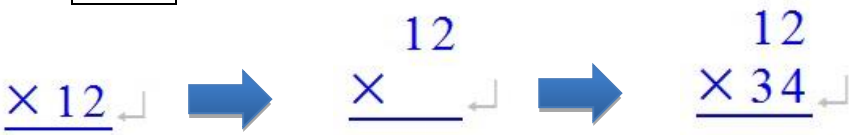


② リストから該当するスタイルを選択 → Enter

③ 演算子と横線が表示されます。

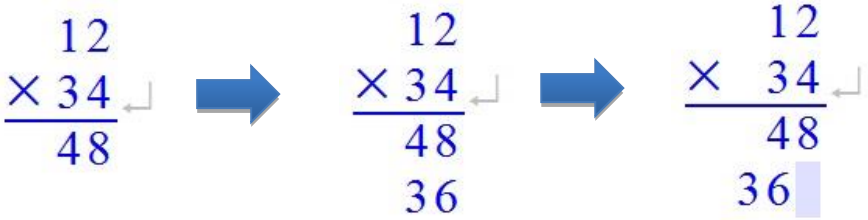


④ 数を入力 → Enter で、数を積み上げます。



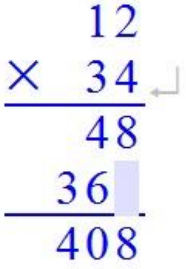
⑤ Shift + Enter で、カーソルが横線の下に移動。計算過程を入力します。

計算過程の 2 行目以降は、数の後ろにスペースを挿入して上の行と合わせていきます



⑥ 計算過程を入力したら Enter 、横線が引かれ、カーソルがその下に移動。

答えを入力します。入力後、 → でカーソルを筆算の外に出します。



3-8. 筆算の入力 ― 割り算

① ¥ + H

筆算のリストが表示されます。

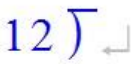


② リストから該当するスタイルを選択 → Enter

③ 括弧と横線が表示されます。



④ ← でカーソルを括弧に移動し、割る数を入力します。

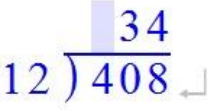


⑤ Enter ／ → で割られる数を入力します。

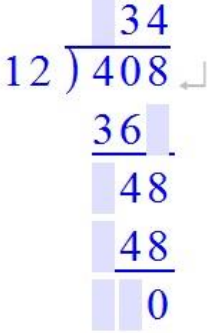


⑥ Enter で、カーソルが横線の上に移動。商を入力します。

位置はスペースを挿入して合わせます。

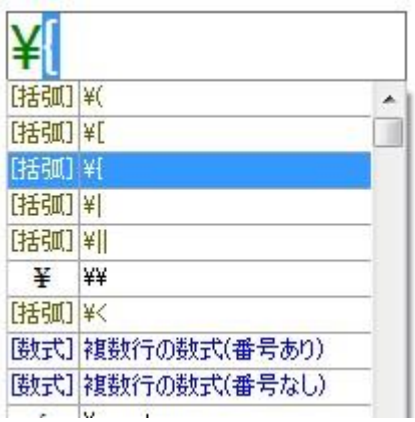


⑦ Enter で、カーソルが割られる数の下に移動。計算過程から余りまでを入力します。



3-9. 連立方程式の入力

① ¥ → リストから ¥{ を選択 → Enter



② 括弧が入力されます。右側の括弧は削除します。



③ 1 行目の式を入力 → Shift + Enter

括弧が伸びて、空行が作られます。



④ 2 行目を入力します。入力後、 Enter でカーソルを方程式の外に出します。

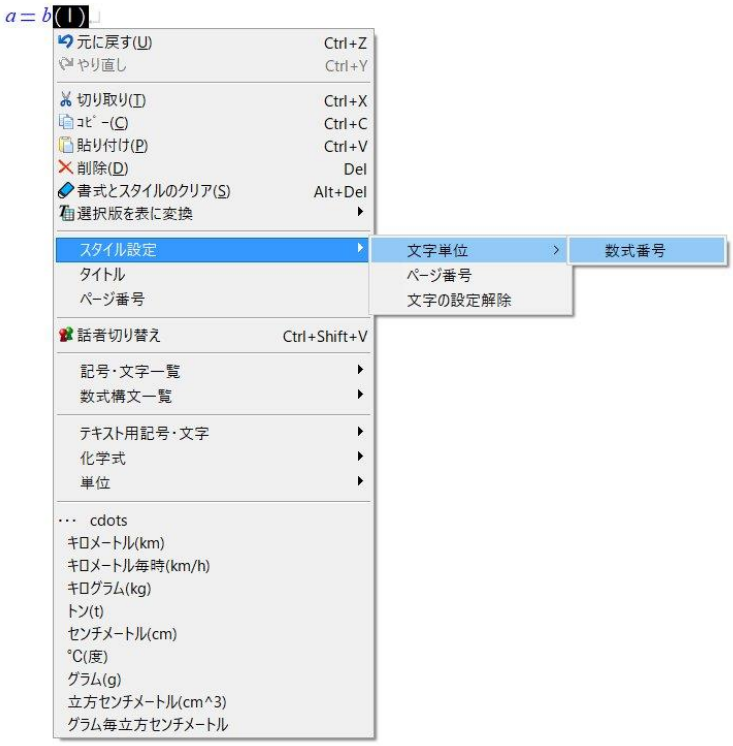
$$\begin{cases} 3x-4y=2 \\ 2x+3y=-10 \end{cases}$$

※ 連立方程式に限らず、( ) や [ ] などの括弧類に複数行書く場合も、同様に行います。

3-10. 数式番号の入力

数式番号を範囲指定後、右クリックします。

「スタイル設定」→「文字単位」→「数式番号」を選択します。



数式は中央に、数式番号は右揃えになります。

$$a = b \qquad (1)$$

数式番号

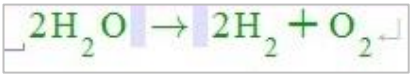
4. 化学式の編集

［書式］ → ［化学式モード］



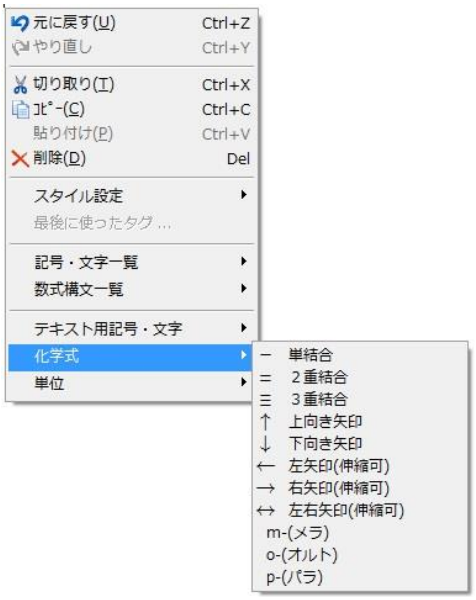
※ 数式モードと同様に、Ctrl ＋ スペース で入力モードを切り替えるには、［設定］ →［オプション設定］ →［全般］で、「テキスト・数式切替方法」の「化学式モードも切り替えに含める」にチェックを入れます。

化学式モードで入力した文字列は、緑色で表示されます。

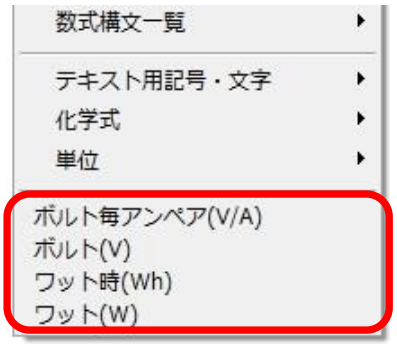


キーボード上の文字・記号のほか、右クリックで表示されるコンテクストメニューから様々な記号・文字・構文・単位を選んで入力できます。

※ 4 重結合～6 重結合の記号は、［設定］ →［数式レベル］ で「理工系大学数学」以上に設定すると表示されます。



一度選んで入力した記号・文字・構文・単位は、リスト下に直近 10 個まで表示されます。再度入力する際は、ここから選ぶと便利です。



※ その他の化学式の入力方法は、数式の場合と同様です。

5. 音声の調整

5-1. 読み上げ

5-1-1. 読み上げの ON／OFF

Alt ＋ A ／ Alt ＋ R



ON にしたら → カーソルを読み上げさせたい位置に移動 → カーソルの位置から読み上げを始めます。

※ ハイライト表示の有無や読み上げの単位は、「音声 ON／OFF」ボタン右側のボタンで設定します。



5-1-2. Shift キーによる読み上げ開始と停止

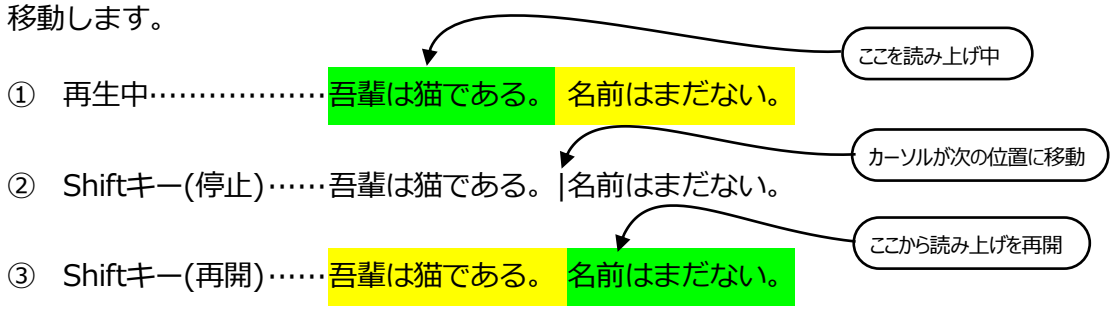
最新版ではキーボードの「Shift」キーを使って、音声の再生と停止を行うことができます。

「Shift」キーを1回タイプするとカーソル位置からの読み上げを開始して、もう1回タイプすると読み上げを停止します。

AITalk版とSAPI5版では動作が異なりますので、下記を参照してください。

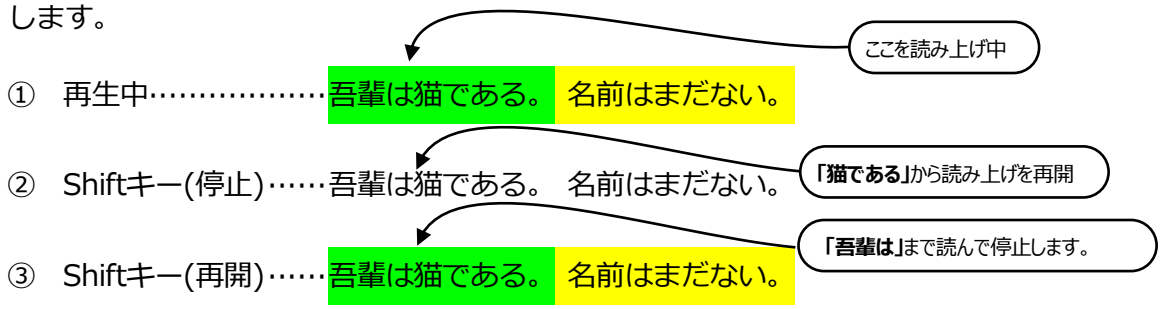
●AITalk版

AITalk版では、再生中に「Shift」キーを押すと再生を停止して次のブロックにカーソルが移動します。



●SAPI5版

SAPI5版では再生中に「Shift」キーを押すと一時停止(読み上げを途中で停止)として機能します。



5-2. 標準話者の選択

［設定］ → ［音声設定］ → ［一般］



標準話者として、「なぎさ」（女性） か 「せいじ」（男性）を選ぶことができます。

初期設定では、「なぎさ」が標準話者です。

特に設定をしない限り、ファイルを通じて標準話者の声で読み上げます。

5-3. 話者の切り替え

5-3-1. 英語音声での話者指定

任意の箇所を AITalk の話者（なぎさ、せいじ）に加えて、SAPI5 の話者に読ませることが可能です。SAPI5 の話者を利用することにより、英語文章を英語音声で読み上げることが可能になります。

② 語句・文章を選択 → 「音声切り替え」ボタン ／ Ctrl + Shift + V



② 話者を選択。



【話者の種類】

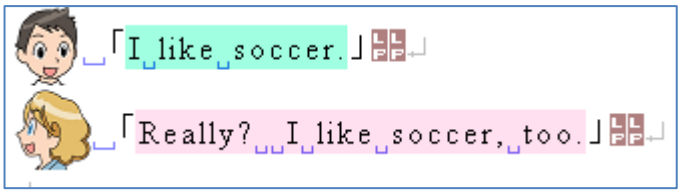
話者の名前	備　　考
なぎさ	従来からあるAITalkの音声です
せいじ	〃
Microsoft David	SAPI5の男性・英語音声です。
Microsoft Haruka	SAPI5の女性・日本語音声です。
Microsoft Hazel	SAPI5の女性・英語音声です。（イギリス英語です）
Microsoft Helen	SAPI5の女性・英語音声です。
Microsoft Zira	SAPI5の女性・英語音声です。

※ Microsoft Harukaは日本語ですが、AITalkのような読み指定は利用できません。（指定しても無視されます）

※ 英語音声の範囲に日本語（全角文字）がある場合は無視されます。（無音になります）

※ 英語音声の範囲では数式を英語読みすることはできません。（英語範囲ないでの数式入力は避けてください）

③ 語句・文章の背景色が変わり、その部分の音声が指定話者になります。



※　この設定は、出力音声にも反映されます。ただし、背景色は反映されません。

※　解除する際は、音声設定をした語句・文章の上にカーソルを移動させ、「音声切り替え」ボタン ／ Ctrl ＋ Shift ＋ V → ［音声を削除］を選択します。

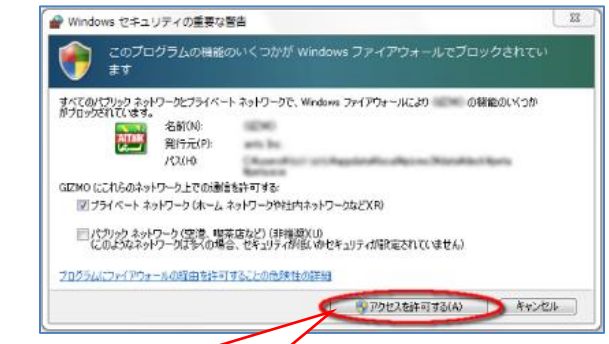
※　【重要】SAPI 話者を利用するためには、ＰＣがインターネットに接続されている必要があります。また、【ネットワークセキュリティ警告】も必読してください。

【ネットワークセキュリティ警告】

インターネット通信を利用するため、Windows のやセキュリティソフトがファイアーウォールに関する警告を表示する可能性があります。

〈ファイアーウォール警告画面の例〉

Windowsの画面例



「アクセスを許可する」をクリックします。

ノートンインターネットセキュリティの画面例



「常に許可」をクリックして「OK」をクリック！

※　警告画面は利用しているセキュリティソフトにより異なります。詳細は利用中のセキュリティソフトを参照してください。

※　警告画面が表示されると、ChattyInfty3 はインターネット通信に失敗場合がありますので、ChattyInfty3 を一旦終了してから再度実行してください。　ツールバーの  をクリックして、話者が「なぎさ」と「せいじ」の２つだけの場合は再実行が必要です。

5-3-2. 画像設定での話者指定

画像の設定・アニメーション編集・ハイライト領域編集の各設定画面（読み上げテキストの設定）でも話者指定及び話者の詳細設定が可能になりました。

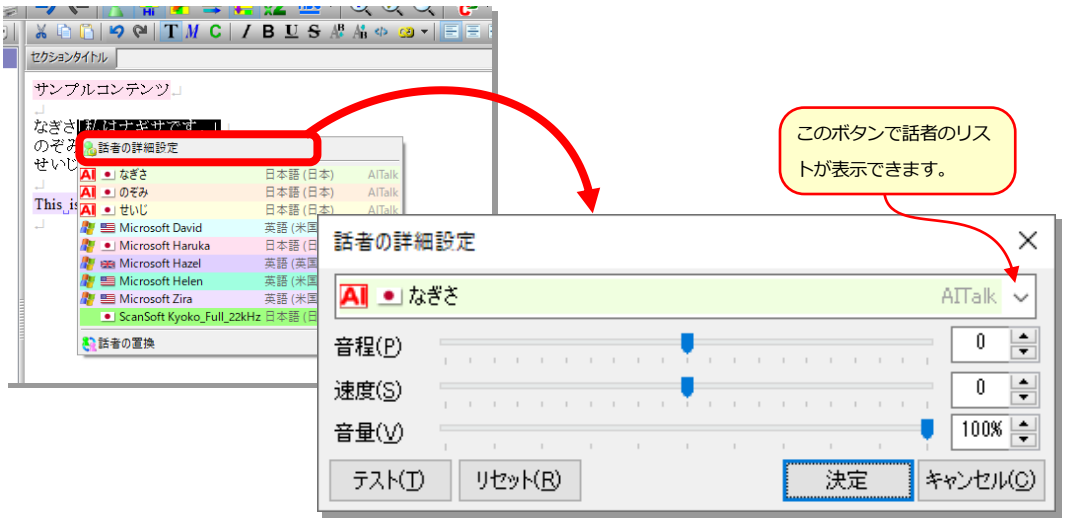


※画像・アニメーション・ハイライト領域での話者指定は読み上げテキスト全体に適用されます。 読み上げテキストの一部に対して話者指定することは出来ません。

5-4. 話者の詳細設定

編集画面の目的の部分を範囲指定して、従来のように話者指定メニューを表示します。

メニューの一番上にある「話者の詳細設定」を選択(クリック)します。



話者の詳細設定画面が表示されますので、話者・音程・速度・音量の各項目を設定します。

項目	詳細	設定範囲
音程	音程を設定します。 数字が大きいほど高音になります。	-10～＋１０（0 が標準）
速度	速度を設定します。 数字が大きいほど早くなります。	-10～＋１０（0 が標準）
音量	音量を設定します。 0％で無音になります。	0%～100%

ChattyInfty の音声設定で設定している標準音声の設定値に対しての相対値ではなく AITalk 音声の絶対値です。

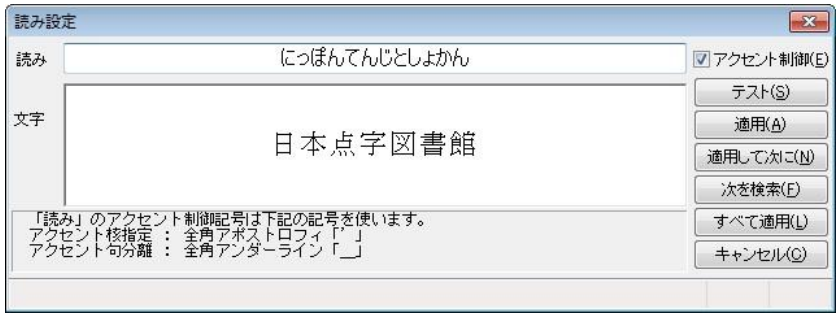
5-5. 読み設定

文書内の任意の語句に、特定の読みを設定することができます。

5-5-1. 読み設定の仕方

① 語句を選択 → Ctrl ＋ Shift ＋ ↓

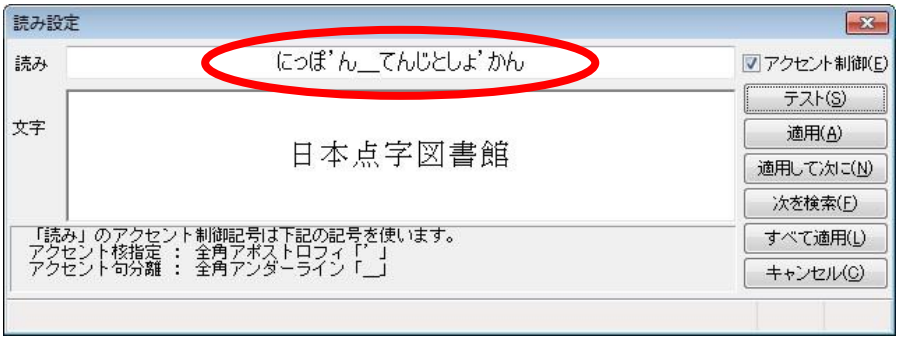
② 読みを「ひらがな」／「カタカナ」／「漢字」／「英数字」で入力。



③ テスト ボタンで試聴。よければ、適用 。

④ アクセントの調整が必要な場合は、アクセントの山となる文字の後ろに全角アポストロフィを付けます。

また、語句を全角アンダーラインで区切ると、アクセントの山を 2 か所以上作ることができます。



読み設定された語句には、青いアンダーラインが表示されます。



【読み設定の解除】

① 読み設定した語句を選択／読み設定した語句の上にカーソルを移動

→ Ctrl ＋ Shift ＋ ↓

② 読みを削除し、適用

【読み設定の便利機能】

適用して次に を実行すると、まず選択した語句に設定が適用され、次に文書内の同じ語句が検索されます。

次の語句だけに同じ設定を適用したい場合は、 適用 を実行します。

次の語句にも同じ設定を適用し、引き続き同じ語句の検索を続けるには、 適用して次に を実行します。

次の語句には適用せず、同じ語句の検索を続けるには、 次を検索 を実行します。

文書内の語句すべてに設定を適用するには、 すべて適用 を実行します。

【読み設定時の注意事項】

※ 入力する読みは、日本語として「正しい仮名表記」ではなく、「発音に近い表記」にすると、より自然な読みにできます。

＜例：漁師町＞

○ 「りょーし'まち」

× 「りょうし'まち」

※ 設定範囲には、単語だけでなく助詞等も含めると、より自然な読みにできます。

＜設定範囲の例＞

○ 「祖父には、二男一女がありました。」

× 「祖父には、二男一女がありました。」

※ 読み設定をすると、そのすぐ後の語句の読みまで変化してしまうことがあります。

特に、漢字が音読みになる傾向がありますので、ご注意ください。

読み設定をした後は、必ずその前後を聴き直してください。

※ 読み設定をすると、その前後の語句との間にあったポーズがなくなることがあります。

これにより、文章全体が聴きにくくなる恐れがありますので、ご注意ください。

読み設定をした後は、必ずその前後を聞き直してください。

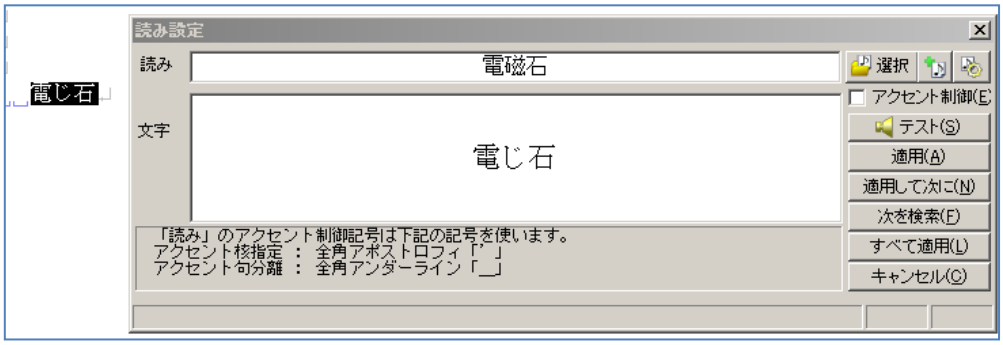
聴きにくくなっていた場合は、該当箇所にポーズを挿入（23 ページ参照）し、調整してください。

5-5-2. 漢字を使っての読み設定

小学校教科書や児童書には、「電磁石」を「電じ石」というように、仮名交じり文字で表記されているため読みに不具合が起こるケースが多くあります。そういう場合は、「アクセント制御あり」のチェックをはずして、漢字で読みを設定すると正確な読みになります。

アクセント制御なしで読み設定をするためのショートカットは

Shift + Alt + ↓ ／ Ctrl + 4 です。

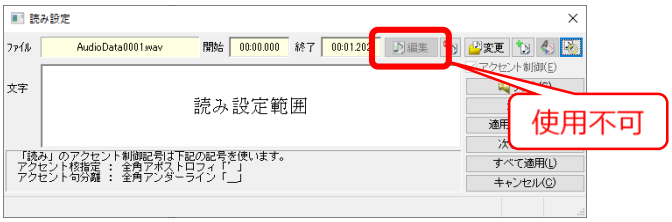


5-5-3. 読み設定の音声ファイル対応

事前に用意した音声ファイルや、音声編集ツール（別途必要）を使って録音した声などを読み設定として登録することが出来ます。



※ 音声編集ツールがインストールされていなくても外部音声を設定することが出来ます。
但しこの場合「編集」ボタンは使用できません。



(1) 音声編集ツール（別途必要）と設定

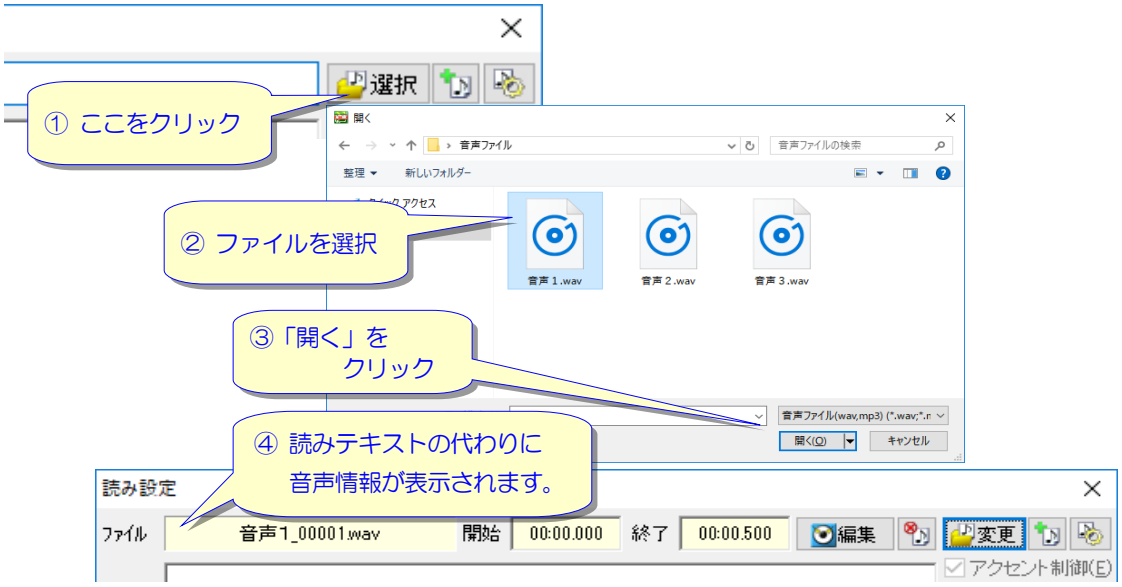
声を録音したり音声ファイルを編集するためには、別途外部ツール（ソフトウェア）が必要です。フリー（無料）で利用可能なものを多く存在しますが、ChattyInfty3 では「SoundEngine（サウンドエンジン）」をデフォルトで利用できるようにしています。

SoundEngine の入手方法やインストール・操作方法などは、 http://soundengine.jp/ を参照してくださいい。

SoundEngine をインストールしたあとで、ChattyInfty3 を実行すると自動的に利用可能な状態になります。（SoundEngine のインストール先などは変更しないこと）

(2) 音声ファイルを設定する

音声ファイルを設定するには「変更」ボタンをクリックします。



※ 音声ファイルは自動的にコピーを作って、そのコピーを読みとして利用しますので、元のファイルが変更されることはありません。

（3）音声ファイルを編集する

設定した音声ファイルを編集するには、 編集 ボタンをクリックします。（ボタンのアイコンは外部ツールにより異なる場合があります）

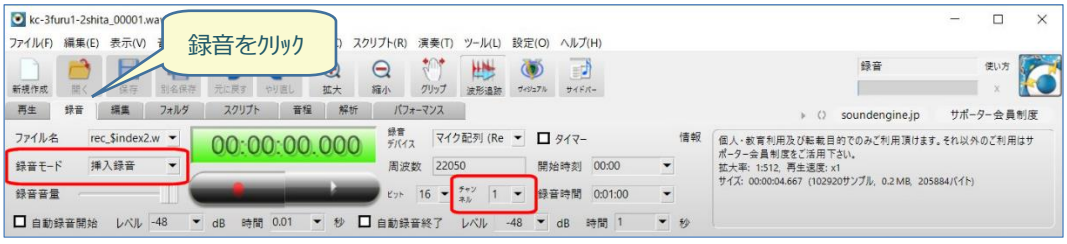
下記は SoundEngine を使って、音声ファイルから必要な部分のみを切り出す操作の例です。



SoundEngine の詳しい操作方法は（http://soundengine.jp/wordpress/soundengine_help/）を参照して下さい。

（4）新規に音声を追加する（録音など）

新規に音声を追加するには ボタンをクリックします。 0.5秒の無音ファイルが出来上がりますので、 編集 ボタンをクリックして SoundEngine を実行します。



まず、「録音」をクリックし、設定を変更して下さい。

（録音モードを『挿入録音』、チャンネルを『１』）

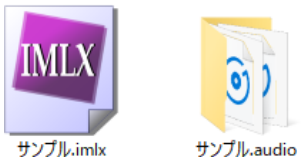


録音した際の無駄な部分は、前節の「音声ファイルを編集する」と同じ操作でカットして下さい。

(5) 音声ファイルの場所と管理

ChattyInfty3 のコンテンツファイル（IMLX）の音声ファイルは、ファイルと同じ場所の”ファイル名+.audio”という名前のフォルダに保存されます。

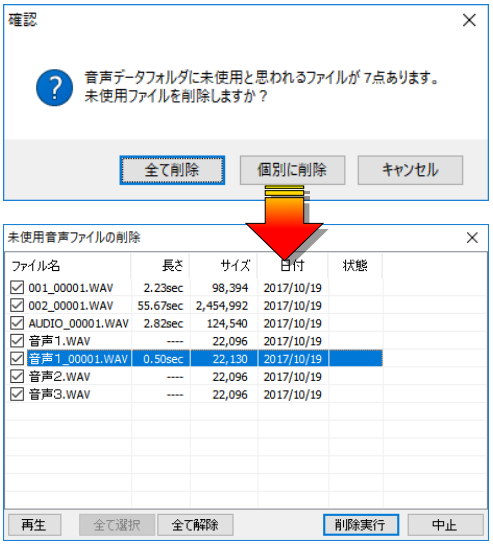
例えば、C:¥TEMP¥サンプル.imlx の音声は、C:¥TEMP¥サンプル.audio フォルダの中に音声ファイルが入っています。



【重要】ファイルを別の場所にコピーする場合などは、この ”.audio” フォルダも一緒にコピーして下さい。

また、音声設定の追加や削除を行うと、.audio フォルダ内に無用な音声ファイルが残ってしまう場合があります。

無用なファイルが存在する場合は、次回にコンテンツファイルを開いたときにチェックプログラムが実行されて、次のようなメッセージが表示されます。



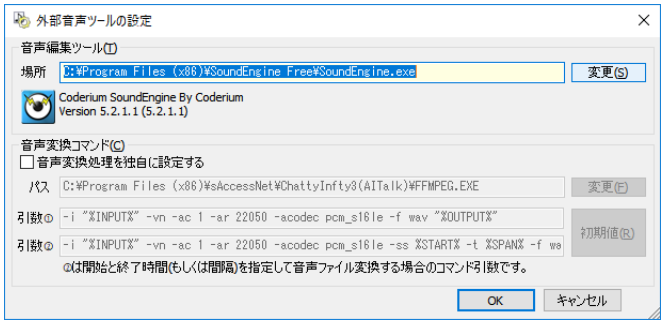
「全て削除」を選択しても特に問題はありませんが、再利用したい音声があるか確認したい場合は「個別に削除」をクリックして下さい。

「個別に削除」をクリックすると、左図のような画面が表示されますので、音声を再生して内容を確認することが出来ます。

※ 長さの欄が ”---“ となっているものは、新規に作成した 0.5 秒のファイルで、設定を中断した場合などに残ってしまったものです。

（6）その他の音声編集ツールの利用

その他の音声編集ツールを利用するには、読み設定画面の右上端にある ボタンをクリックして、外部音声ツールの設定画面を呼び出します。



「変更（S）」ボタンをクリックして、任意のツールを選択して下さい。

音声変換コマンド（C）は、音声ファイルを取り込む際の変換コマンドを設定するためのもので、通常は設定を変更する必要はありません。

（7）その他の注意事項

- 声を設定した読み設定範囲は、強制的にハイライト分割されます。
- 読み指定に音声を使ったコンテンツは ChattyInfty3 SAPI5 版では再生することが出来ません。
- 音楽データや他者作成の音声フィアル等は著作権法に触れる場合がありますので、使用の際は十分に注意して下さい。

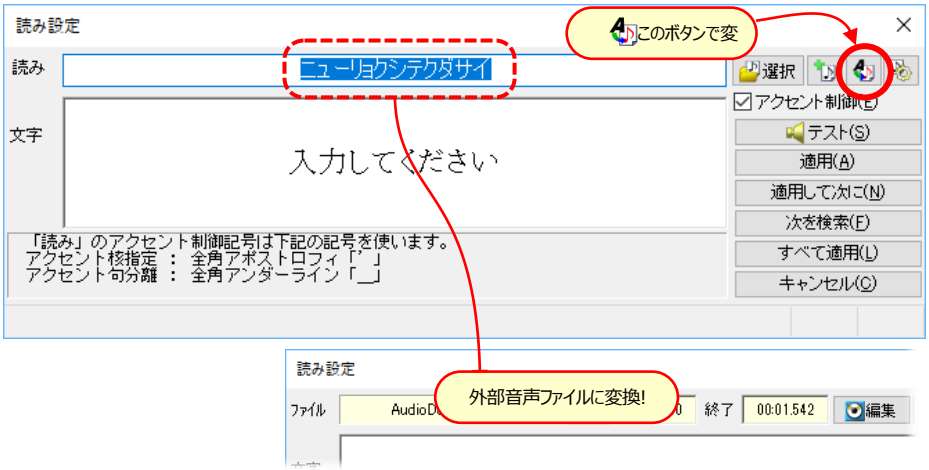
5-5-4. 読みテキスト音声ファイル化機能（AITalk 版）

読み設定時に選択されたテキストを、AITalkの読み上げ音声ファイルに変換して、外部音声ファイルとして読み設定に適用します。

【操作方法】

読み設定画面の右上部にあるボタンで変換を実行実行します。

・「読み」に設定しているテキストが音声ファイルに変換されます。
・あらかじめ「テスト」ボタンで読み上げを確認してから実行してください。



5-5-5. 読み上げの制御

平叙文の他に以下の４種類の制御が可能になります。

文末に？を付ける --- 疑問文

文末に△を付ける --- 末尾を少し上げる（確認などの）

文末に▽を付ける --- 末尾を少し下げる（多くの場合平叙文はこれと同じ）

文末に□を付ける --- 末尾を下げる（体言止めなど）

［注意］

１．文末の制御は文章の終わりでのみ有効です。△や□などの制御記号の後には句点「。」以外は入れないようにして下さい。閉じ括弧や ”」” などで終わる文章の場合は、それらの記号も含めて範囲指定し、読み指定で文末制御を行って下さい。

２．何も指定しない場合、AITalk が適宜判断して、上昇調で終わる場合もあります。そういう場合は、▽や□で下げることが出来ます。

5-5-6.「有声音」指定

「す」や「つ」などの発音が無声音になって聞きづらいときに、有声音化したいヨミの文字の後ろに「！」マークを付けます。アクセント記号も指定する場合は「！'」のように後ろに記述してください。

［例］

「きつつき」に対しては「キツ！' ツキ」

「着地地点」に対しては「チャクチ！チ！' テン」

「気象庁」に対しては「キ！ショ' ーチョー」

5-6. ポーズの挿入

5-6-1. 文章中への挿入

任意の場所に、「**短ポーズ**」と「**長ポーズ**」の 2 種類を挿入することができます。

短ポーズは息継ぎなどの間に、長ポーズは語句間を 1 拍以上はっきり空けたい場合などに用います。

※　表示上、間隔が空きますが、出力ファイルにこの見た目のスペースは反映されません。

① 短ポーズ　：　赤色の SP で表示

方法 1：Ctrl ＋ Shift ＋ S（入力モードは何でもよい）

方法 2：テキスト入力モード かつ 半角入力モードで、Shift ＋ スペース

【挿入例】

実数には，有理数と[SP]無理数がある．しかし，どんな実数をとっても，その平方は[SP]負にならないから，

② 長ポーズ　：　茶色の LP で表示

方法 1：Ctrl ＋ Shift ＋ L（入力モードは何でもよい）

方法 2：数式入力モード かつ 半角入力モードで、Shift ＋ スペース

【挿入例】

3-1.[LP] 次の計算をせよ。
(1)[LP] $(4+\sqrt{5}i)-(3-2\sqrt{5}i)$

5-6-2. 画像への挿入

読み上げの際に、画像の箇所である程度の長さの無音状態を作りたい場合の操作です。

①　画像を選択 → 右クリック →　[画像の設定]

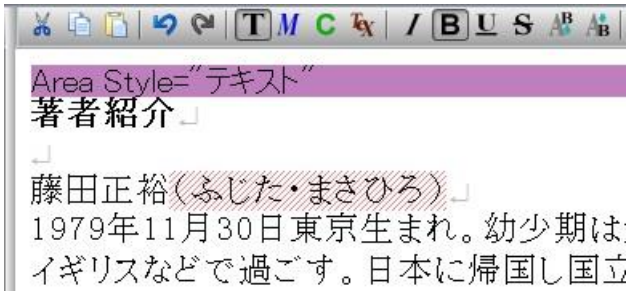
②　画像設定ダイアログの代替テキスト欄に、本文中と同様に「**短ポーズ**」または「**長ポーズ**」を任意に入力できます。



5-7. 無音化

5-7-1. 任意の文字列の無音化

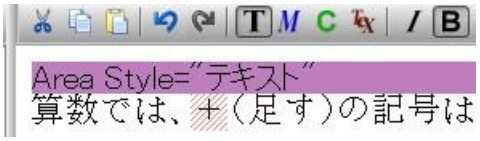
無音化したい範囲を選択 → Ctrl + 0（ゼロ） → 選択した範囲に赤い斜線のハッチがかかり、その部分を読み上げなくなります。



※ 無音化を解除するには、設定部分にカーソルを移動 → Ctrl + 0（ゼロ）

5-7-2. 一文字の無音化

その文字の前にカーソルを移動 → Ctrl +ダブルクリック（前項の方法でも可）



5-8. 単語辞書の選択

「単語辞書」とは、合成音声で読み間違えやすい語や専門用語、分野によっては一般と違った読み方をするような語を、適切に音声化できるよう読み方を定義したファイルのことです。初期設定ですでに数種類の単語辞書が含まれています。

新規ファイルを立ち上げると単語辞書選択画面が立ち上がりますので、製作を始める前に適切な単語辞書を選択しておきましょう。

単語辞書を選択 → ［決定］

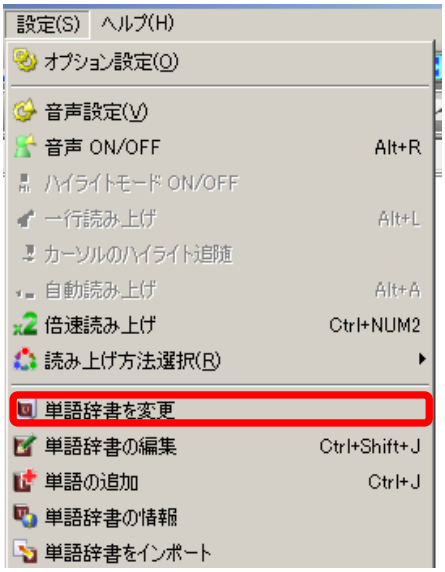


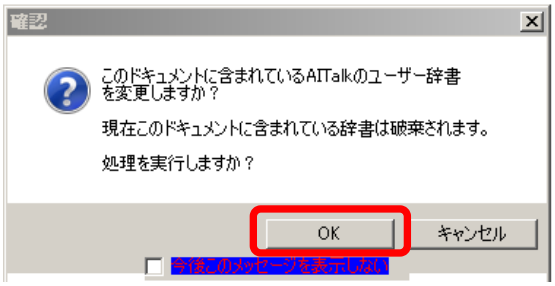
5-9. 単語辞書の変更

編集途中でも辞書を変更することができます。

（注意：辞書を変更するとそれまで使用していた辞書は破棄されます。）

①　［設定］ → ［単語辞書を変更］ → 確認 → 単語辞書を選択 → ［決定］





5-10. 単語辞書の編集

選択中の単語辞書の内容を編集することができます。

① ［設定］ → ［単語辞書の編集］



② 単語一覧から編集したい単語を選択



③ 読み・アクセント等を調整

※　アクセントを調整するには、●をドラッグしたまま上下します。

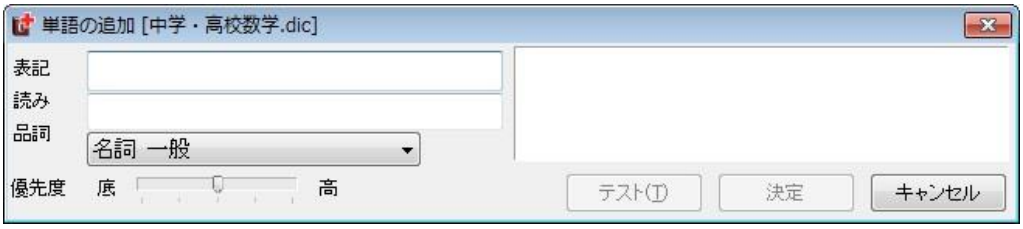


※　アクセントの山を二つ以上作る場合は、●と●の間で右クリックして語を切り離し、調整します。



④ 更新 → 保存

※　追加 をクリックすると、単語の追加ダイアログが開き、新規単語を登録することができます。アクセントの調整方法は同前。



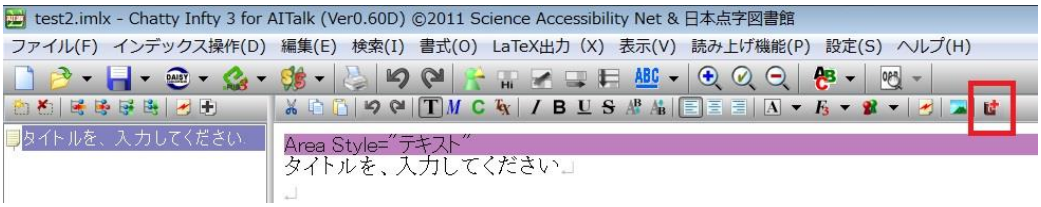
5-11. 単語辞書への単語の追加

選択した単語辞書に新規単語を登録して新規単語辞書を作成することができます。新規単語辞書は自動的に編集中のドキュメント（imlx ファイル）に付加した単語辞書になります。

① ［設定］ → ［単語の追加］

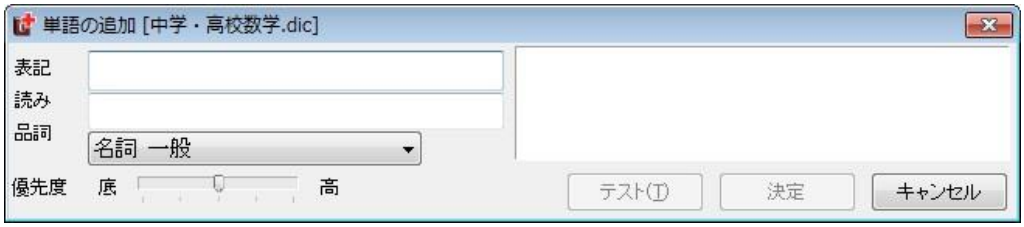


もしくは、ツールバー右端の  をクリック

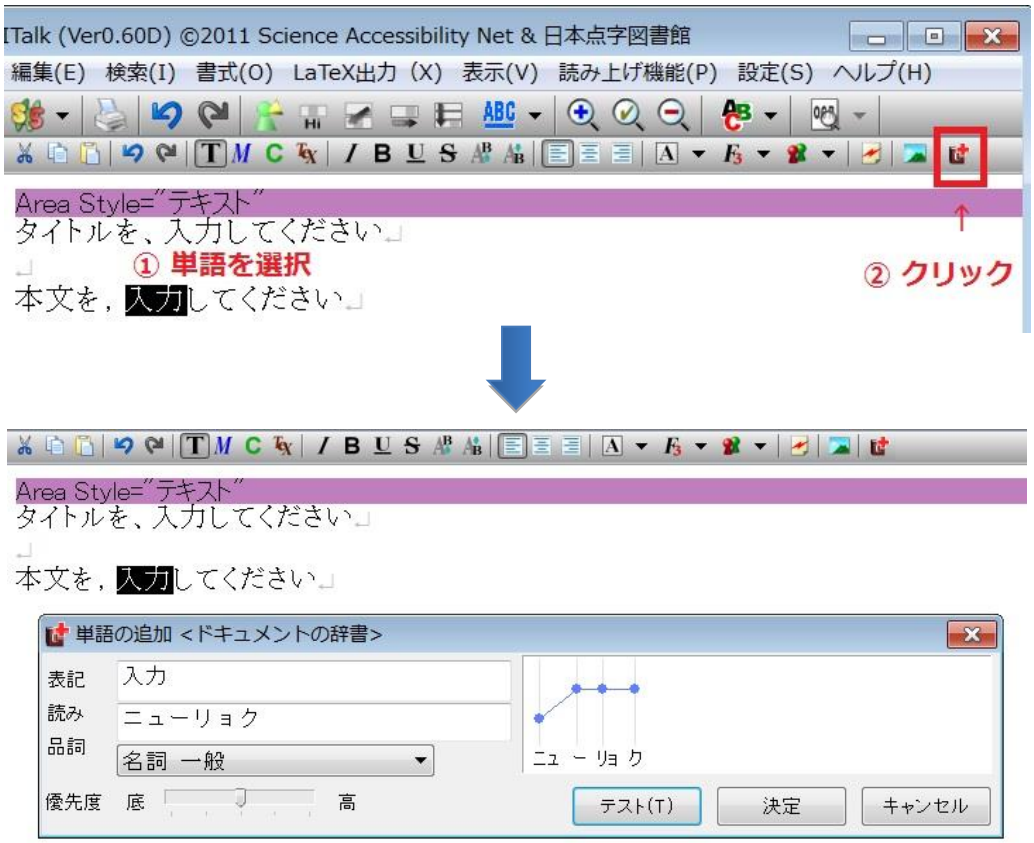


② 単語の追加ダイアログが開き、新規単語を登録することができます。

アクセントの調整方法は、前項の場合と同様です。



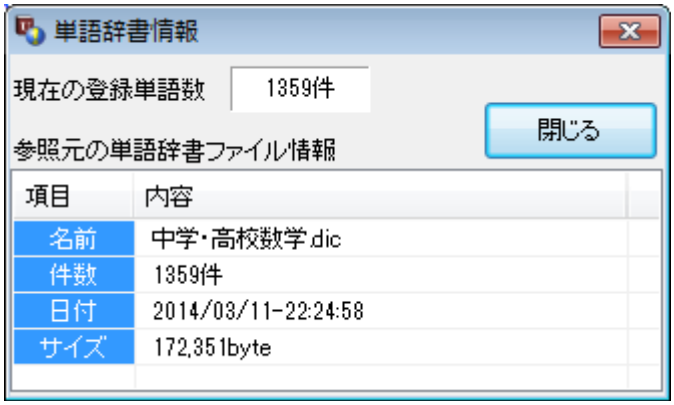
※ 上記方法のほか、編集画面上で登録したい単語を選択してツールバー右端の  をクリックすると、「単語の追加」ダイアログに自動的に入力されるので便利です。（アクセントの調整は適宜必要です）



5-12. ドキュメントに付加した単語辞書の確認方法

［設定］ → ［単語辞書の情報］

もしくは、ツールバー右端の  をクリック。



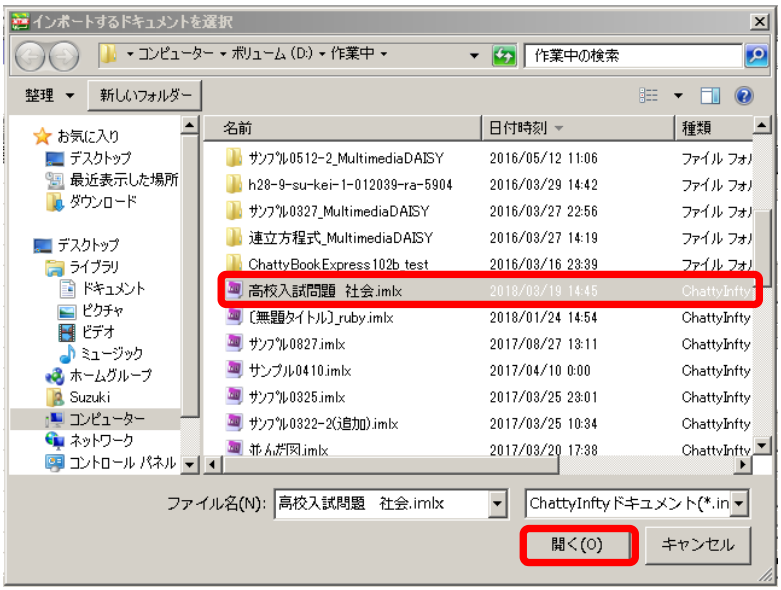
5-13. 他のドキュメント（imlx ファイル）の単語辞書をインポートする

※　１つのタイトルを分担製作する場合や、同内容のタイトルを複数製作する場合に便利です。

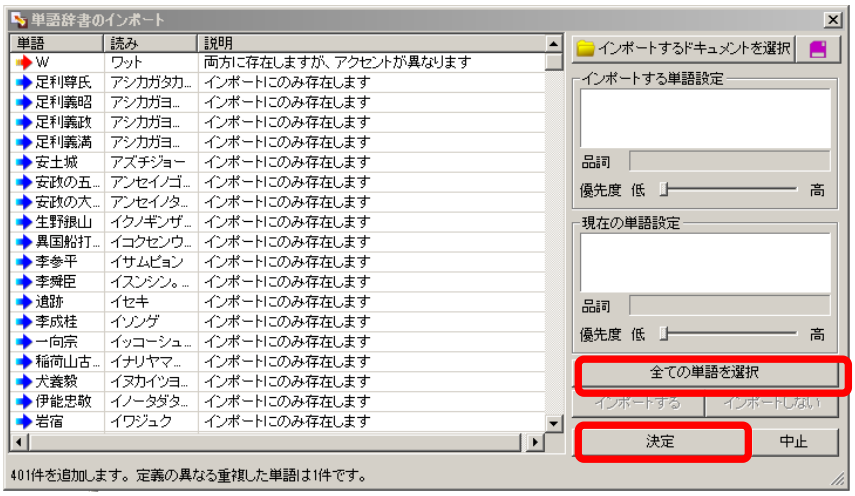
①　［設定］ → ［単語辞書をインポート］



②　[インポートするドキュメントを選択]　→　[開く]



③　[単語辞書のインポート]　→　[全ての単語をインポート]　→　[決定]



⑤　ドキュメントを上書き保存。

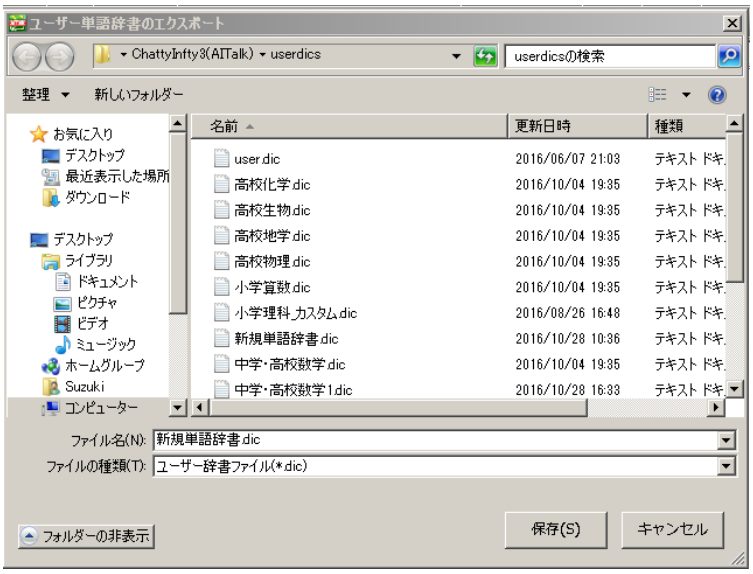
以降、インポートした単語辞書が含まれた状態で編集することができます。

5-14. 単語辞書をエクスポート

①　［設定］　→　［単語辞書をエクスポート］



② [ユーザー単語辞書のエクスポート]画面で新規単語辞書を「名前を付けて保存」する。



ユーザー辞書ファイルとして登録され、以後新しいファイルの単語辞書として選択できます。

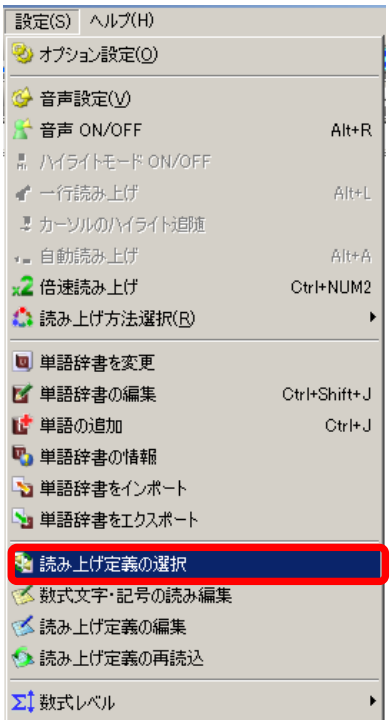
5-15. 読み上げ定義の選択

「読み上げ定義」とは、数式や数学記号の読み方を定義したファイルのことです。

初期設定では「小学校用」と「標準定義」（中学校以上用）が含まれており、「標準定義」が選択されています。

単語辞書として「小学校用」または「小学算数」を選択すると読み上げ定義は自動的に「小学校用」になります。

① ［設定］ → ［読み上げ定義の選択］



② 読み上げ定義を選択 → ［決定］



5-16. 数式読み上げモードの選択

数式は、障害の種類と程度により、読み上げ方に必要な配慮が異なります。

ChattyInfty では、配慮の程度が異なる 3 つの読み上げモードを用意しています。

算数・数学コンテンツを製作する場合は、利用者にとってふさわしいモードを選択してください。



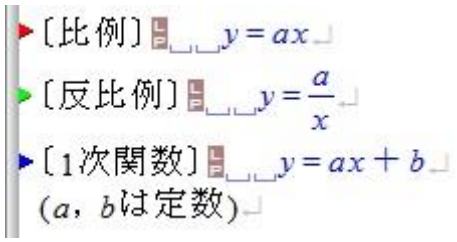
［詳細読みモード］　：　数式の構造情報を詳細に補った読み方（おもに全盲者向け）

［簡易読みモード］　：　健常者が眼で読む場合とほぼ同じ一般的な読み方

［滑らか読みモード］　：　音声だけでも数式の構造まである程度把握できる読み方

「行読み上げ」とは、任意の行の読み上げ方を 3 つのモードから指定できる機能です。

カーソルを移動させて指定すると、その行の頭にモードの印がつきます。



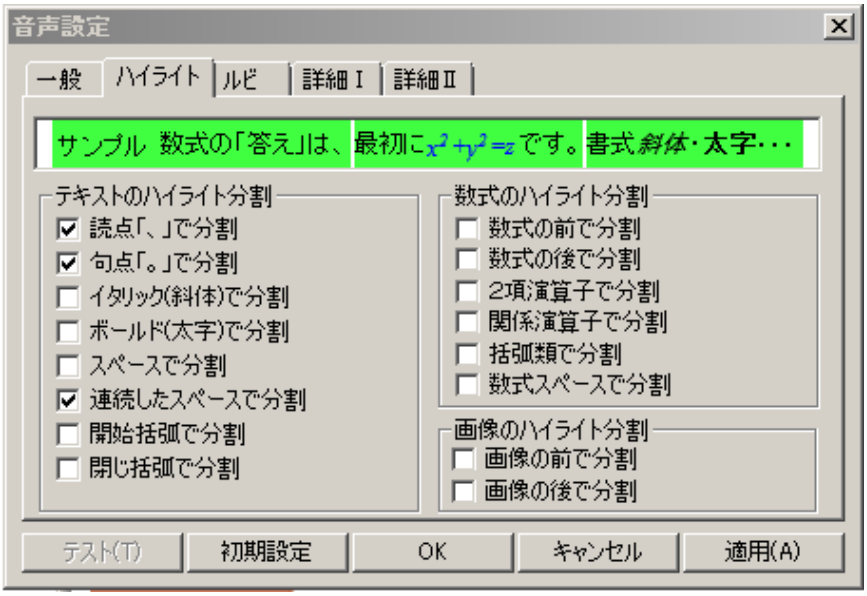
解除するには、指定した行にカーソルを移動させて「行読み上げ・解除」を選択します。

全ての指定を解除するには、「行読み上げを全て解除」を選択します。

5-17. ハイライト単位の設定

［設定］ → ［音声設定］ → ［ハイライト］

ハイライトの区切り目を設定できます。



※　どこで分割するかにより、文中音声の息継ぎの具合も若干変化します。

※　この設定は、出力ファイルにも反映されます。

5-18. 任意の箇所でハイライトを区切る

Ctrl ＋ Shift ＋ /（スラッシュ） で、任意の個所でハイライト範囲を区切ることができます。



区切り箇所は、編集画面上では赤い縦線（ | ）で表示されます。

※　区切りを解除するには、赤い縦線を削除します。

5-18-1. 間合いの開かないハイライト区切り

Ctrl + Shift + / を２回押すか、Ctrl + ALT + Shift + / で入力できます。編集画面上の表示は赤い縦の点線「 ¦ 」で表示されます。

従来：　「日本|地図」→「にほん▲」「ちず」(▲の部分にポーズが入ります)

新方式：　「日本¦地図」→「にほん」「ちず」(間合いを開けずに読み上げます)

※　ただし、連続して読み上げる(ハイライト区切りがない場合)と比較してイントネーションが変化する場合があります。また、音声合成エンジン(AITalk/SAPI5)のが生成する音声の都合上、完全に間合いを開けずに読み上げるわけではありません。

5-19. ハイライトの結合（フレーズ結合機能）

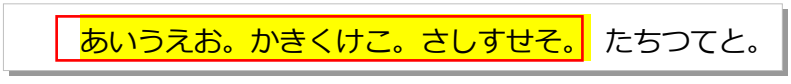
任意の範囲をハイライト分割せずに読み上げることができます。通常は、句読点などでハイライト分割する設定に従って自動的にハイライト分割されますが、特定の範囲をハイライト分割したくない場合に「フレーズ結合」を利用します。

■フレーズ結合操作例

①　フレーズ結合する範囲を選択します。



②　「書式」メニューから A,B フレーズ結合 を選択するか、Ctrl + ＋ を入力します。



■フレーズ解除操作

設定済みのフレーズ結合範囲を解除するには、範囲の先頭にカーソルを移動（範囲内のテキストの下部が点滅する状態）か、範囲内のテキストをすべて選択した状態で、上記結合操作の②と同じ操作をしてください。

■フレーズ再分割操作

① 範囲内の任意の位置を選択します。

あいうえお。かきくけこ。さしすせそ。 たちつてと。

② 「書式」メニューから A,B フレーズ結合 を選択するか、Ctrl + ＋ を入力します。

あいうえお。 かきくけこ。 さしすせそ。 たちつてと。

【制限事項】

※ 表・筆算・複数行の数式（eqnarry形式）を含む範囲はフレーズ結合することができません。

※ 話者指定された範囲を含む範囲はフレーズ結合することができません。(話者指定箇所の前後は、音声出力が切り替わるため、必ずハイライト分割されます。)

5-20. 化学式の添字の読み方の変更

例えば C_3H_8 は、そのままでは「シー スリー エッチ ハチ」と読み上げます。

「3」を「スリー」ではなく、「サン」と読ませたい場合は、「3」にカーソルを移動して 右クリックメニュー（コンテクストメニュー）から「添字属性の変更」をクリックして下さい。



「3」の色が変わり、「サン」と読むようになります。

6. コンテンツの構造化

構造化とは、ページ情報を付加したり、章や節といったセクションごとに区切って見出しをつけたりなどして、文書を一定の「意味のまとまり」ごとに構成された形にすることです。

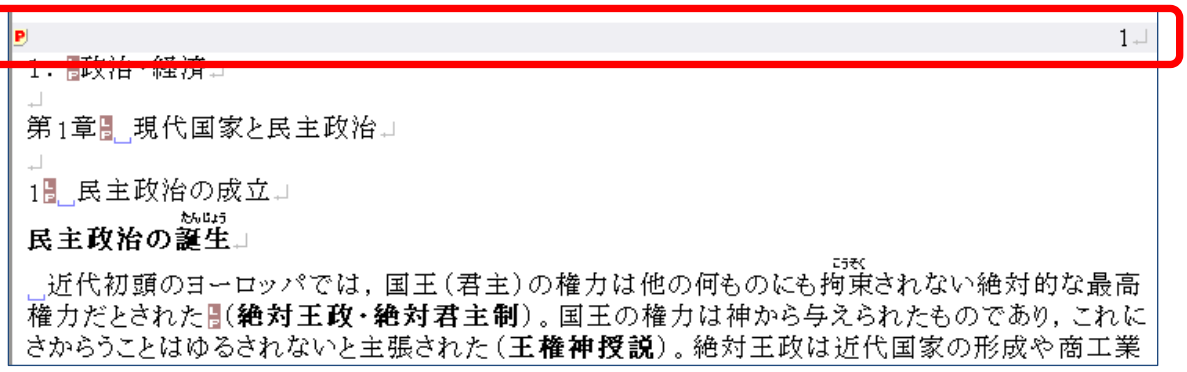
インポートしたテキストファイルなどは、例えれば長大な巻物のようなものですので、読者が利用しやすいよう必ず構造化しましょう。

6-1. ページ番号の設定

教科書など、原本のページ情報が必要なコンテンツを製作する場合に設定します。

① 数字を入力・選択 → 右クリック → ［ページ番号］

③ 数字がページ番号として設定されます。



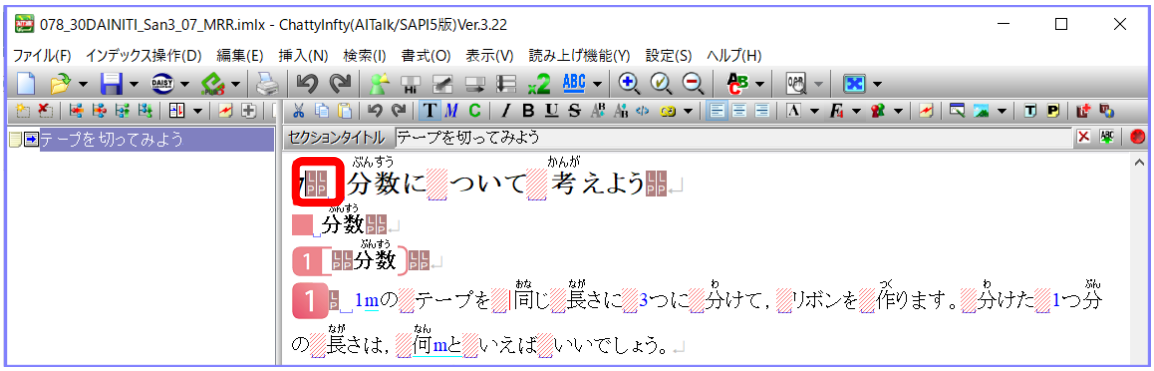
※ この構造化作業により、出力ファイルがページ単位で移動できるようになります。

6-2. セクションの分割と階層化

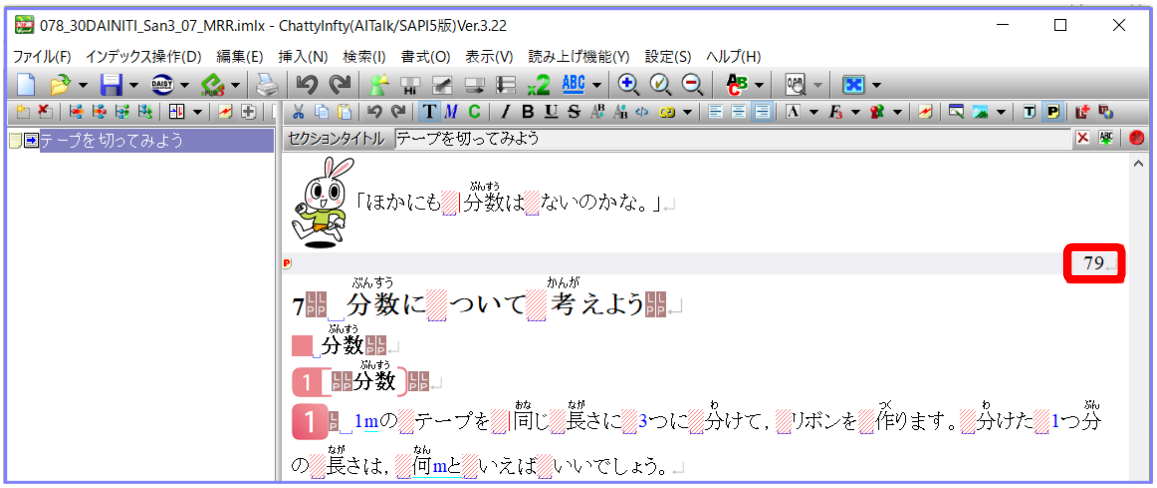
見出しの左側にある(縦書き)と(横書き)のマークは、そのセクションを DAISY 出力したときに、横書きにするか、縦書きにするかを表しています。

（縦書き・横書きの指定の仕方については、6-4 参照。）

① 見出しにしたい行にカーソルを移動させます。

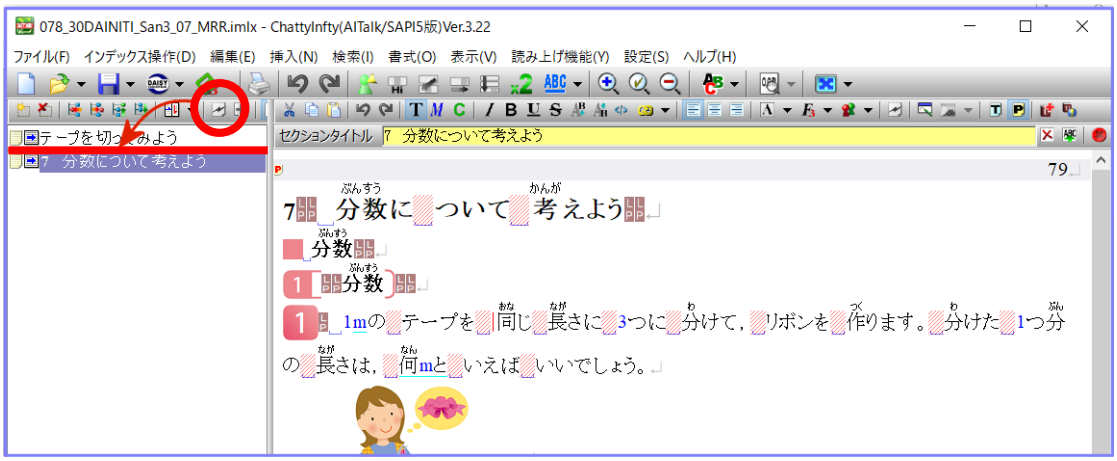


※ 見出しがページの先頭（ページ番号行の直下）にある場合は、ページ番号の先頭 にカーソルを移動させます。（あらかじめページ番号の設定がされている必要があります。）



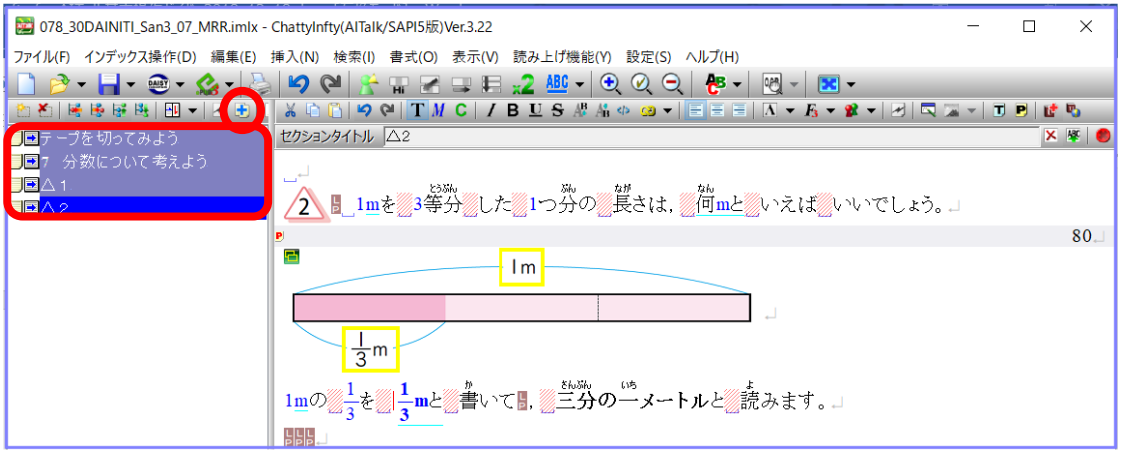
② セクションを分割 をクリックすると、カーソルを置いた行が見出しとなり、それ以降の文章が、新たなセクションになります。

※ ページ番号は、見出しにはなりません。

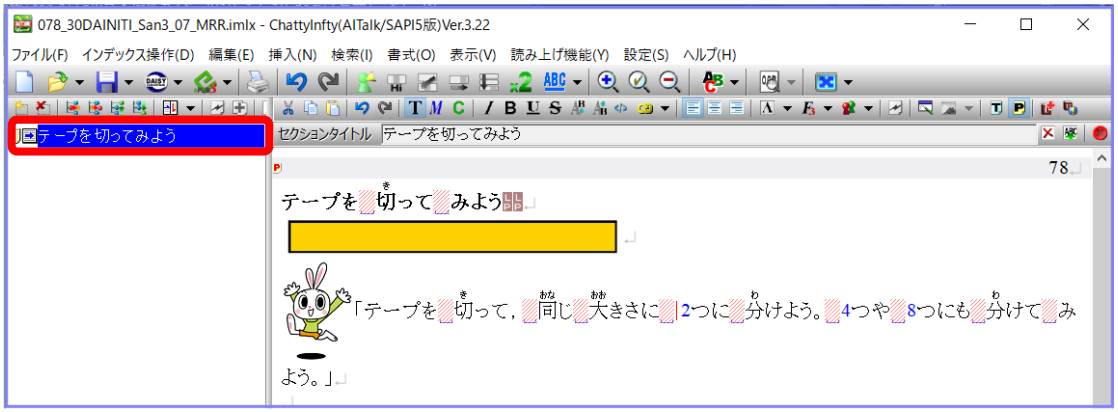


※ セクションを結合する場合は、該当する見出しを選択して、

セクションを連結 をクリックします。

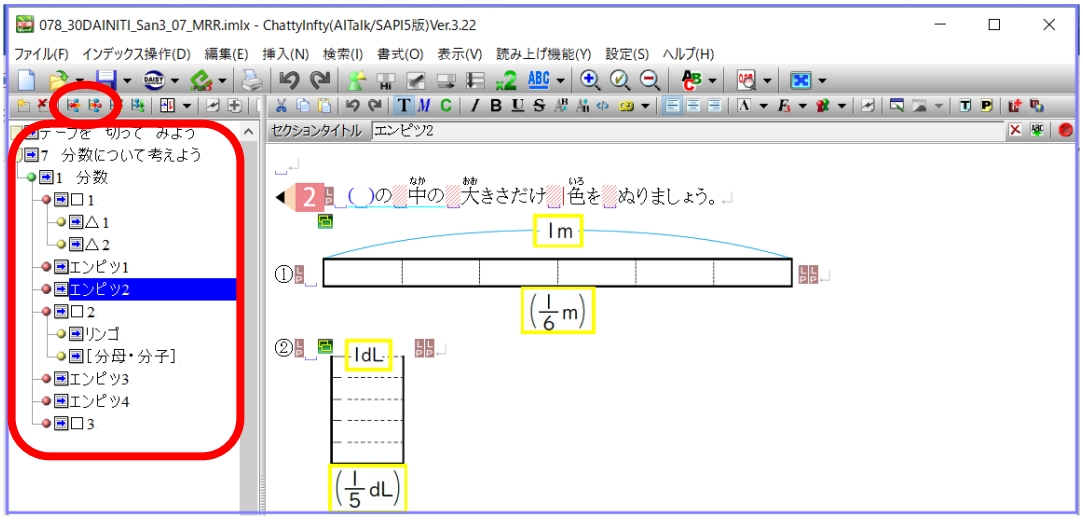


一番上のセクションに結合されます。



③　見出しを選択して、レベルを下げる  ／ レベルを上げる  をクリックします。セクション間の関係性を階層化します。

※ 以上の作業により、出力ファイルが見出しやそのレベルごとに移動できるようになります。



6-3. セクションの分割/結合

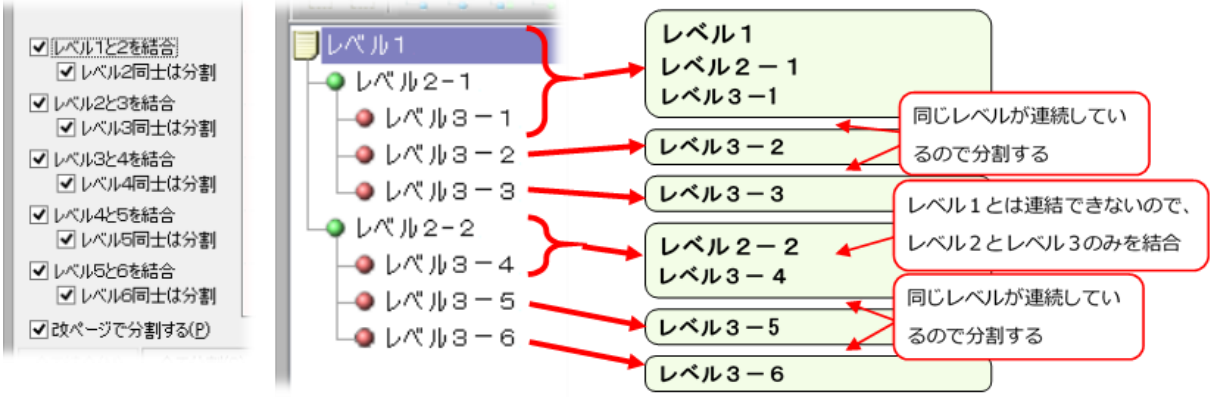
DAISY出力画面で、 セクションの結合/分割設定 ボタンをクリックすることにより様々な方法を設定します。



分割方法

設定画面の「レベル2同士は分割」～「レベル6同士は分割」のチェックをＯＮにすると、結合設定されたセクションでも、同じレベルのセクションが連続している場合は分割されます。つまり、下図１のように全てのチェックをONにした状態で下図２を出力すると下図３のような出力結果になります。

【図１】設定画面　【図２】コンテンツのセクション構造　【図３】出力結果(HTML ファイル)

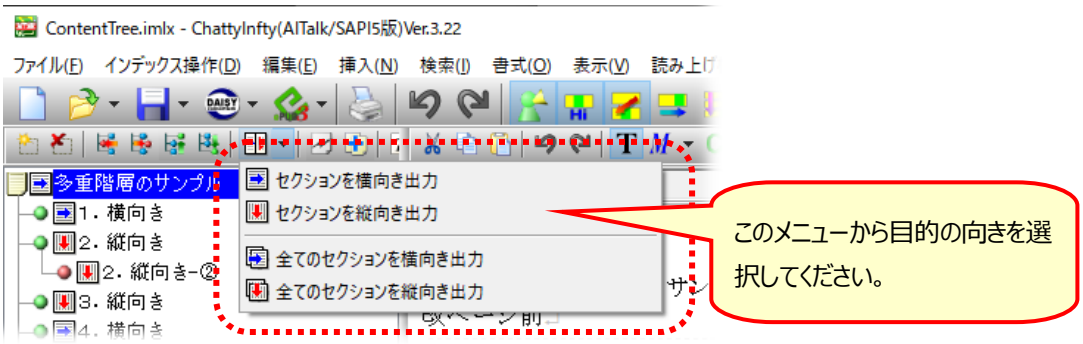


6-4. 縦書き横書き（AITalk 版・SAPI５版日本語モード）

目次画面でセクションごとに、縦書き・横書きを選択することが出来ます。

（1）縦書き横書きの設定方法

セクションの縦書き・横書きを切り替えるには「インデックス操作(D)」メニューか目次画面のツールバーのボタンをクリックします。

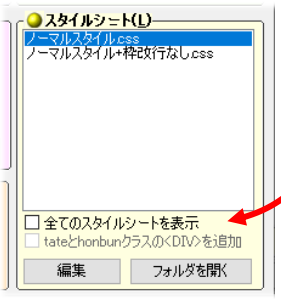


セクションの向きを設定すると、(横書き)と(縦書き)のアイコンが表示されます。

（2）DAISY / EPUB の設定に関して

今回の変更により、DAISY変換画面でのスタイルシートの選択から縦書きスタイルは表示されなくなりました。また「縦書きスタイル(VOD用)」も廃止となります。

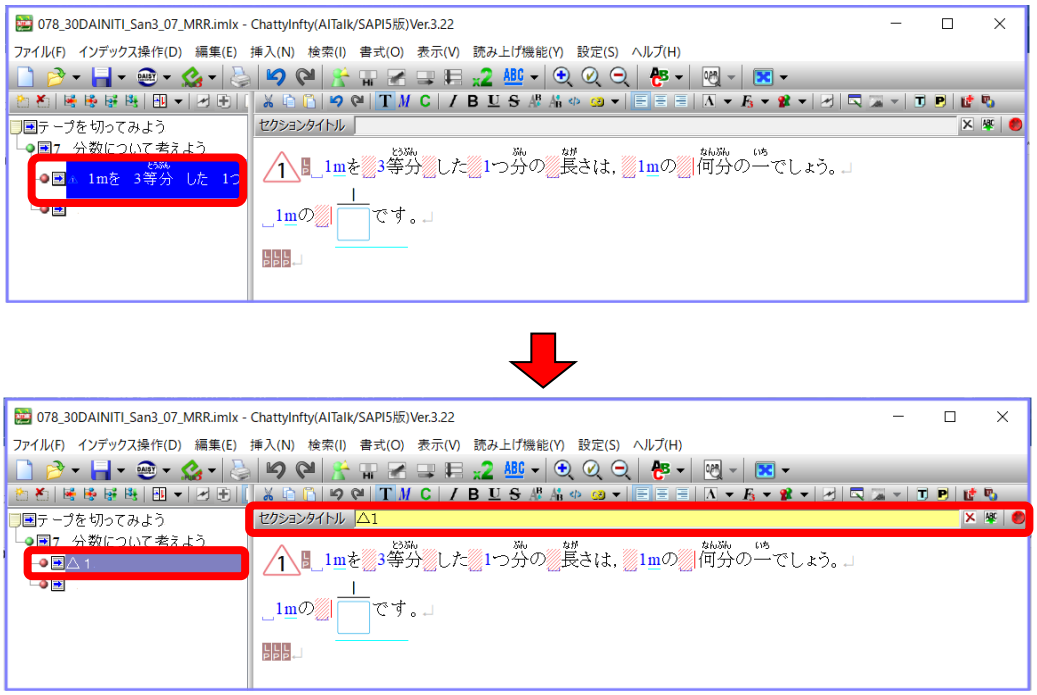
(切り替える必要がなくなったため)



ユーザーが任意にカスタマイズしたスタイルを使用する場合は「全てのスタイルシートを表示」を選択してください。従来の画面と同じように全てリストを表示することができます。
ただし、従来のスタイルでは縦横混在のコンテンツを出力することはできません。

6-5. セクションタイトル

見出し（セクションタイトル）は自動でセクション分割の先頭の行になります。セクションタイトルを変更したいときは上部のセクションタイトルの欄に書き込むことにより、任意の見出しに変更できます。



先頭以外の行をタイトルにする場合

先頭の行以外の行をタイトルにしたいときは、その行にカーソルをおき、ツールバーのタイトルスタイルボタン  をクリックしてタイトル行を指定できます。

（バージョン 3.21 以降）



6-6. タイトル行設定

コンテンツの任意の行をセクションタイトルとして指定できます。



設定方法

以下の**3つの方法**で設定することができます。

- 書式メニューから[タイトルスタイル]を選択します。
- 編集画面のなかの任意の位置でコンテクストメニュー（マウスの右クリックかキーボードのメニューキー）から[タイトル]を選択します。
- ショートカットキー[Alt]+[Ctrl]+[Shift]+[I](アイ)

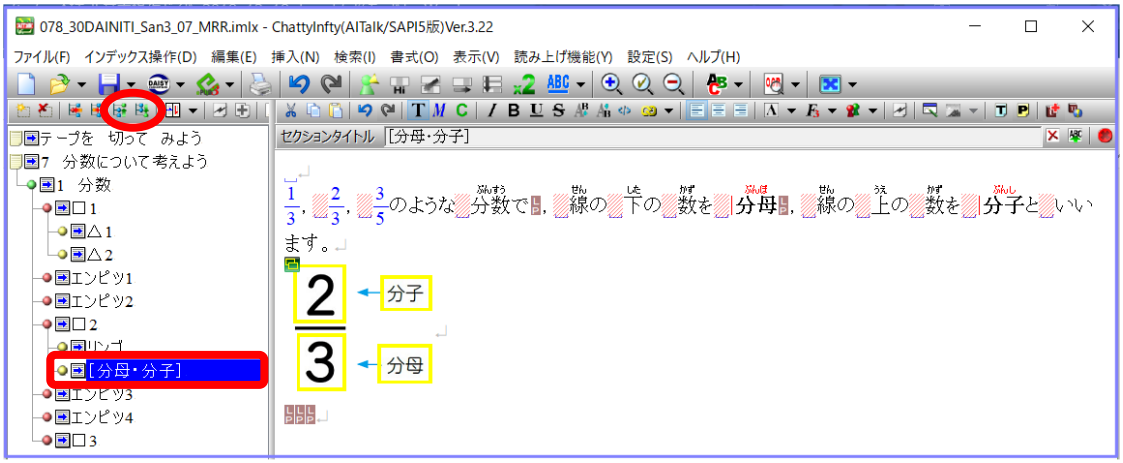
※ DAISYやEPUB3変換してビュアー(ChattyBooks等)で開いたとき

目次から項目を選択した場合、設定したタイトル行からではなく、セクションの先頭から読み上げを開始します。



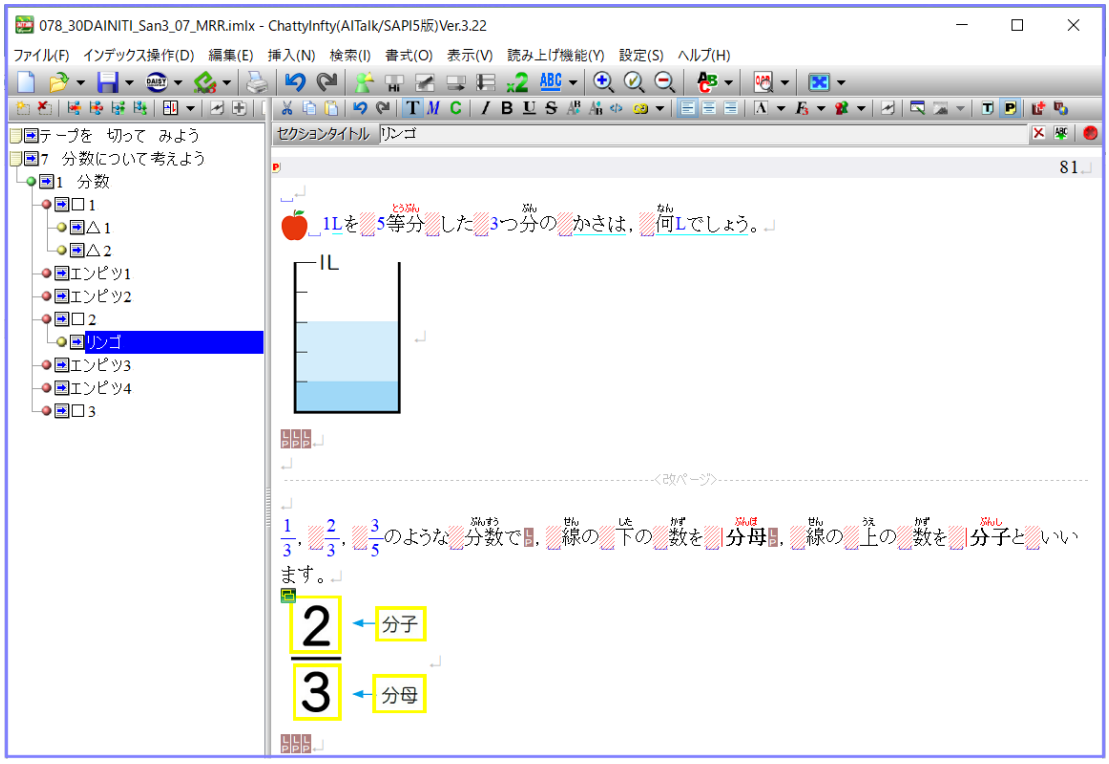
6-7. セクションの移動

見出しを選択して、 前に移動 ／ 後ろに移動 をクリックすると、セクションの順序を変更することができます。



6-8. ページ区切り

カーソルを区切りたい行に合わせ、 Ctrl + Enter で見出しにはしないページ区切りをつけることができます。アニメーションや画像画面を安定させたいときや、長いページを区切りたいときに使います。



6-9. ファイルの読み込み

作業中のファイルの末尾あるいは途中に、ChattyInfty で編集した複数の imlx ファイルを読み込み、結合することができます。1 つのタイトルを分担製作する場合などに便利です。

※　単語辞書は、読み込む先の単語辞書が適用されるようになりますので、ご注意ください。

①　作業中のファイルを開き、　［ファイル］　→　［追加読み込み］



②　追加したいファイルを選択し（複数選択可）、 開く をクリックすると、以下のダイアログに表示されます。

上に移動 ／ 下に移動 でファイルの並び順を調整し、 実行 すると、作業中のファイルの末尾に追加されます。

※ 作業中のファイルの特定の見出しの続きに追加したい場合は、該当する見出しをあらかじめ選択しておいた状態で①②を行い、ダイアログ左下の「現在選択中のインデックスの下に追加する」にチェックを入れて、実行します。

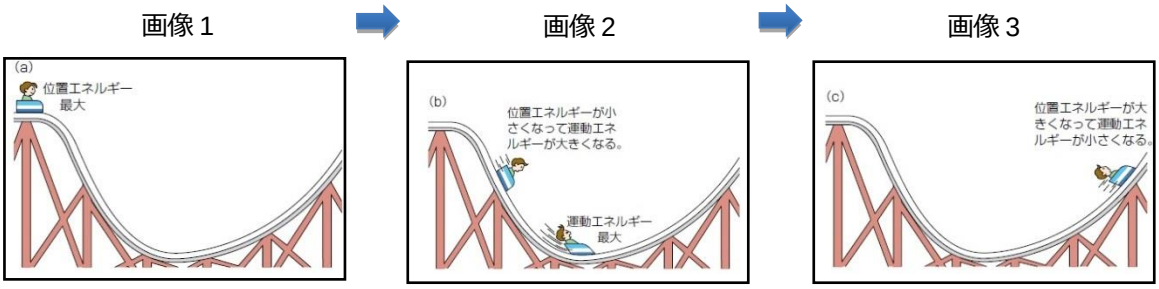


7. アニメーションの作成

複数の画像をアニメーションのように表示させることができます。

ChattyInfty の編集画面上で、複数の画像各々に設定されたテキストの音声と同期して、画像を切り替えてアニメーションのように表示させることができます。
DAISY 出力画面でも、ChattyInfty の編集画面上と同じように、音声と同期した画像を切り替えてアニメーションのように表示させることができます。

【画像の切り替えによるアニメーション表示のイメージ】



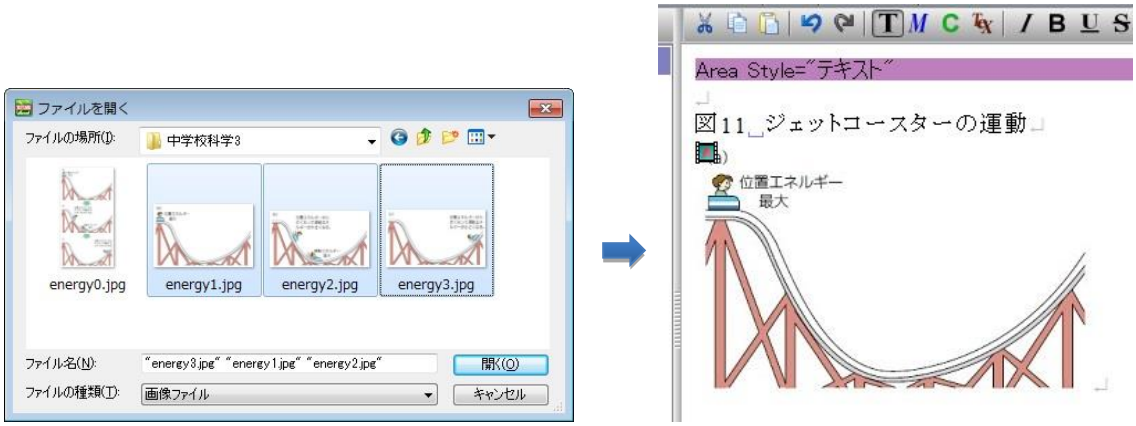
画像の出典：『中学校 科学 3』（学校図書株式会社，平成 25 年）p.51

※ 再生ソフトによっては、長いページの中にアニメーション画面があると再生時に揺れて見にくいことがあります。そのような現象を避けるため、アニメーションを含むページが 1 画面に収まるよう見出しをつけて切り分けることが重要です。

7-1. 作成方法 1　複数画像を選択して

① アニメーションを挿入したい位置にカーソルを移動 →「画像を挿入するボタン」

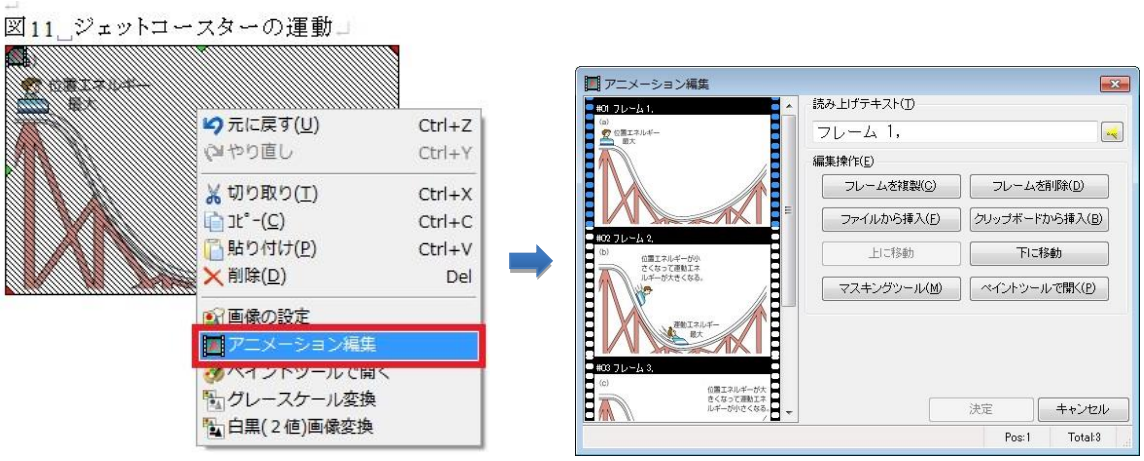
→ 選択ダイアログから複数の画像を選択 → ［開く］



編集画面にアニメーション領域が作成され、左上隅に  のアイコンが表示されます。

※ 選択した画像は、ファイル名の順にソートされます。

② アニメーション領域を選択 → 右クリック → ［アニメーション編集］

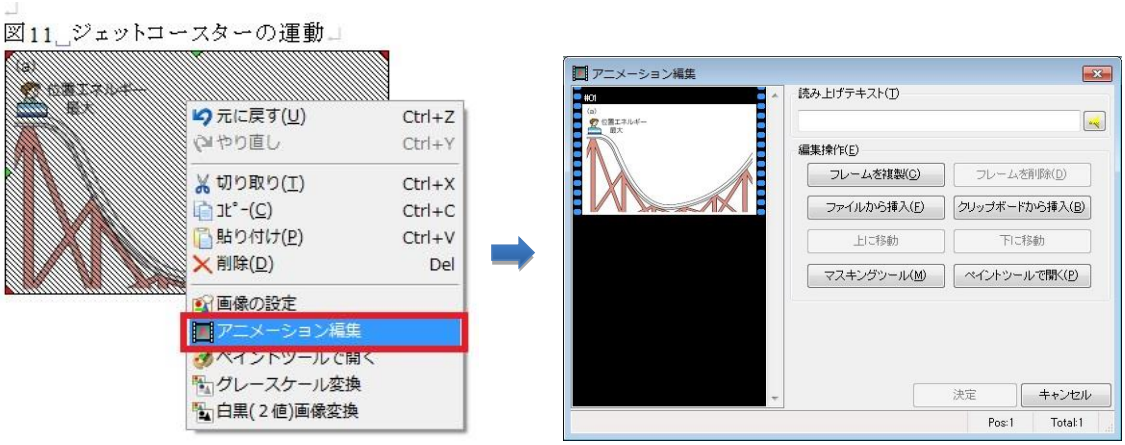


アニメーション編集ダイアログで、読み上げ音声やフレーム（コマ）の編集等ができます。

詳しくは、「7-3. アニメーションの編集」参照。

7-2. 作成方法 2　編集画面上の既存画像から

編集画面上の画像を選択 → 右クリック → ［アニメーション編集］



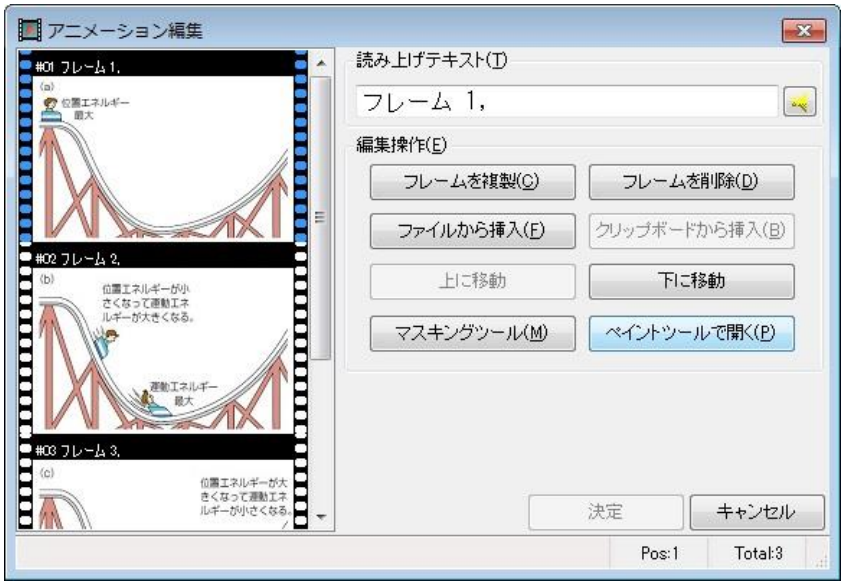
アニメーション編集ダイアログで、読み上げ音声やフレーム（コマ）の追加等ができます。

詳しくは、「7-3. アニメーションの編集」参照。

7-3. アニメーションの編集

「アニメーション編集」ダイアログで行います。

編集画面上で画像やアニメーション領域を選択 → 右クリック →［アニメーション編集］



7-3-1. 読み上げ音声・ポーズの付加

「読み上げテキスト」欄に、各フレームに対応したテキストを入力します。フレームとは、アニメーションのひとコマとなる画像のことです。

「読み上げテキスト」欄の右にある  ボタンで、入力したテキストの読み上げテストを実行できます。

※ 各フレームの「読み上げテキスト」欄には、何らかの入力がされている必要があります。（空欄にしておくと、決定時にエラーが出ます）

※ アクセントを調整する際は、調整したい範囲を半角の ＜　＞ で囲い、カナで入力します。アクセントの山にしたい語には、後ろに全角アポストロフィあるいは半角シングルコーテーションを付します。

【例】運動<エネ'ルギー>最大

※ 音声ではなくポーズを付加したい場合は、画像にポーズを入れる際と同様に、「短ポーズ」や「長ポーズ」を必要数入力するとよいでしょう。

7-3-2. フレームの複製

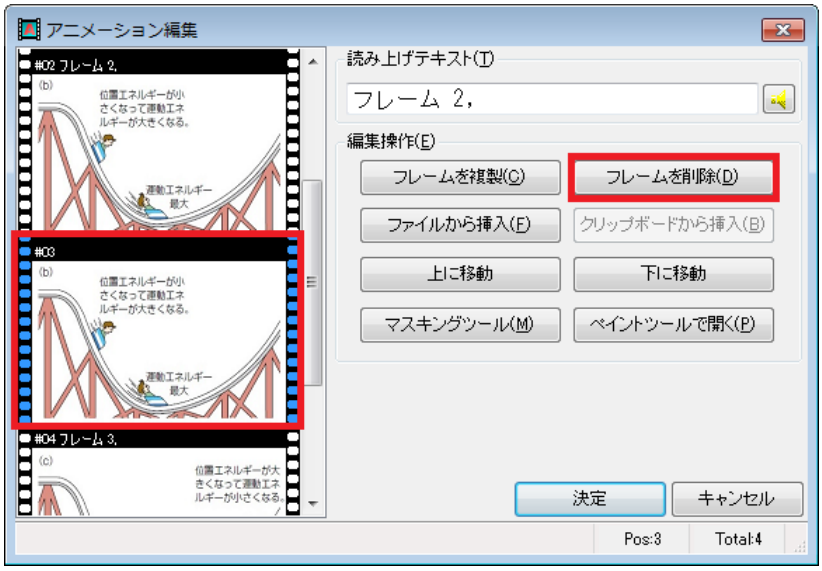
複製したいフレームを選択 → フレームを複製 → コピーが次のフレームに挿入

※　選択したフレームの読み上げテキストもコピーされます。



7-3-3. フレームの削除

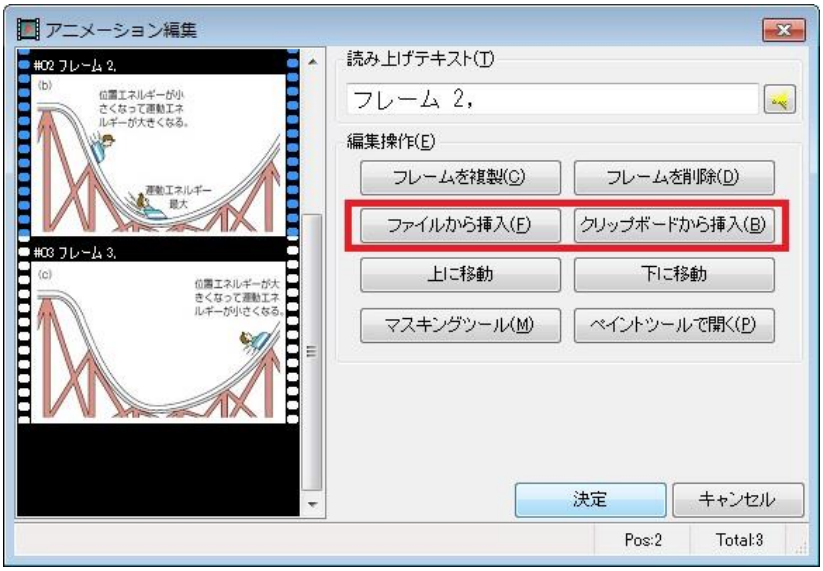
削除したいフレームを選択 → フレームを削除



7-3-4. ファイルやクリップボードから挿入する

ファイルから挿入 ボタンで、ファイル選択ダイアログから新たなフレーム画像を挿入することが出来ます。

クリップボードに画像がある場合は、 クリップボードから挿入 ボタンでフレーム画像として挿入することが出来ます。



挿入する画像サイズの調整

既存のフレーム画像サイズと、新たに挿入する画像のサイズが異なる場合は、以下のダイアログが表示されますので、任意の形式を選択して挿入して下さい。

サイズの指定方法は下記の３通りです。

① トリミング

画像を拡大縮小せず、現在のフレームサイズに収まるように切り取ります。

※　切り取り位置の指定は トリミングオプション で指定できます。

② リサイズ（フィット）

画像の縦横比を保持したまま、フレームサイズに収まるように拡大縮小します。

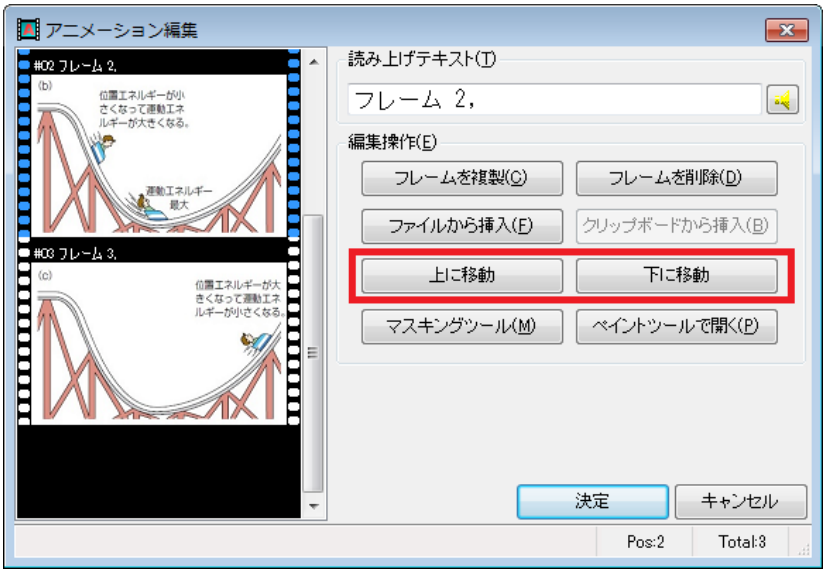
③ リサイズ（ストレッチ）

画像の縦横をフレームに収まるように拡大縮小します。

※　トリミングとリサイズ（フィット）の場合、余白が発生しますが、 背景色の変更 で任意の色を指定できます。 背景色の初期値は画像の右上隅 4×4 ピクセルの色の平均色です。

7-3-5. フレームの移動

上に移動 ／ 下に移動 ボタンで、任意にフレームの順番を変更できます。

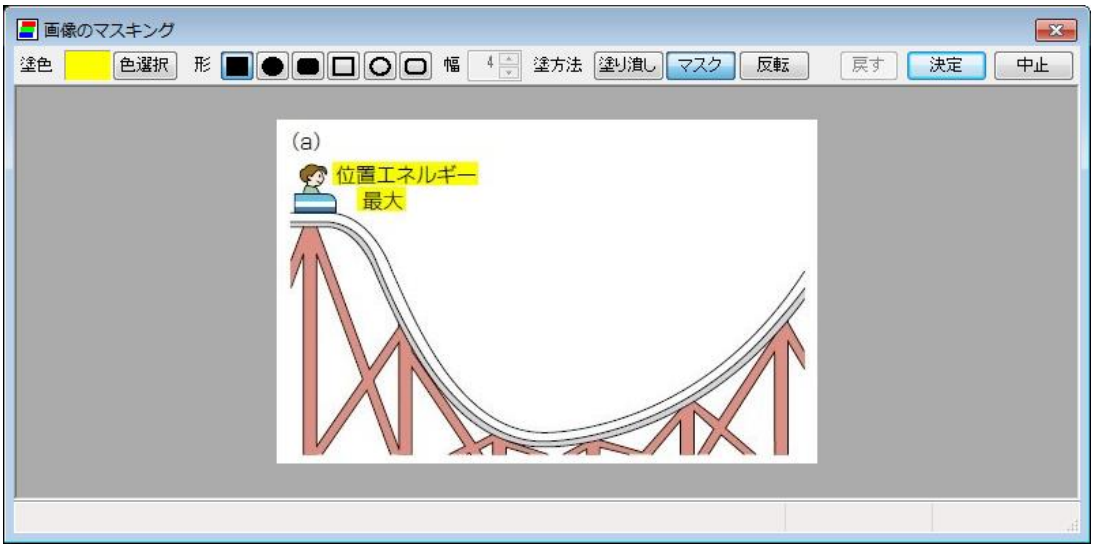


7-3-6. マスキングツール

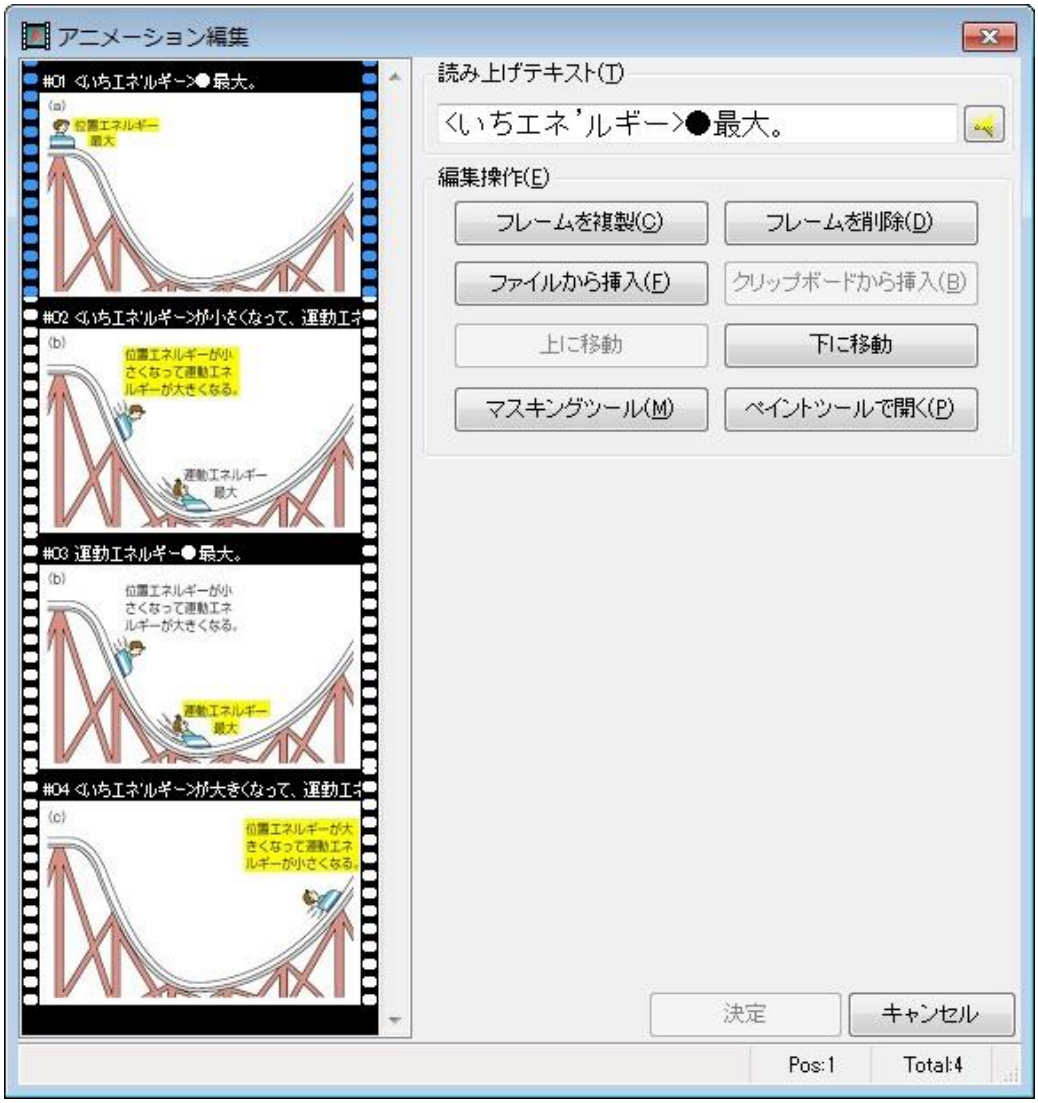
マスキングツールは、フレーム画像に矩形や楕円で着色する簡易ツールです。

マスキングツール ボタンか、選択中のフレームをダブルクリックすることで、マスキングツール画面が表示されます。

例えば、画像中のテキストにマスキングすることで、アニメーション再生時にテキストハイライトしているように見せることができます。



さらに、マスキングしたテキストをその画像の読み上げテキストにすると、アニメーション再生時にテキストハイライトと音声が同期しているように見せることができます。



7-3-7. ペイントツール

フレームの画像を外部のペイントツールで編集できます。

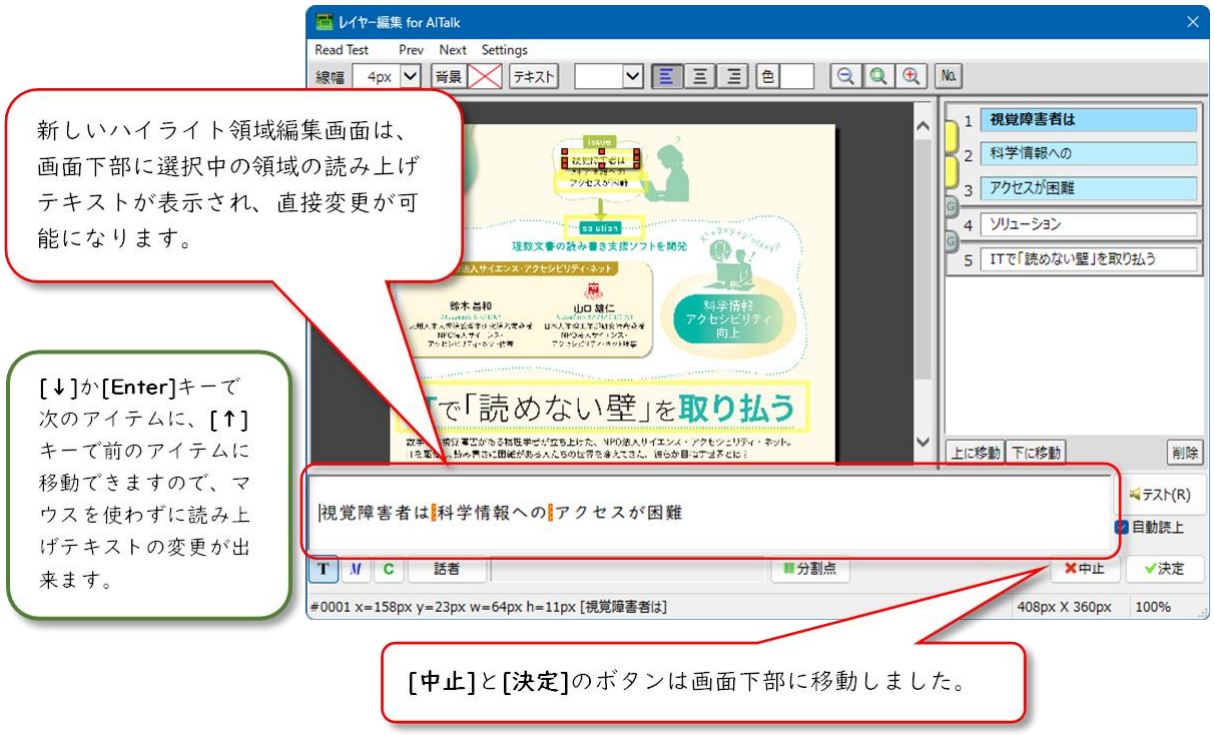
ペイントツールが設定されていない場合は、ファイル選択ダイアログが表示されますので、任意のペイントツールを選択して下さい。

（Windows ペイントの場合は、"C:¥Windows¥System32¥mspaint.exe" です。）

8. ハイライト領域（旧：レイヤー）機能

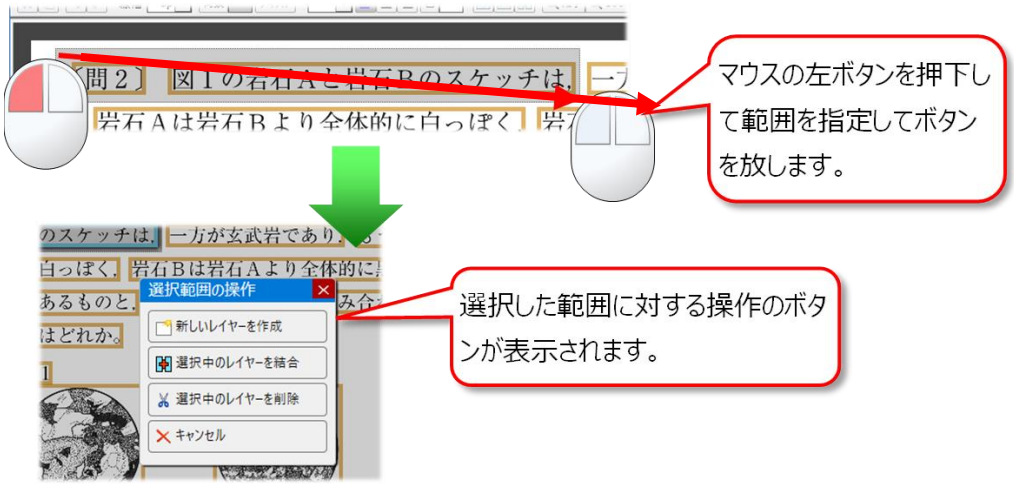
ChattyInfty3 のハイライト領域機能とは、画像の任意の部分を範囲選択して読上テキストを設定することにより、DAISY コンテンツで画像の指定部分をハイライト表示する機能です。

※Ver.3.28 から編集画面が新しくなりました。



8-0. Ver.3.28c 以降で新しく追加された機能

8-0-1 複数のハイライト領域の範囲指定と操作



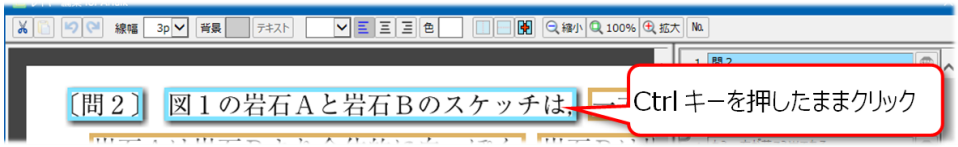
「選択範囲の操作」画面から「新しい領域の作成」など目的の操作ボタンをクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると「選択範囲の操作」画面が消えますが、選択したハイライト領域は保持されます。(画面の外側の余白部分をクリックしても画面は消えます)

領域が水色の枠で表示された選択状態でもツールバーから領域の切り取りや結合等の操作が可能です。

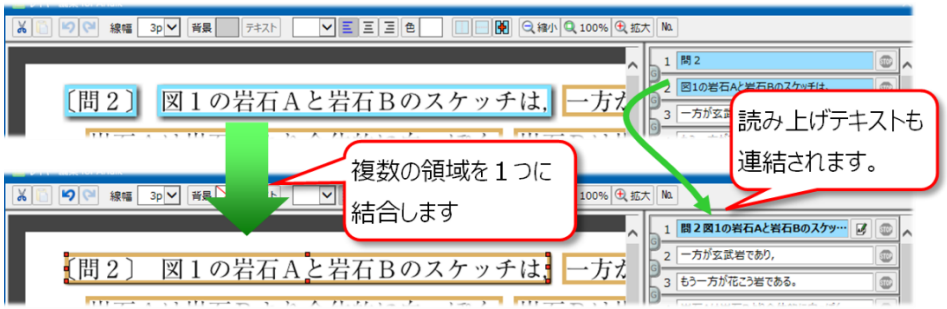
8-0-2 キー操作での複数選択

「Ctrl」キーを押したまま、マウスで任意のハイライト領域をクリックすることにより、複数の領域を選択状態にできます。



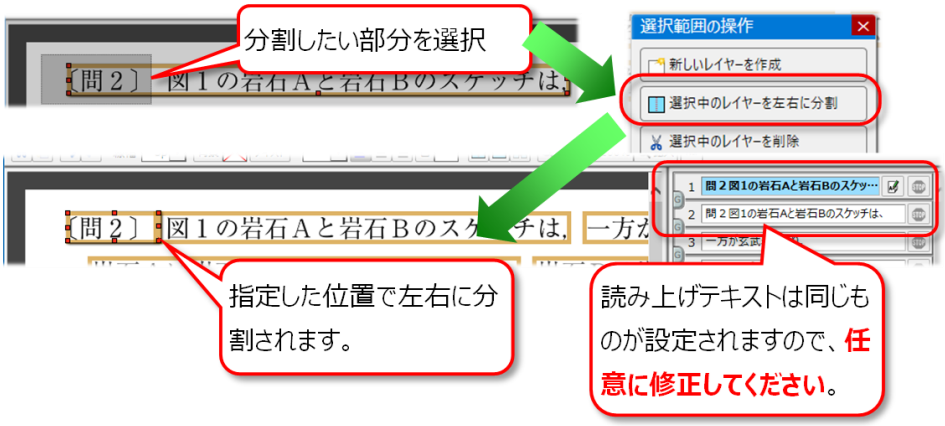
8-0-3 ハイライト領域の結合

複数の領域を選択した状態で「選択中の領域を結合」か、ツールバーの「」ボタンで、１つの領域に結合することができます。



8-0-4 ハイライト領域の分割

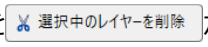
１つの領域を２つに分割したい場合は、分割したい部分を範囲選択して、「選択範囲の操作」画面から「選択範囲の領域を左右に分割」をクリックします。



※縦書きの場合も上下に分割することが可能です。

※ツールボタンのを使用した場合は、矩形の中間地点で２分割されます。

8-0-5 ハイライト領域の削除（切り取り）と貼り付け

選択した複数の領域をか、ツールバーの「」で削除することができます。

直前に削除した領域は、ハイライト領域一覧の任意の位置（順番）に貼り付けることができます。

※領域の「上に移動」や「下に移動」で順番を入れ替える操作を１回の操作でできます。

8-0-6 ハイライト領域をまとめて移動

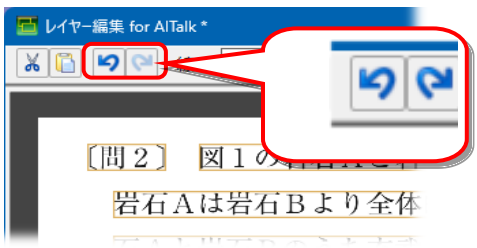
複数の領域を選択した状態で、「Ctrl」＋上下左右の方向キーを押すことにより、１ピクセルずつ任意の方向に移動することができます。

8-0-7 ハイライト領域をまとめてサイズ変更

複数の領域を選択した状態で、「Ctrl」＋「プラス」もしくは「Ctrl」＋「マイナス」キーで拡大縮小することができます。

※通常は、「＋」は Shift を押して入力しますが、この操作では Shift は押さないでください。

8-0-8 アンドゥ・リドゥ（元に戻す・やり直す）機能

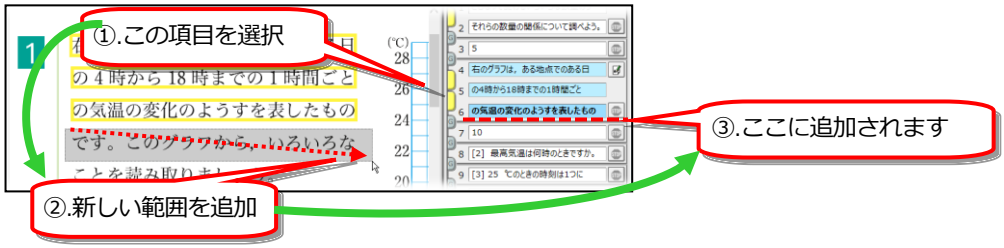


アンドゥ・リドゥ（元に戻す・やり直す）ボタンを追加しました。

最大２０ステップ前の状態にまで戻すことができます。

8-0-9 新規ハイライト領域の挿入位置

従来のハイライト領域編集では、画面上の任意の範囲を選択して新しい領域を作成するとハイライト領域一覧の最後に追加されていましたが、新しい方式では選択中のハイライト領域の後方に追加されるようになりました。



また既存のハイライト領域が選択されていない場合は、近くの領域の後方に挿入されます。

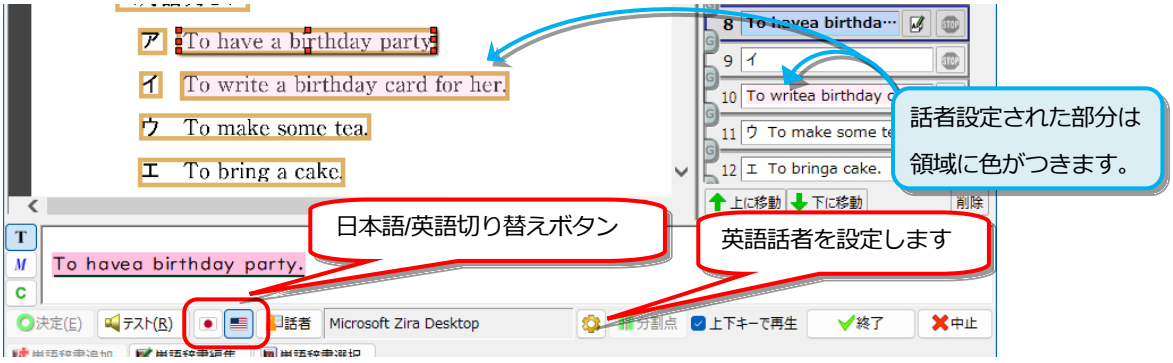
8-0-10 単語辞書編集（AITalk 版のみ）

ハイライト領域編集画面の左下側に AITalk の単語辞書を編集するボタンを追加しました。

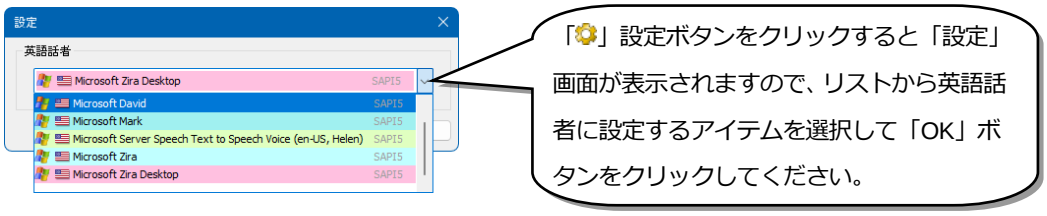


8-0-11 日本語/英語話者切り替え

選択中のハイライト領域の読み上げ話者（音声）を、ワンタッチで日本語や英語に切り替えることができます。



※英語話者の初期設定は「Microsoft Zira Desktop」です。英語話者を変更するには「⚙」設定ボタンをクリックしてください。



また、画面右上のボタンをクリックすると、画面右のハイライト領域一覧にも言語切り替えボタンを表示できます。このボタンはクリックするたびに日本語/英語の話者切り替えができます。

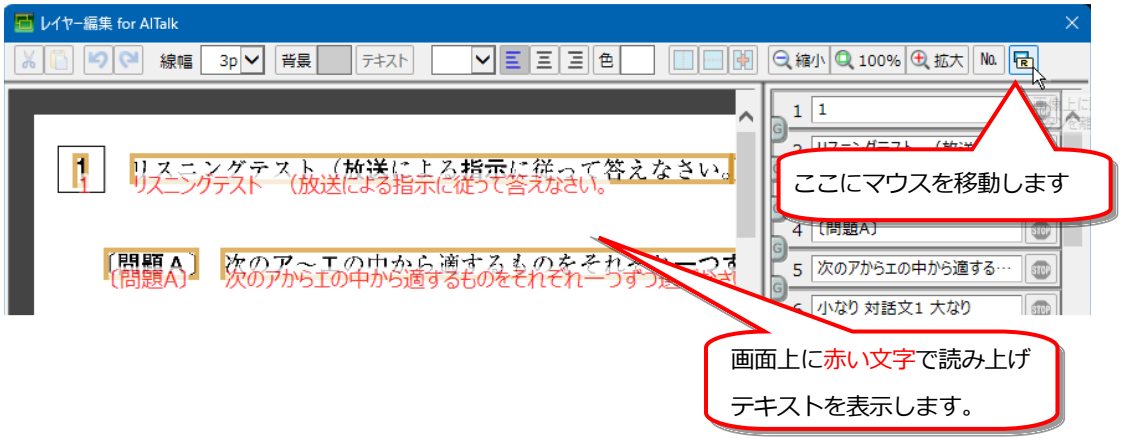


8-0-12 読み上げテキスト表示

画像上に読み上げテキストを表示して、画像の文字と読み上げを比較できます。

画面上部の「R」ボタンにマウスをあわせると読み上げテキストが表示されます。

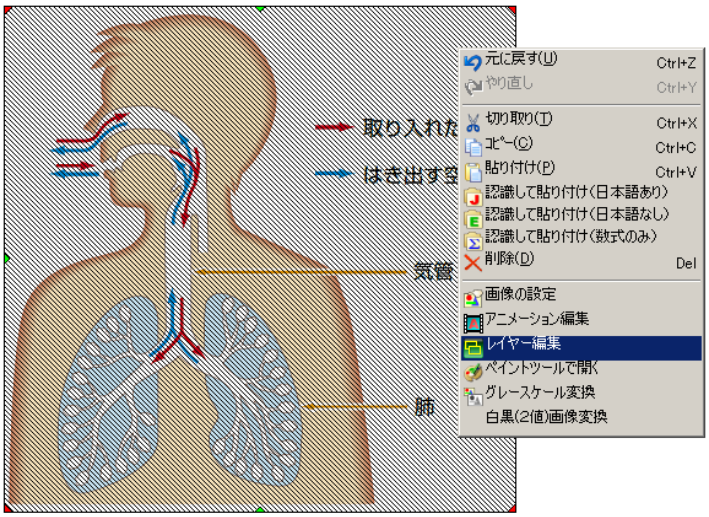
※ マウス以外にも、F1 キーを押下するか、Ctrl+[T]キーで表示することができます。



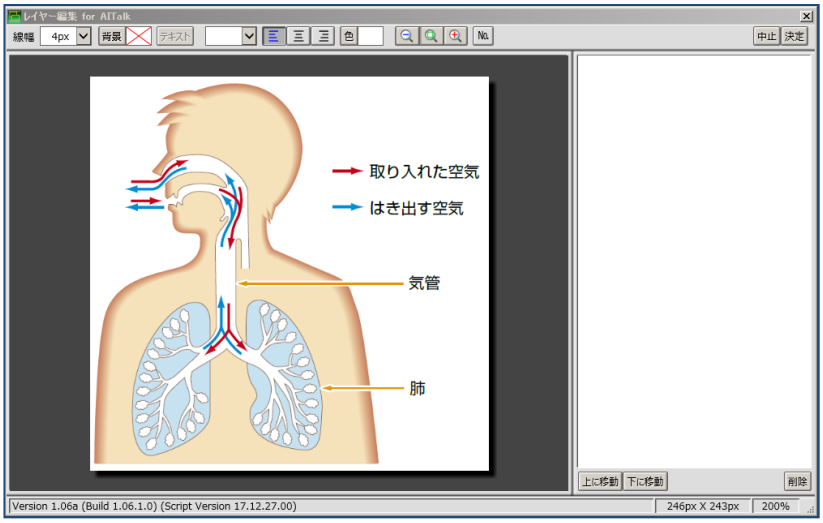
8-1. 画像中の文字をハイライトしながら読み上げる機能

ChattyInfty 画面上の画像中の文字を順次読み上げていく機能を編集します。

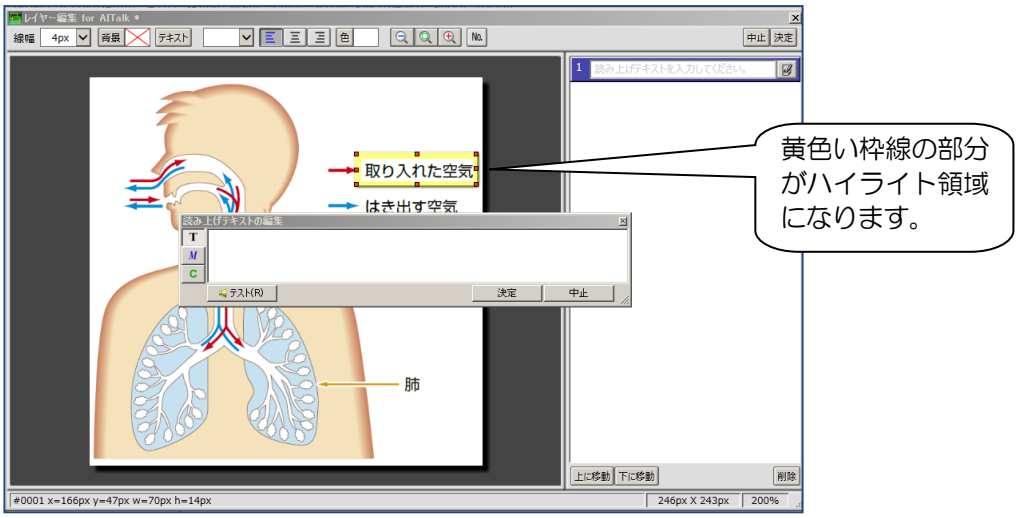
① 画像を選択 → 右クリック → ［ハイライト領域編集］をクリック



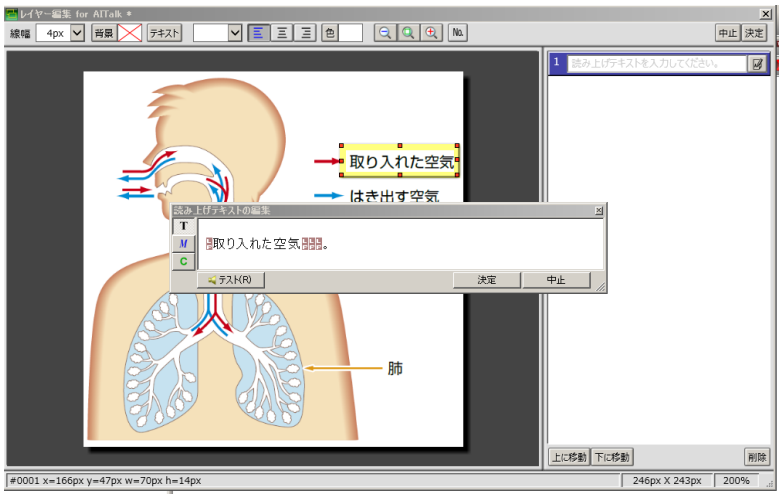
② ハイライト領域編集画面が出ます。



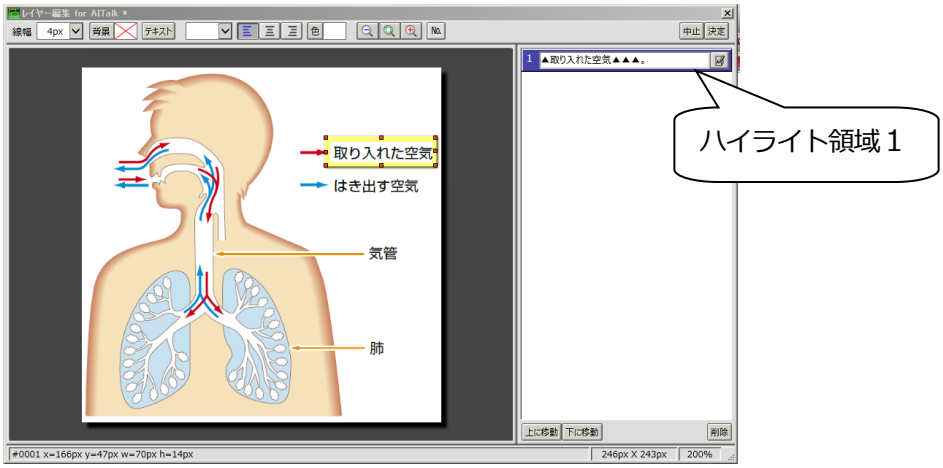
③　読み上げハイライトさせたい部分を指定します。



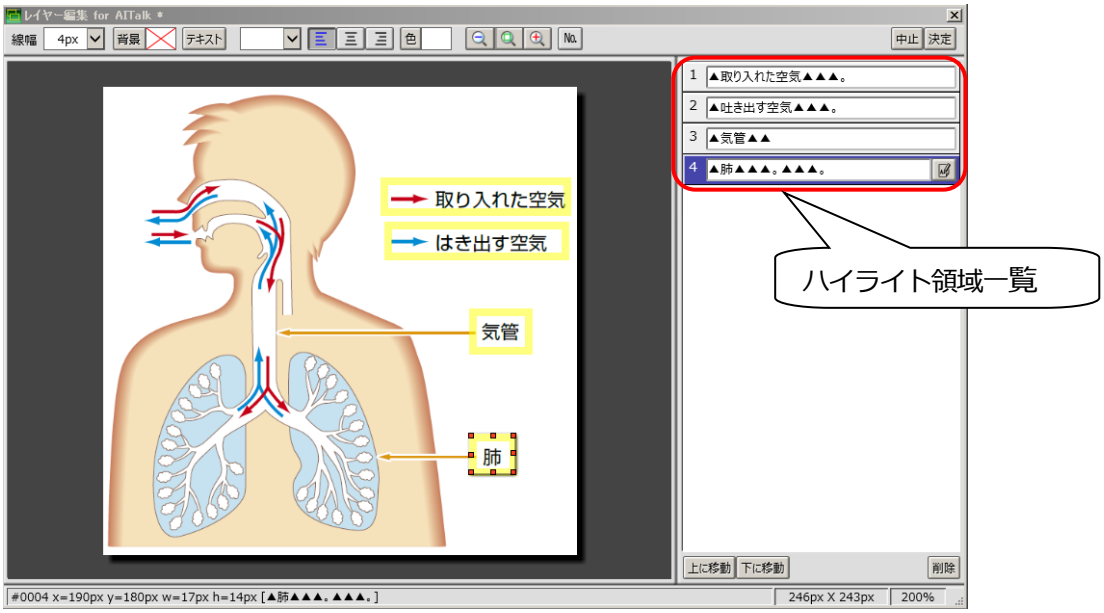
④　読み上げテキストの編集画面に、読み上げテキストを入力します。数式も入力できます。必要に応じてポーズなども挿入するとよいでしょう。



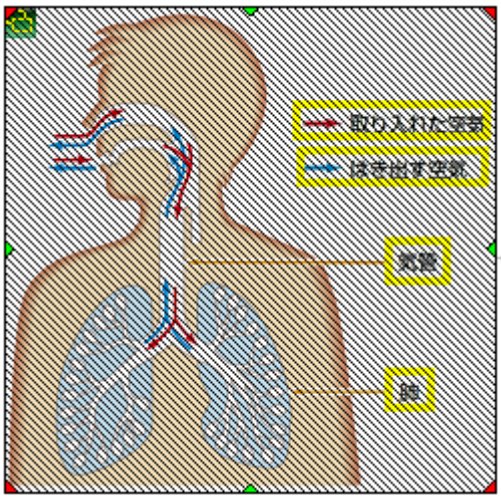
⑤　「テスト」をクリックして読みを確認します。必要な修正をして、「決定」をクリックするとハイライト領域１が作成されます。



⑥　同様にしてハイライト領域を順次編集します。DAISY 画面ではハイライト領域一覧の順番でハイライトしながら読み上げます。



⑦　「決定」をクリックすると、ChattyInfty 画面に戻り、画面の左上に  アイコンが表示されています。



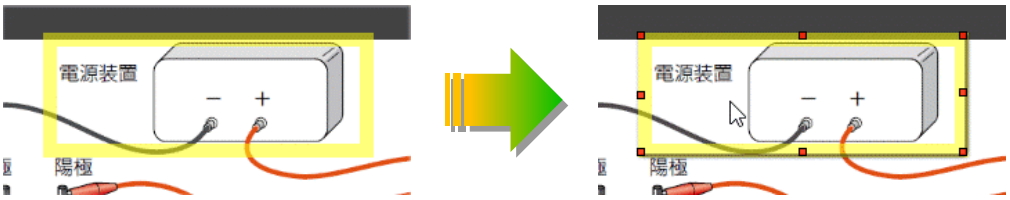
※　完成したら、ChattyInfty で聞いて確認しましょう。ChattyInfty 画面では全てのハイライト領域の黄色の枠線が見えますが、DAISY にすると、読みに合わせたハイライトだけになります。

※　１つの画像に対してハイライト領域とアニメーションの両方を同時に設定することは出来ません。ハイライト領域設定された画像に対してアニメーション編集を実行するとハイライト領域編集された内容は全て破棄されます。

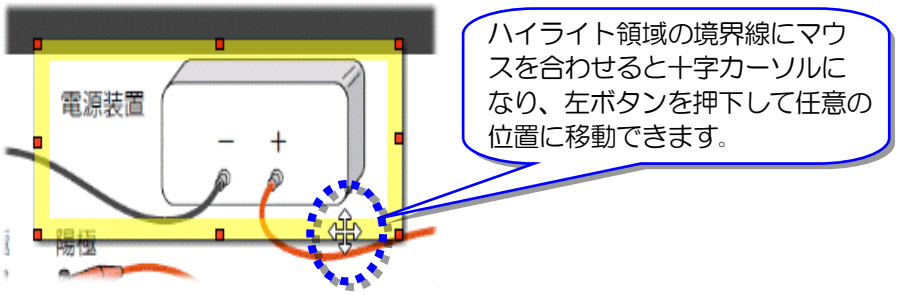
8-2. ハイライト領域の編集

8-2-1. ハイライト領域の選択

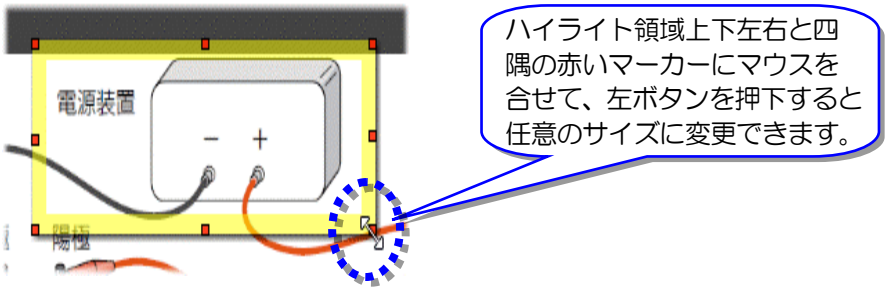
ハイライト領域をクリックすると、選択状態になり周囲に赤いマーカーが表示されます。



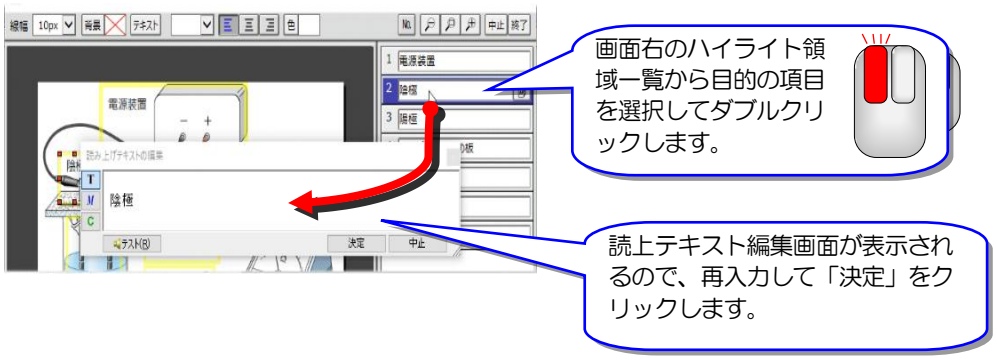
8-2-2. ハイライト領域の移動



8-2-3. ハイライト領域のサイズ変更

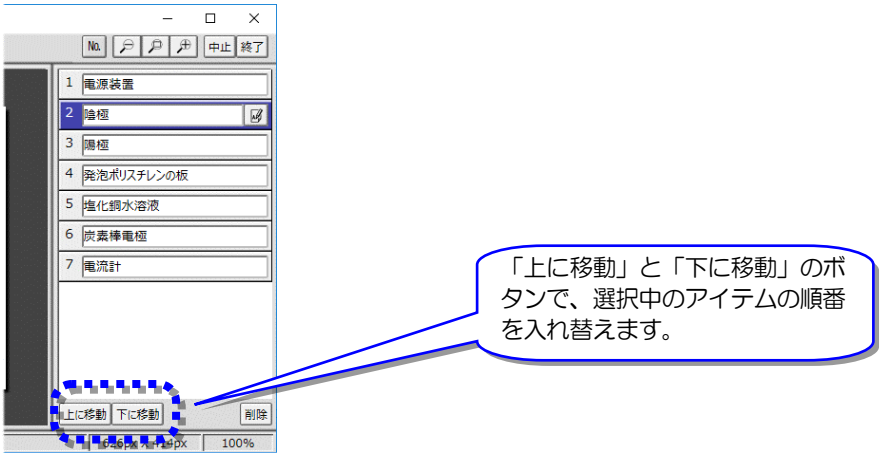


8-2-4. 読み上げテキストの再編集



8-2-5. 読み上げの順番（ハイライト領域の順番）の変更

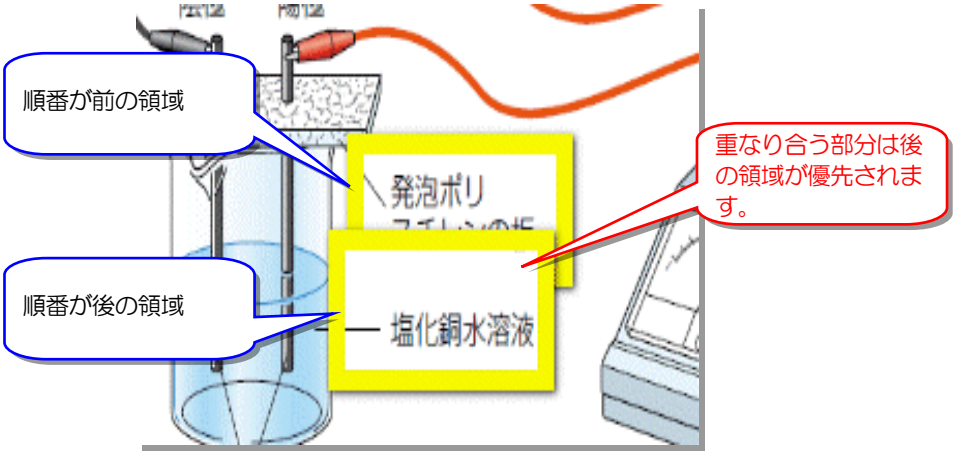
読み上げる順番を変更するには、画面右の任意のハイライト領域をクリックして、画面下の「上に移動」と「下に移動」のボタンで順番を変更します。



8-2-6. 重なり合うハイライト領域について

ハイライト領域同士を重ねて配置すると、重なり合う部分は表示されません。

極力、領域同士が重ならないように注意してください。

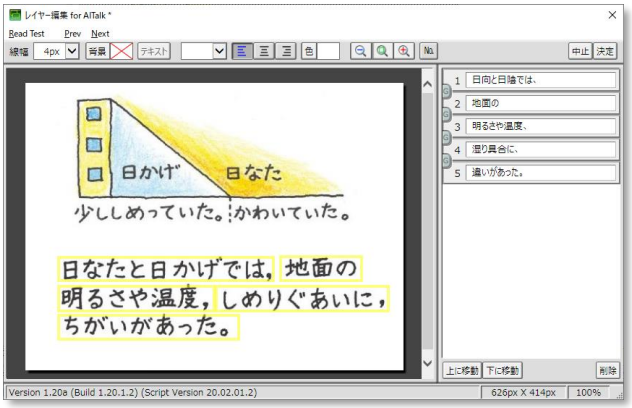


※　ハイライト領域機能は、ChattyBooks/ChattyBookExpress のバージョン 1.02n 以前ではサポートされていないため、正しく表示することが出来ません。1.02n 以降の最新版を利用してください。

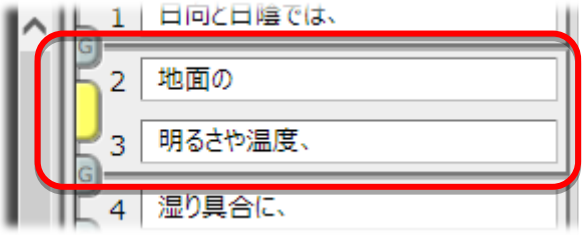
8-2-7. ハイライト領域のグループ化

ハイライト領域のグループ化とは、複数の領域をまとめて１の領域のように連続して一気に読み上げます。 個々の領域は音声の経過時間ごとにアクティブになるので、途切れることなくハイライト表示することができます。

従来のハイライト領域編集では、右のような画像の場合、
①「日なたと日かげでは、」
②「地面の」
③「明るさや温度、」
④「しめりぐあいに、」
⑤「ちがいがあります」
というように領域設定すると、各々が個別に読み上げられるため、特に②と③のように連続して読み上げたい場合に違和感が発生します。



新しいグループ化機能では、②と③のように離れた領域をグループ化して連続して読み上げつつ、個別にハイライトすることができます。



※ **ChattyBooks** と**いーリーダー**では連続再生しますが、**AMIS** や **VOD** ではハイライト領域の切り替わりで、音声が途切れて聞こえることがあります。

※ ChattyBooks 及び ChattyBookExpress は最新の Ver2.04 から対応しています。

【操作方法】

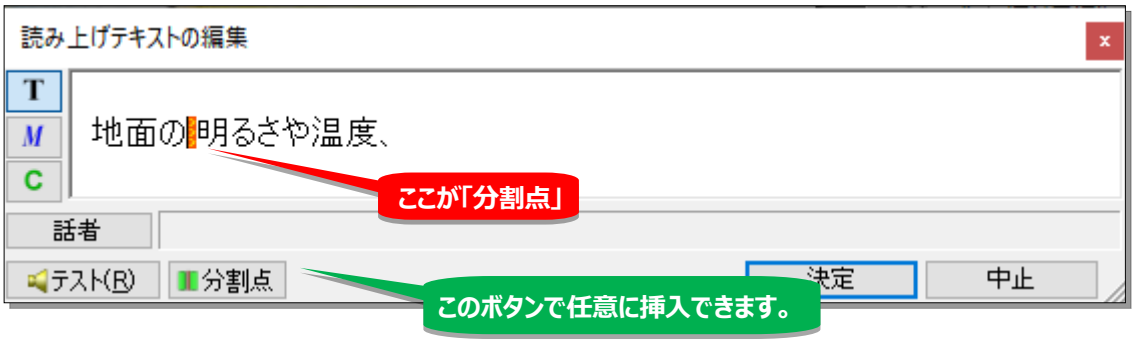
グループ化する方法はいたって簡単で、従来の要領でハイライト領域を作成してゆき、グループ化したい項目と項目の間にある「G」のボタンをクリックします。



【読み上げテキストの編集】

グループ化された項目（ハイライト領域）は従来の読み上げテキストの編集と若干異なり、**「分割点」**を設定します。

分割点とはグループ化された項目の区切り位置のことで、グループ化された項目を読み上げる際に、次の項目へハイライトを移動するタイミングの目印です。



分割点は任意の場所に設定することが可能ですが、必ずグループ化された項目数－１に限られます。
(分割点で区切られた範囲の数が項目数)
※外部の音声を貼り付けた場合は分割点を設定することはできません。



分割点を指定しない方法

分割点を設定せずにグループ化した項目を読み上げることも可能です。
この場合は、全体の再生時間を項目数で割った時間で、ハイライトが切り替わります。
例えば、上記のケースで全体を読み上げるのに５秒掛かる場合は、2.5 秒で次のハイライトに切り替わります。

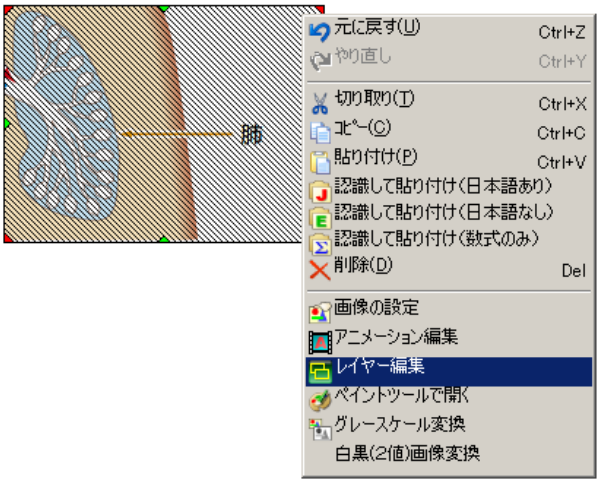
■注意■

グループ化された項目の読み上げ時間は、グループ全体の再生時間に対する各項目の再生時間の割合で決定しますが、音声エンジン(AITalk や SAPI)で全体で読み上げた再生時間と、個別に読み上げた再生時間の合計は必ずしも一致するとは限りません。
このため、編集画面上や DAISY・EPUB コンテンツに変換した場合に再生時間とハイライトのタイミングにミリ秒単位のズレが発生します。
ズレが極端な場合は、分割点を移動するなどの方法で調整してください。

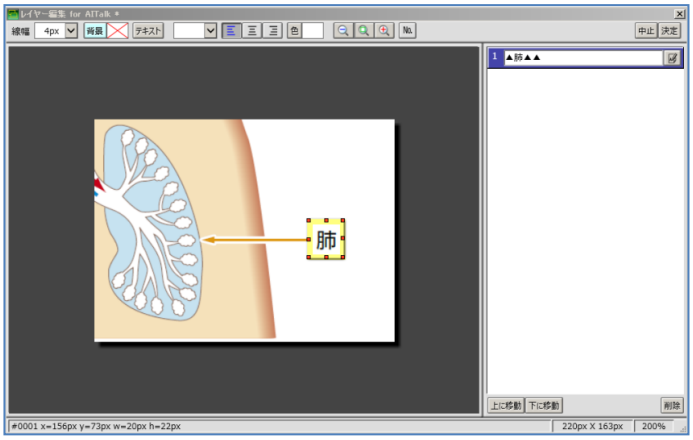
8-3. 画像の中に文字を書き込み読み上げるハイライト領域編集（ルビ付け可能）

ここでは画像中の文字をルビ付き文字に置き換え、ハイライトさせる例をあげます。

① 画像を選択 → 右クリック → ［ハイライト領域編集］をクリック

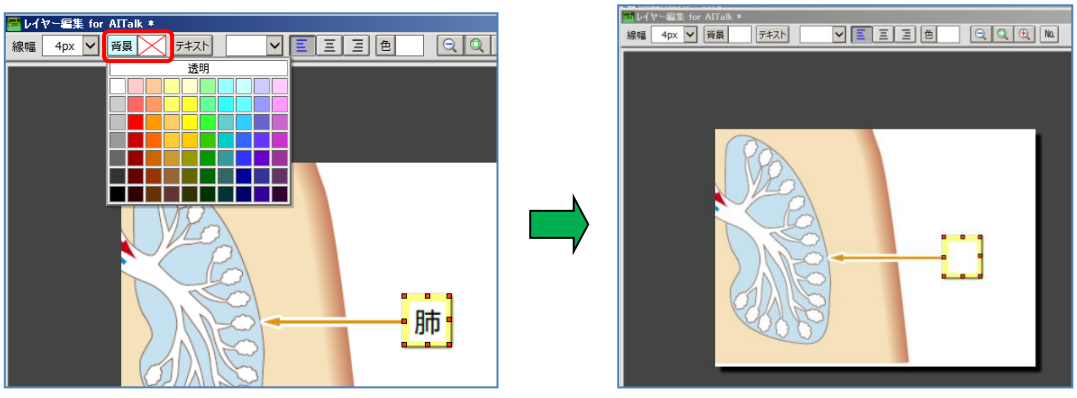


② ハイライト領域編集画面で、読み上げテキストの編集をします。(8-1 と同様)



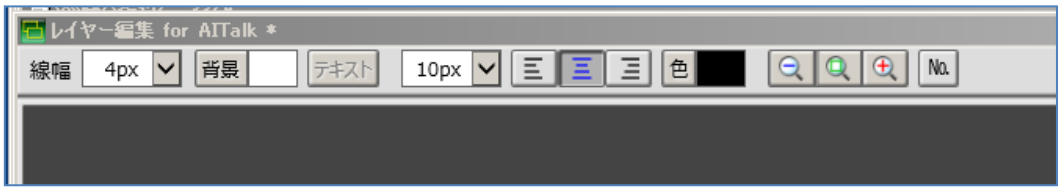
③ 表示テキストの書式設定をします。

a) 背景 をクリックして背景色を決めます。表示テキストを設定する場合は、背景の画像の文字を隠すために背景の色を設定します。この例では画像の背景に合わせて白にしました。

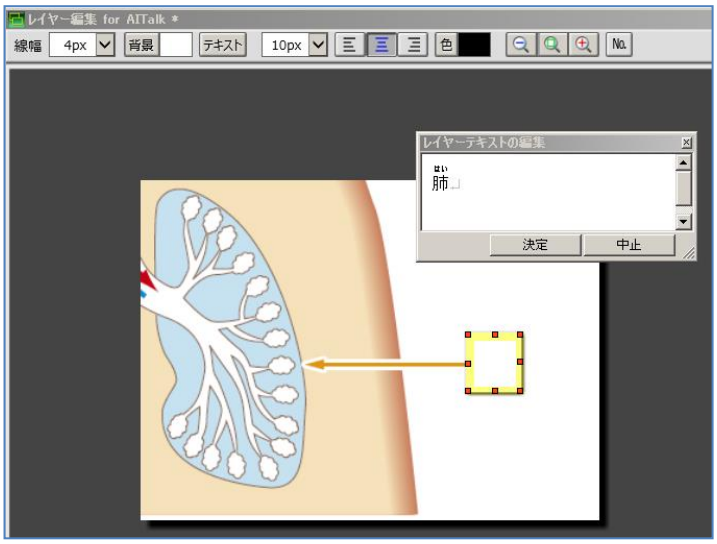


b) 文字サイズ 10px ／配置 ／文字の色 色 を任意に決めます。

この例では、文字サイズを 10pt／配置を中央／文字の色を黒にしています。

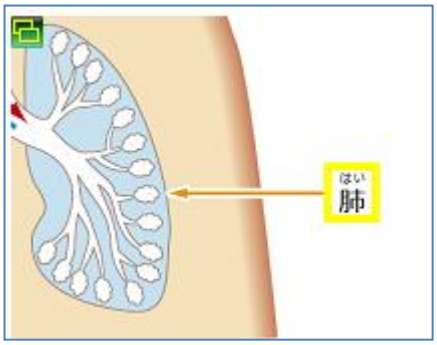


c) 領域をダブルクリックすると、「ハイライト領域テキストの編集」画面が表示されますので、表示テキストを入力します。この画面で本文と同様に、Ctrl + Shift + ↑ でルビが設定できます。



d) 「決定 」をクリックするとルビの付いた文字が領域内部に表示されます。ここで文字サイズ等の変更ができます。

e) ハイライト領域編集画面の「決定」をクリックすると、ChattyInfty 画面に戻り、画像中の文字にルビが振られています。



※ 同じ要領で、画像の中に任意の文字を書き込み、ハイライトさせることができます。

8-4. ハイライト領域機能とアニメーション機能の比較

	ハイライト領域機能	アニメーション機能
長所	➢ 図中の文字や特定部分のハイライト表示に適しています。 ➢ DAISY画面において、クリックした位置から読み上げ可能なため、図中の文字が多い場合に適しています。 ➢ VOD でも読み上げ画面が揺れることがありません。	➢ 植物の成長などのような変化のある画像に適しています。
短所	➢ 新しいHTML の仕様を使っていますので、EasyReader や WindowsXP の PC では再生することが出来ません。InternetExplorer11 が必要です。	➢ DASIY出力した場合、アニメーションのフレーム毎に画像ファイルを作成しますので、コンテンツ全体のファイルサイズが大きくなります。 ➢ ページを切り替えてアニメーション表示しますので、VODでチラツキが発生します。ChattyBooksでは問題ありません。

場合に応じて、ハイライト領域機能とアニメーション機能を使い分けて下さい。

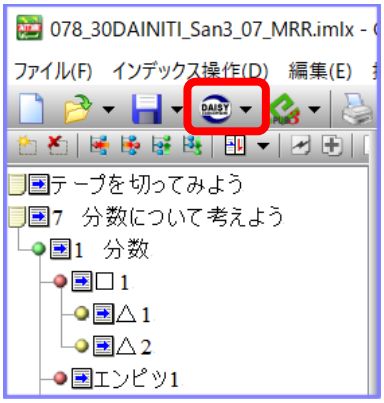
9. DAISY 出力

DAISY2.02 フォーマットのマルチメディア DAISY、音声 DAISY が出力できます。

9-1. DAISY 出力

ツールバーの  ボタンをクリックするか、Ctrl ＋ Shift ＋ D 、もしくは、

［ファイル］ → ［エクスポート］→ ［DAISY 出力］を選択。



9-2. DAISY 変換ダイアログ



出力形式

「マルチメディア」か「音声のみ」 を選択します。

出力先

出力先のフォルダを設定します。ドキュメントと同じ階層のフォルダは選択できません。

書誌項目

各項目と ncc.html のメタデータとの対応は次の通りです。

- タイトル　"dc:title"
- 原本著者　"dc:creator"
- 原本出版社　"ncc:sourcePublisher"
- 原本出版日　"ncc:sourceDate"
- ISBN(書籍番号)　"dc:source"
- DAISY 発行者　"dc:publisher"
- DAISY 製作者　"ncc:producer"
- 作成日　"dc:date"

※「原本出版日」「ISBN」は、任意の入力項目です。必要に応じて設定してください。

※「原本出版日」は「作成日」と異なり、カレンダー形式の入力ではなく直接日付を入力してください。

9-3. 表紙画像

ChattyInftyVer3.20 以降では DAISY/EPUB3 出力で、表紙画像を設定できます。GoogleChrome や iBooks などの電子書籍リーダーに取り込んだときに表紙画像を表示することができます。表紙画像の設定は EPUB3 の標準機能での１つです。

※　DAISY の仕様では表紙画像に対応していませんので他社製のリーダーソフトでは表紙を表示する事はできません。現状では ChattyBooks（Ver1.05 以降）のみ本棚で表紙画像を表示することが出来ます。（EPUB3 は対応しています。）

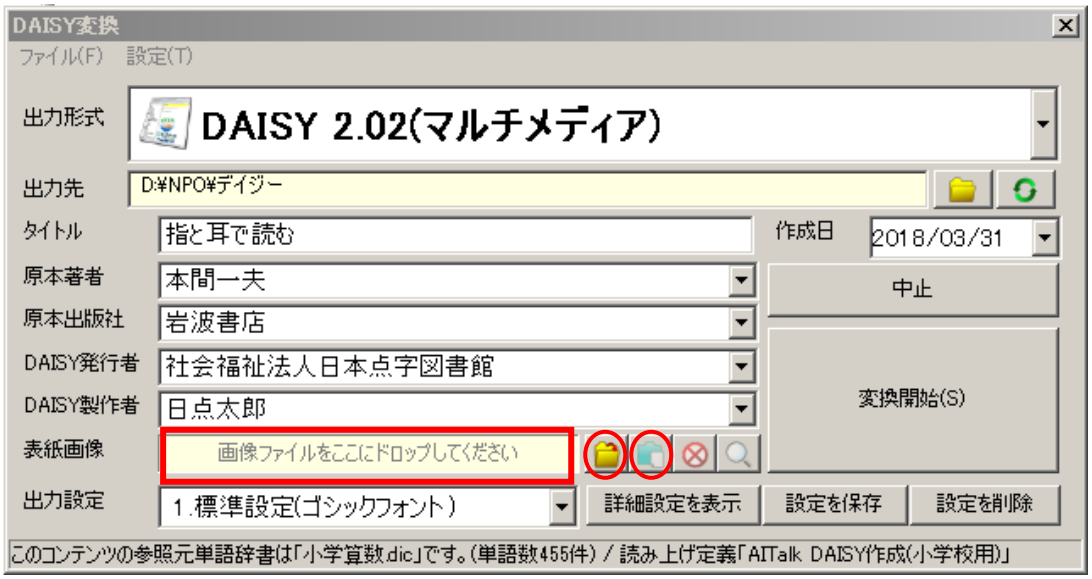
表紙画像の設定

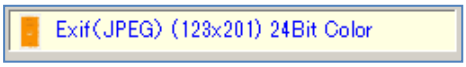
表紙画像を設定するには下記の３つの方法があります。

①　ファイルエクスプローラなどから「表紙画像」欄に表紙画像をドラッグ＆ドロップします。

②　 ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログボックスを使って選択します。

③　 ボタンをクリックしてクリップボードにある画像を貼り付けます。



画像を設定すると 

のように画像形式の情報が表示されます。この欄をクリックするか  ボタンで右図のようなプレビュー画面を表示できます。

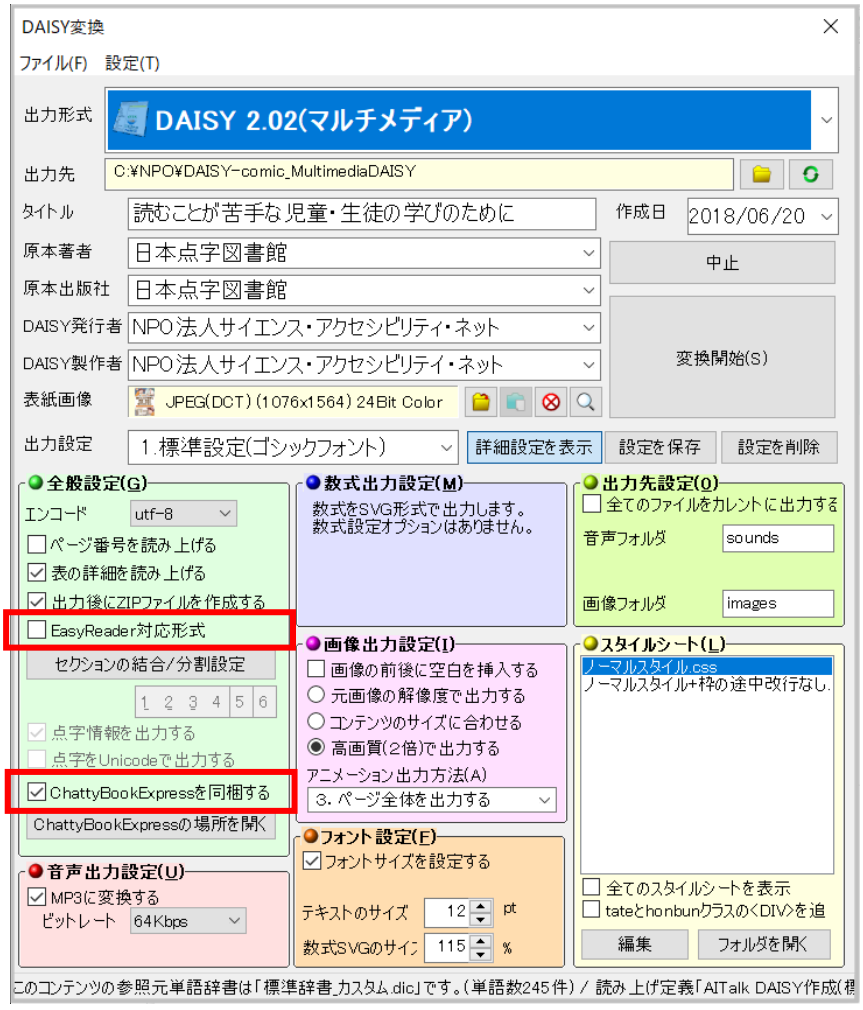


※　過度に大きな画像を表紙として利用すると、DAISY や EPUB3 のコンテンツが大きくなりますので、事前に適度なサイズの画像を用意することをお薦めします。

9-4. DAISY 出力設定

再生環境に合わせた設定（1.標準設定（ゴシックフォント）、2.標準設定（フォント指定なし）、VOD（縦書き／ゴシックフォント））がプリセットされています。適切な設定を選択してください。これらの設定は数式を SVG 形式で出力します。

詳細設定を表示 をクリックすると、より詳細に設定を調整することができます。



※　「全般設定」の「ChattyBookExpress を同梱する」にチェックを入れ DAISY 出力すると、DAISY の ncc.html と同じフォルダ内に、ChattyBookExpress.exe が生成されます。それをダブルクリックすることにより、DAISY プレイヤーなしでも、出力した DAISY をその場で閲覧できます。

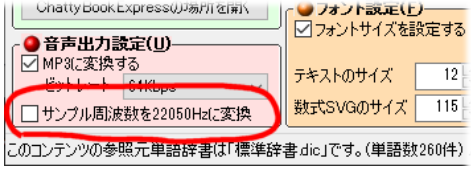
※　EasyReader は SVG 形式に対応しておりませんので、EasyReader を使用する場合は「全般設定」の「EasyReader 対応形式」にチェック入れて DAISY 出力をして下さい。この場合、数式は画像で出力されます。

※　設定を保存 をクリックすると、一度入力・調整した出力設定に名前を付けて保存することができます。

※　22050Hzで出力することができます。（AITalk5版のみ）

初期値はチェックボックスOFFです。

DAISY 出力設定画面

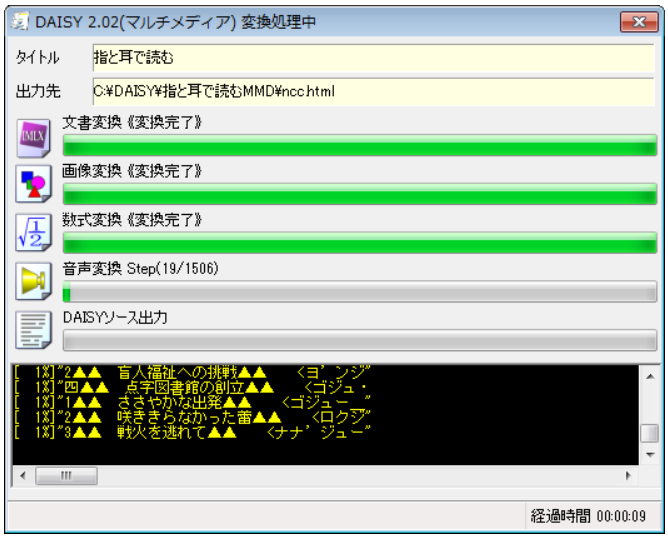


DAISY 出力設定画

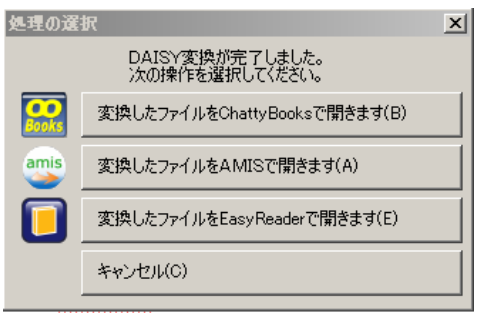


AITalk5版は高音質な音声を再現するためにサンプリングレートが48000Hz(48kHz)の音声ファイルを出力します。 しかし一部のDAISYプレイヤーなどのソフトウェアが48000Hzに対応していない場合があるようです。
そのような場合は、この項目にチェックを付けて22050Hzの音声を出力するようにしてください。

各種設定を行ったら、 変換開始 をクリック。出力が開始します。



出力が完了すると以下のメッセージが表示されます。PC に ChattyBooks や AMIS、EasyReader がインストールされている場合は、再生確認をすることができます。



9-4-1. 分かち書きの出力

従来の方法(全角空白)の他に、<wbr>(ワードブレイク)タグを使った方式での出力が可能です。

本来の<wbr>タグの機能は、ブラウザの画面上での折返し(改行)位置を任意に設定し、単語の途中などで折り返してしまうことを防ぐ目的で利用されますが、ChattyInfty や ChattyBooks では「分ち書き」を表現するためにも利用します。



分ち書きの方法は下記の 3 種類です。　※　1 番目の「<wbr>タグ」が初期値です。

<wbr>タグ	<wbr>を使った新しい方法です。 ChattyBooks では<wbr>の前に自動的に全角空白と同等の余白を挿入して「分ち書き」として表示することが出来ます。 ただし、AMIS や VOD では分ち書きの空白は挿入されることはありません。 【例】 サンプル<wbr/>です。
全角空白＋<wbr>タグ	上記の方法に加えて、<wbr>の前に全角空白を挿入します。 AMIS や VOD 等でも分ち書きの空白を表示することが出来ます。 ※ChattyBooks のような分ち書き ON/OFF は出来ません。 【例】 サンプル＿<wbr/>です。
全角空白後で自動改行	全角空白の後ろやハイライト分割の場所で自動的に改行します。 IXML のコンテンツで無音の全角空白(／)も普通の全角空白に置き換えられます。 ChattyBooks で開いても分かち書き ON/OFF 機能は利用できませんが、その他の DAISY/EPUB プレイヤーでも同じ様に分かち書き表示ができます。 【例】 サンプル＿です。 ※との間で必要に応じて自動改行します。 ※上記はの style や class 指定を省略しています。

【重要】

新しい方法(wbr)で出力したDAISYコンテンツに対応した**ChattyBooks**は**Ver2.03b**以降、また**ChattyBookExpress**は**Ver1.08b**以降です。

9-4-2. DAISY/EPUB3 出力設定の保存

「設定をIMLXファイルに保存する」のチェックをＯＮにすると、各項目の現在の設定をIMLXファイルに保存することが出来ます。

出力設定が保存されたIMLXファイルは次回の出力時に保存された設定を使って同じようにDAISY/ EPUB3出力することが出来ます。



IMLXの設定ではなくChattyInfty3の初期設定に変更する場合は「初期設定状態」をクリックしてください。

9-5. スタイルのフォントに関して

DAISY出力では、フォントを「UD デジタル 教科書体 NP-R」にしています。

このフォントはWindows10 October 2018 Updateで正式サポートされるフォントです。

※Windows10 Creators Update(2018年4月版)でも利用可能です。

※Windows10 以前のＯＳでは従来どおり「ＭＳ ゴシック」で表示されます。

9-6. DAISY/EPUB 出力のセクション結合に関して

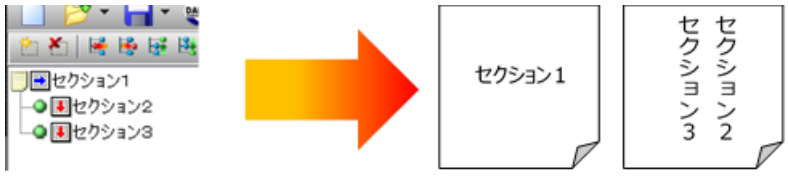
DAISY/EPUB3出力では連続したセクションを１つのHTMLページにまとめてを出力する機能がありますが、１つのページに縦書きと横書きを混在させることができません。

このため、縦書きセクションの次に横書きセクションがあるような場合は、セクション結合設定よりも縦書き横書きの設定が優先されて、別のHTMLとして出力されますのでご注意ください。

例えば、下記のようにセクション１と３が横書きでセクション２だけが縦書きの場合は全て結合して１つのHTMLとする設定の場合でも、セクション１と２、セクション２と３、で方向が異なるため、３つのHTMLに分割されます。



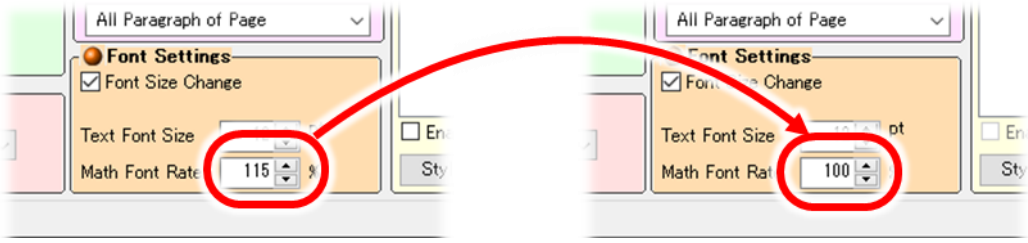
下記の場合は、セクション２と３が同じ向きのため結合が可能となり、２つのHTMLが出力されます。



9-7. SAPI5 版英語モードでの DAISY / EPUB 出力の関して

ChattyInfty3(SAPI5)版の英語モードでDAISY/EPUB3出力する際の数式文字サイズの初期値を変更しました。

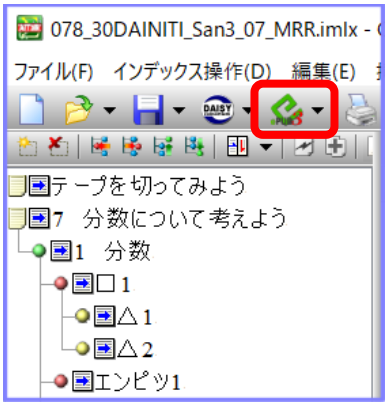
従来はテキストの文字サイズに対して115%を初期値としていましたが、英語モードでのDAISY出力では100%(テキストの文字サイズと同じ)に変更しました。



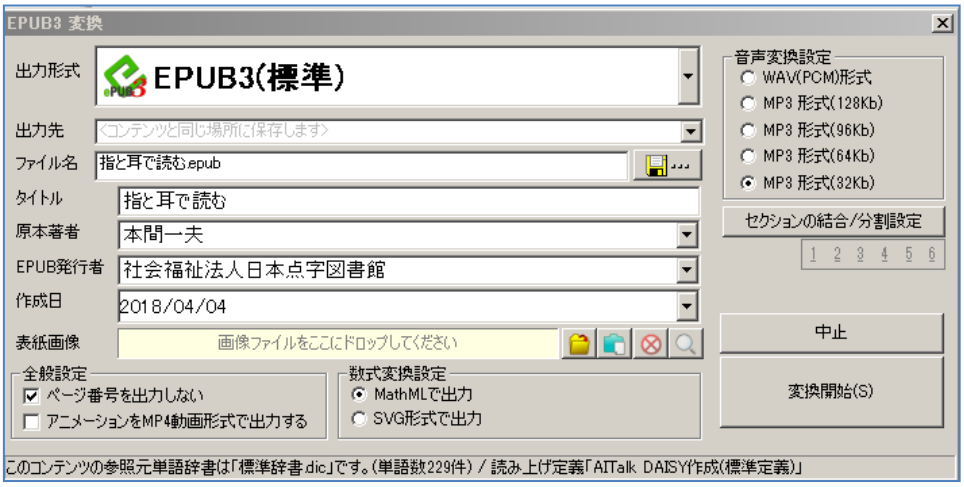
10. EPUB 出力

EPUB Media Overlays 3.0 仕様（音声付き EPUB3.0）のマルチメディア電子書籍、および EPUB 3.0 フォーマットの音声なしの電子書籍が出力できます。

① ツールバーの  ボタンをクリックするか、Ctrl ＋ Shift ＋ E 、もしくは、
［ファイル］ → ［エクスポート］→ ［EPUB3 出力］を選択。

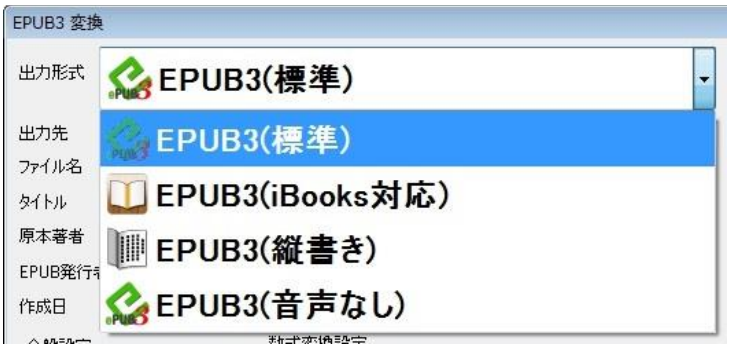


② EPUB 変換ダイアログが開きます。



出力形式

プリセットの中から選択します。



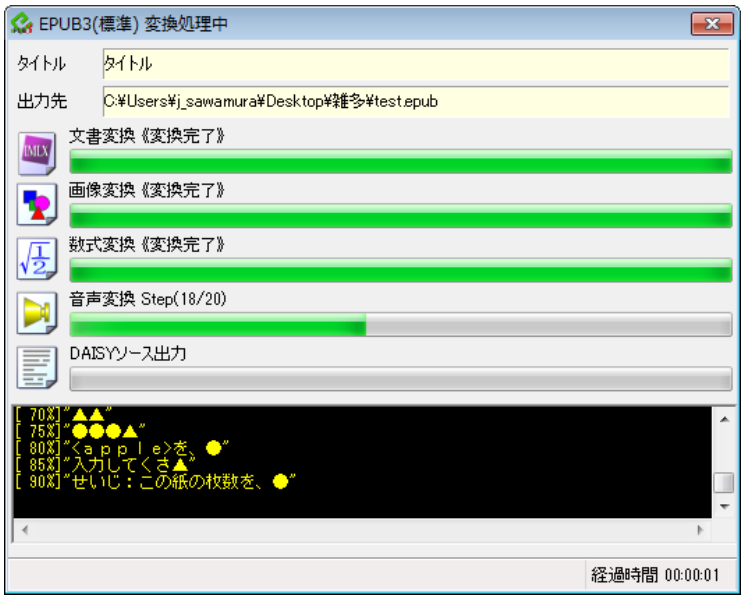
出力先・ファイル名

ボタンで設定します。初期設定ではドキュメントと同じ場所が出力先に、ドキュメント名がファイル名になっています。

表紙画像

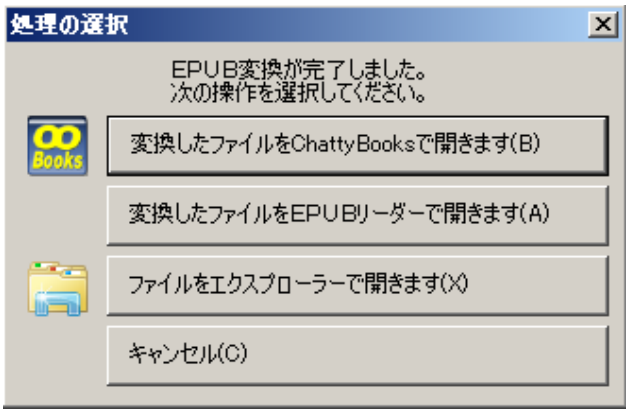
DAISY 出力と同様に表紙画像を設定できます。（9-3. 参照）

④ 各種設定を行ったら、 変換開始 をクリック。出力が開始します。



⑤ 出力が完了すると以下のメッセージが表示されます。PC に EPUB リーダーがインストールされている場合は、再生確認をすることができます。

※ EPUB Media Overlays 3.0 仕様で出力した場合は、リーダーが対応していないために再生できない場合があります。



11. PDF から「認識してはりつけ」機能（オプション）

ChattyInfty Ver.3.02 からは、PDFの選択したエリア（数式を含む）を認識して、直接 ChattyInfty にテキストや数式として貼り付け、 編集したり読み上げさせたりすることが可能になりました。

11-1. 使用条件

この機能を使うためには、別途 InftyReader（Ver.3.0以後のもの）をインストールする必要があります。

InftyReader は http://www.sciaccess.net/jp/InftyReader/ から入手して、ChattyInfty3（AITalk版）と同じフォルダにインストールして下さい。例えば、

C:¥Program Files （x86）¥sAccessNet¥ChattyInfty3（AITalk）

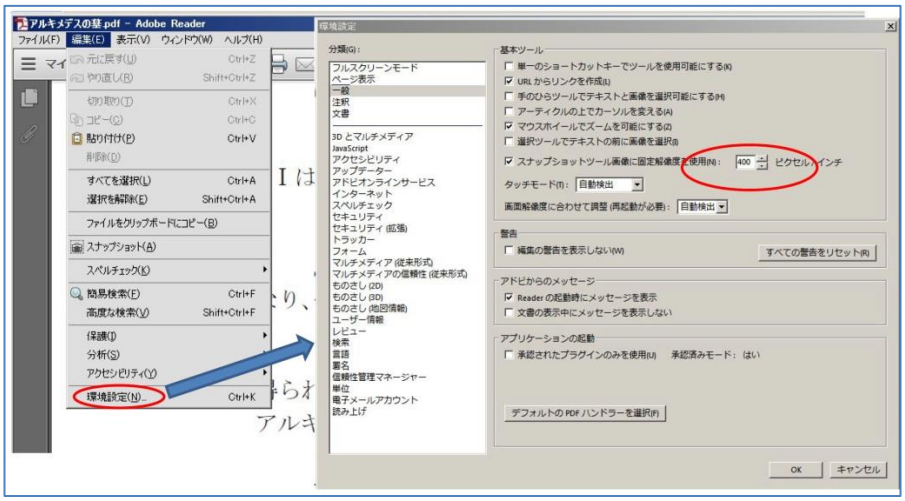
C:¥Program Files （x86）¥sAccessNet¥InftyReader

というように同じフォルダに ChattyInfty3（AITalk） と InftyReader のフォルダが入るようにします。

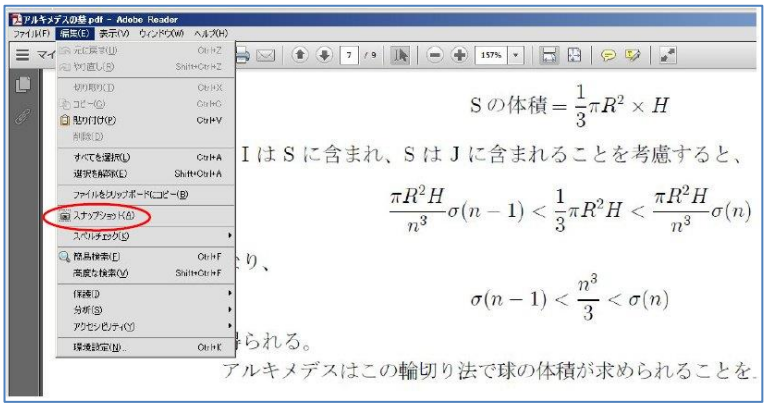
11-2. 使い方

(1) 準備：Adobe Reader の設定

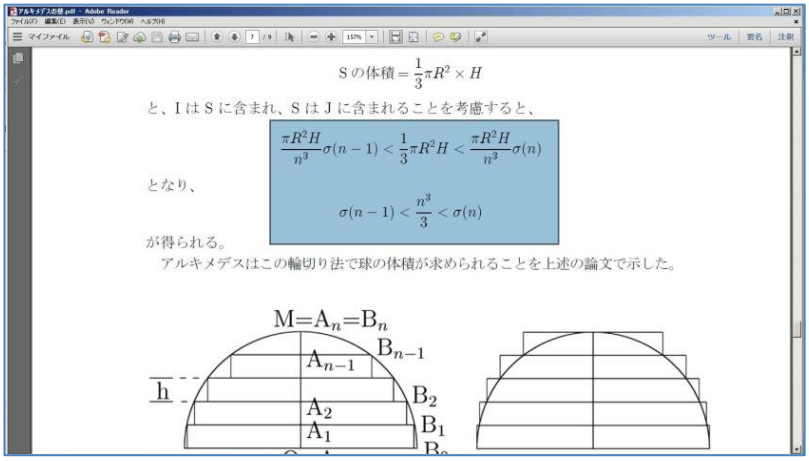
バージョン 10 以後の Adobe Reader には「スナップショット」という便利な機能があります。PDF から好きな部分を範囲指定して、予め定めた任意の解像度で画像としてコピーできます。はじめに、下図のように Adobe Reader の「編集」メニューから「環境設定を」を選択し、「スナップショットの解像度」を 400DPI に設定して下さい。



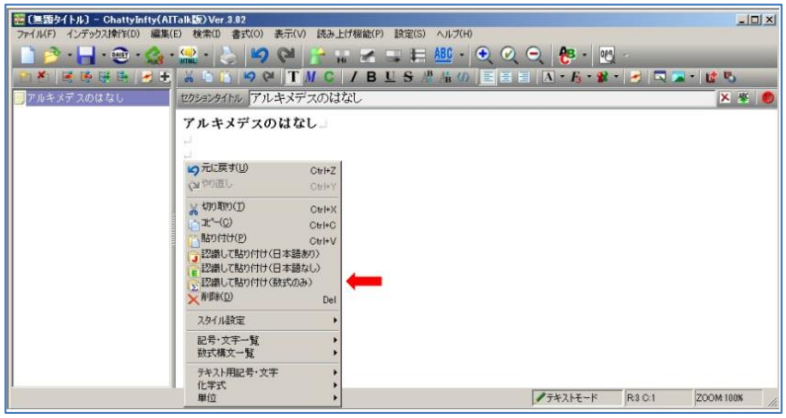
(2) 対象のPDFをAdobe Reader（Ver.10以後）で開き、「編集」メニュー内の「スナップショット」をクリックします。



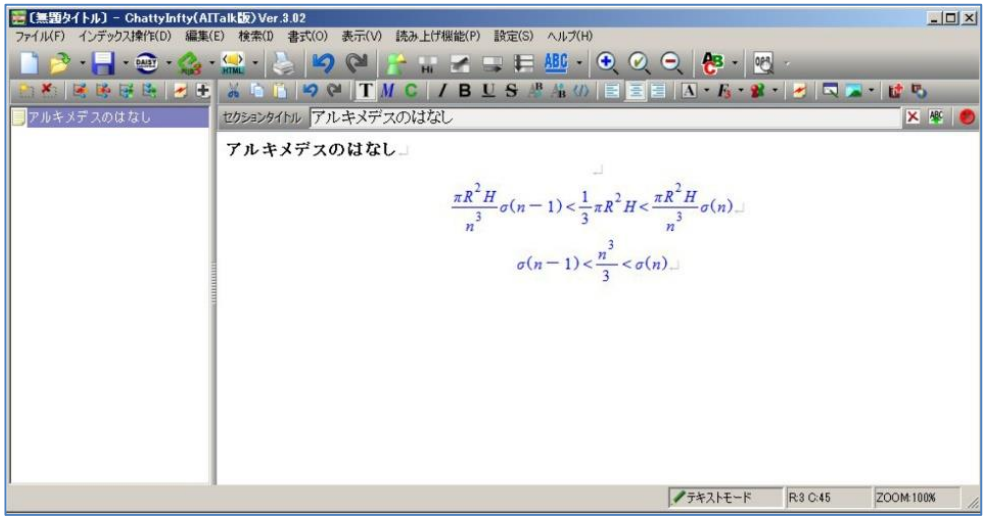
(3) PDF の画面上の認識したい数式を範囲指定します。スナップショットがONになっていると、範囲指定するだけで、その部分の画像が先に指定した解像度でクリップボードにコピーされます。



次に ChattyInfty3 の画面で、右クリックのメニューから 「認識して貼り付け（数式のみ）」を選択

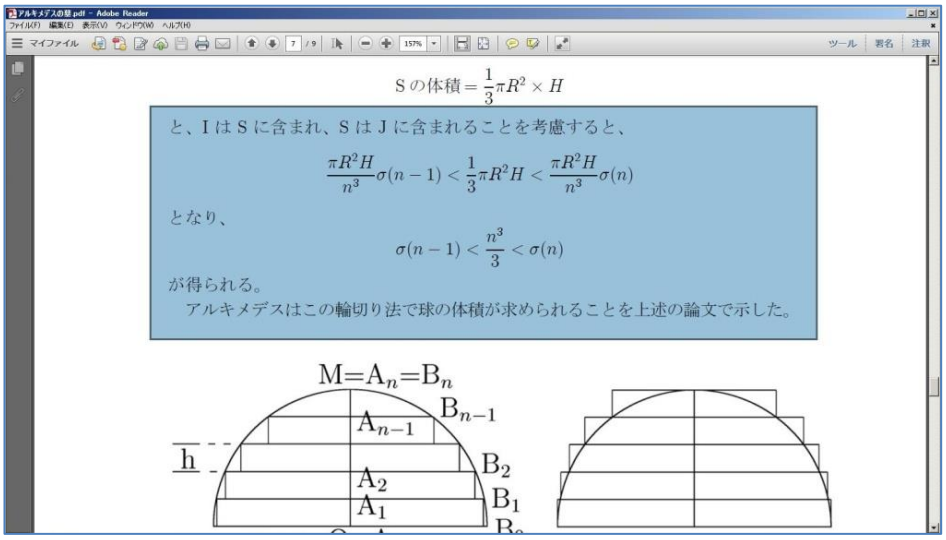


すると、ChattyInfty のカーソル位置にスナップショットでコピーした領域の数式が画像としてではなく、編集可能な数式として貼り付きます。キーボードから入力した数式と同じく、AITalk による読み上げもできます。

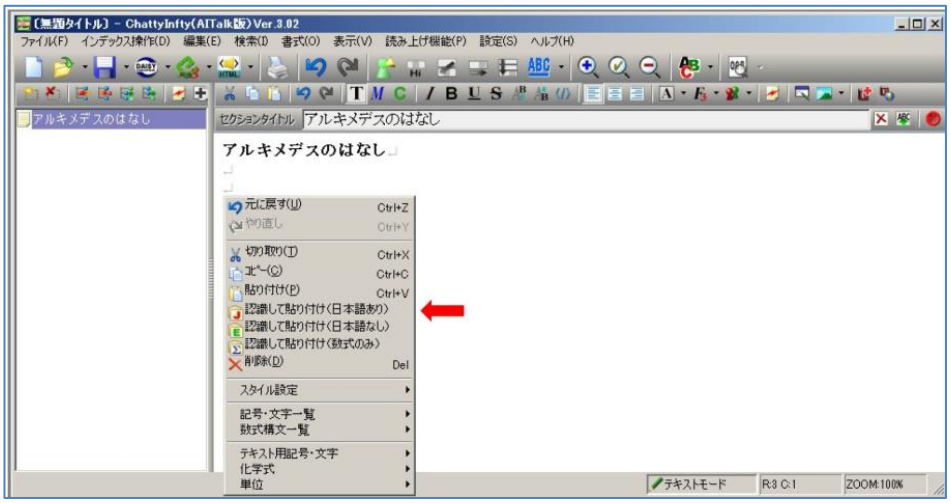


（4） 日本語と数式が混在した文章の領域をスナップショットでクリップして、ChattyInfty3の本文エリアに認識して貼り付けることも出来ます。その場合は、右クリックメニューから 「認識して貼り付け（日本語あり）」を選択します。（次ページの図参照）。

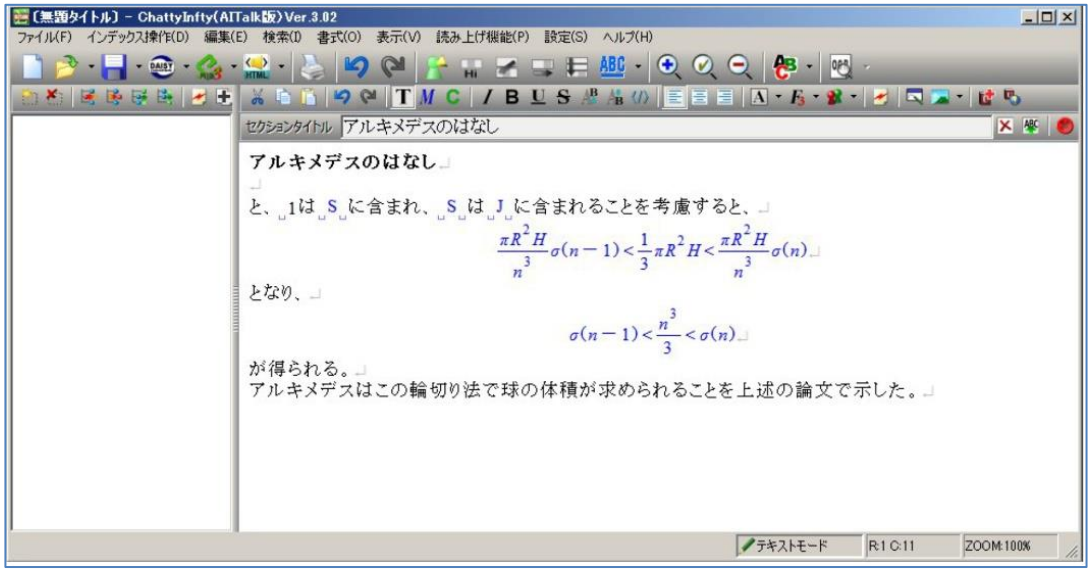
A. スナップショットによるPDFからのコピー



B. 「認識して貼り付け（日本語あり）」を選択

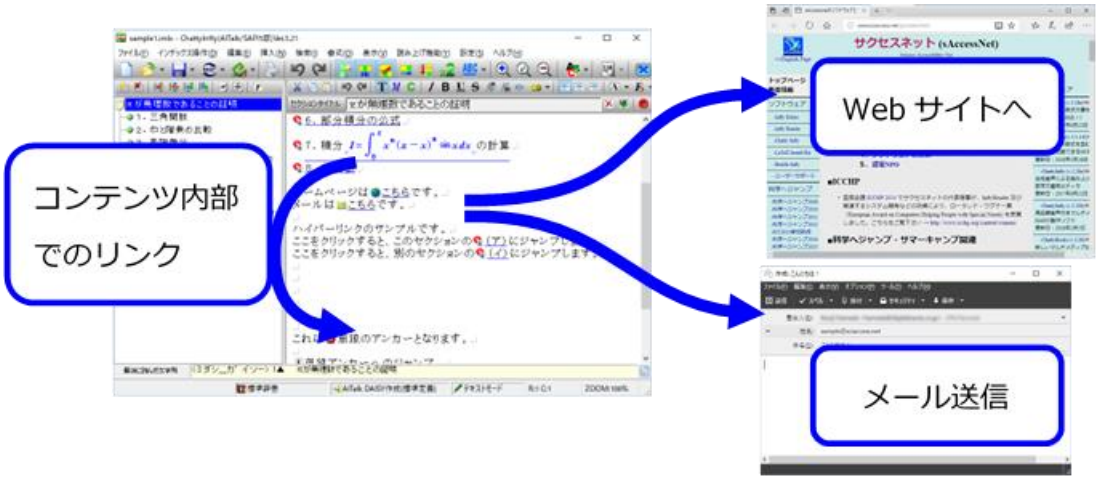


C. 貼り付けられた文章（２行目の「Iは」が「1は」と誤認識されているが、他は正しく認識されている。）



12. ハイパーリンク機能

IMLXコンテンツでHTMLと同じようなハイパーリンク機能を実装しました。
コンテンツ内の指定箇所から別の箇所へのジャンプやウエブサイトを開く・メールを送信するといったことが可能になります。
ハイパーリンクはDAISY2.02やEPUB3出力にも反映され、DAISY/EPUBプレイヤーなどでも利用可能となります。(※プレイヤー側が対応している必要があります)
ハイパーリンクはHTMLの<A>(アンカータグ)と同じように、アンカー固有のid(参照id)と、参照先を指定するhrefの２つの設定により構成しています。



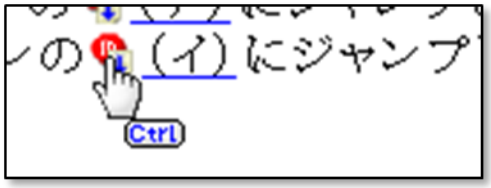
(1) ハイパーリンクアイコンの種類

ハイパーリンクが設定された箇所には下記のようなアイコンが表示されます。

	ｱｲｺﾝ	機能	内容
①		参照ID	他のハイパーリンクから参照されるIDを設定しています。
②		参照先指定	他の参照IDへの参照を設定しています。
③		参照ID＋参照先指定	別の場所への参照と、他からの参照IDを設定しています。
④		Webサイト	外部Webサイトへハイパーリンクです。
⑤		参照ID＋Webサイト	外部Webサイトへのリンクと、他からの参照IDを設定しています。
⑥		メール作成	メールを送信するための設定です。
⑦		参照ID＋メール作成	メールを送信する設定と、他からの参照IDを設定しています。

※このアイコンはChattyInftyの編集画面上で表示されるアイコンです。DAISY/EPUB3の出力結果には上記のアイコンは表示されません。

(2) ハイパーリンク操作

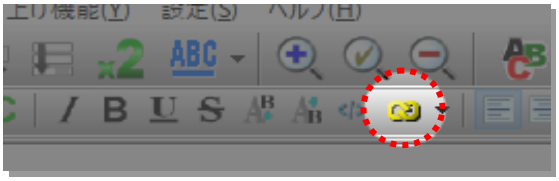


ハイパーリンク設定された箇所はアイコンにマウスを合わせると右の図のように Ctrl の付いたマウスカーソルが表示されます。
この状態でキーボードの Ctrl キーを押したまま、マウスの左ボタンをクリックして下さい。

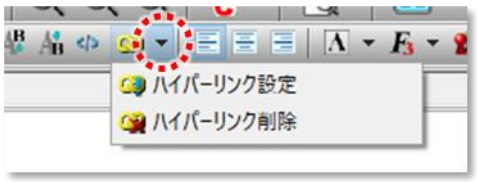
※ダブルクリックするとハイパーリンク設定が表示されます。設定に関しては次項を参照して下さい。

(3) 設定方法

コンテンツにハイパーリンクを設定するには、ツールバーの下図のボタンを使用します。



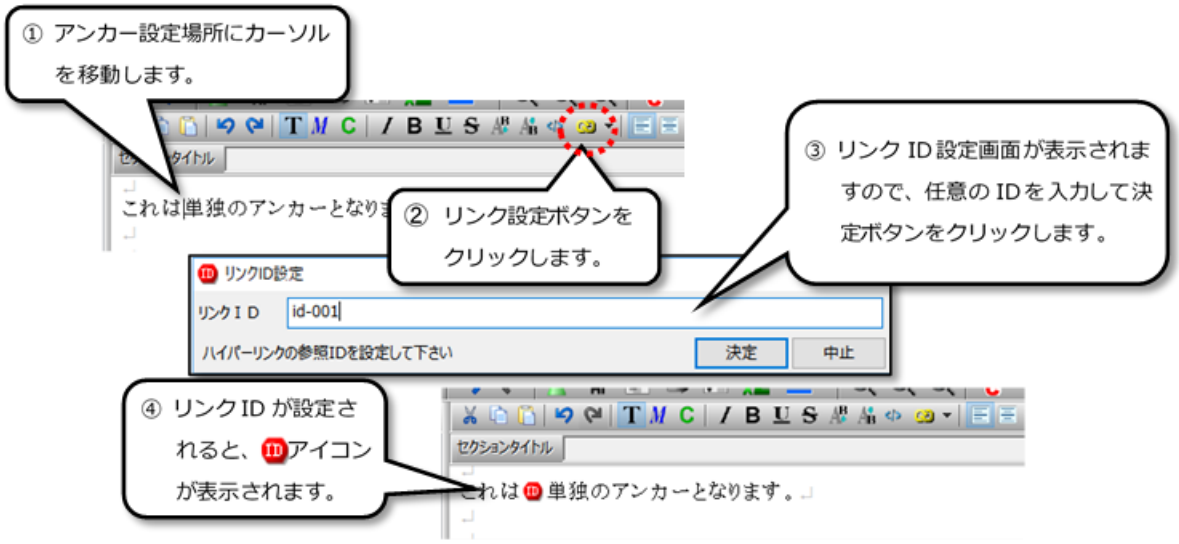
設定方法の詳細は**次項**を参照して下さい。



ハイパーリンクボタンの右の▼ボタンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示され、このメニューからハイパーリンクの設定や削除を行うことができます。

① アンカーのみの設定

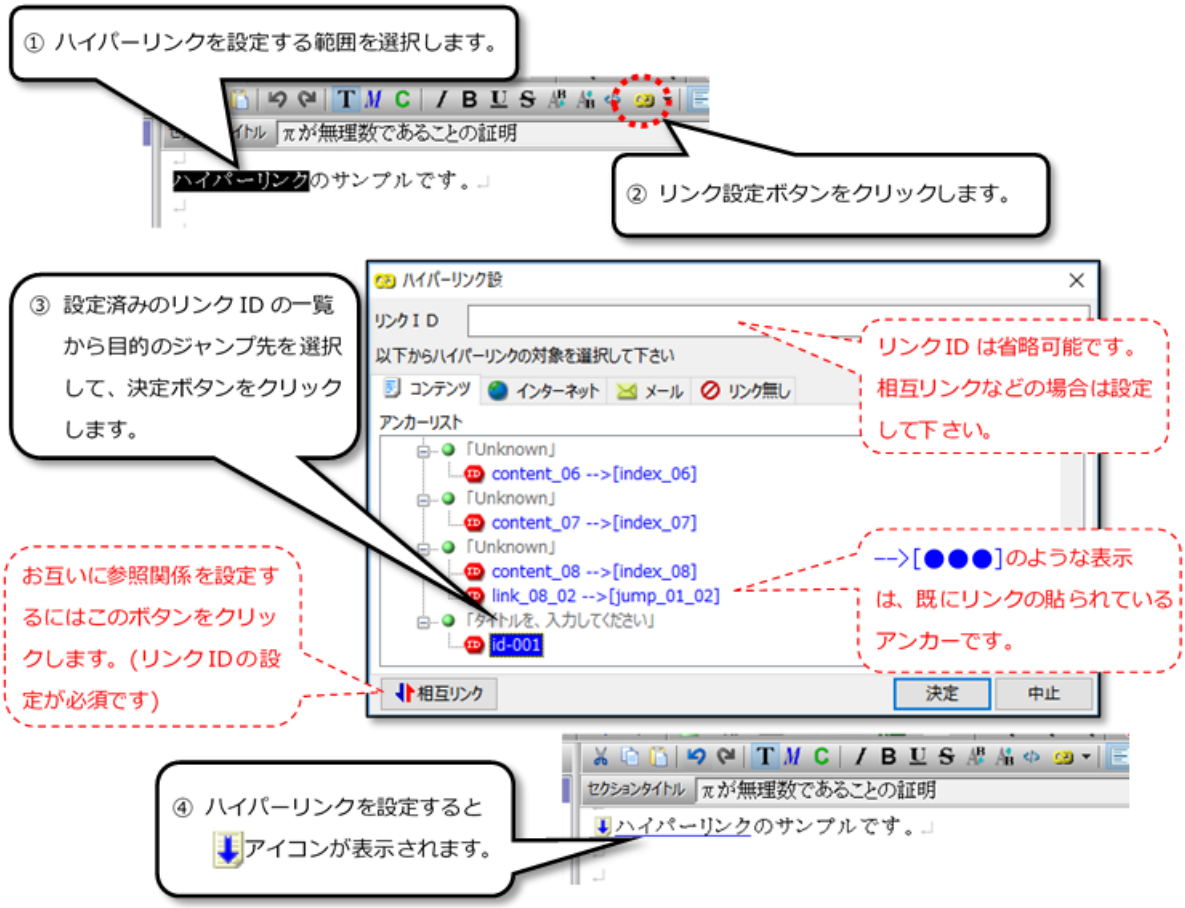
■参照 ID の設定(他への参照などを持たない被参照のみのアンカー)



リンク ID の設定に関する注意事項

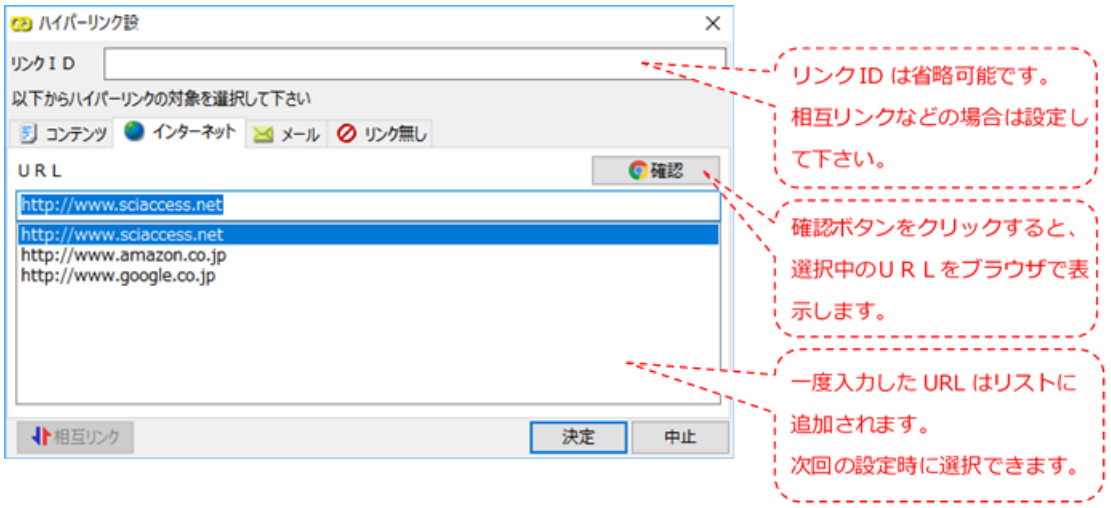
設定できる文字は、アルファベット・数字・アンダーバー・ハイフンのみです。
ID は必ずアルファベットから始まるようにして下さい。先頭に数字を設定することは出来ません。
既に他の箇所で設定している ID と重複して設定することが出来ません。必ずユニークな ID にしてください。

② コンテンツ内のハイパーリンク設定



③ Web サイトへのリンク

コンテンツ内のハイパーリンクと同じように、任意の範囲を選択してハイパーリンクの設定画面を開いて インターネット のタブに切り替えると下記のような画面になります。



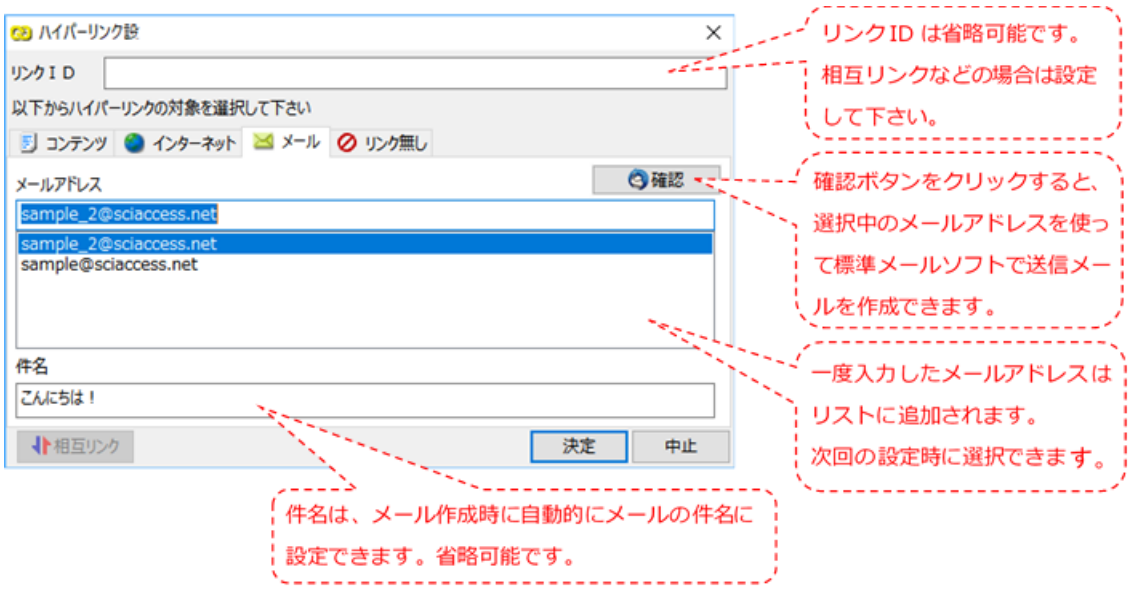
注意事項

・DAISY2.02/EPUB3 プレイヤー側で URL を開く機能をサポートしていない場合があります。

・Web サイトはユーザーが選択している標準ブラウザで表示されます。

④ メール送信へのリンク

コンテンツ内のハイパーリンクと同じように、任意の範囲を選択してハイパーリンクの設定画面を開いて メール のタブに切り替えると下記のような画面になります。



注意事項

・DAISY2.02/EPUB3 プレイヤー側でメールを開く機能をサポートしていない場合があります。

・メールはユーザーが選択している標準メールソフトで表示されます。

13. ショートカットキー一覧

ファイル操作

	内容	キー操作	説明
	新規作成	Ctrl + N	新規にファイルを作成します。
	開く...	Ctrl + O	既存のファイルを開きます。
	上書き保存	Ctrl + S	作業中のファイルを上書きして保存します。
	印刷プレビュー	Ctrl + Shift + P	ドキュメントの印刷プレビューを表示します。
	印刷	Ctrl + P	ドキュメントを印刷します。
	File Import(*.imlx,*.txt)	Ctrl + Shift + I	ファイルからテキストを取り込みます。
	DAISY 出力	Ctrl + Shift + D	デイジー形式でエクスポートします。
	EPUB3 出力	Ctrl + Shift + E	EPUB3 形式でエクスポートします。

インデックス操作

	内容	キー操作	説明
	インデックスを追加	Alt + Ctrl + I	新しいインデックスアイテムを追加します
	インデックスを削除	Alt + Ctrl + D	選択中のインデックスアイテムを削除します。
	レベルを上げる	Ctrl + [←]	選択中のインデックスアイテムを左に移動します。
	レベルを下げる	Ctrl + [→]	選択中のインデックスアイテムを右に移動します。
	前に移動	Ctrl + [↑]	選択中のインデックスアイテムを上に移動します。

	内容	キー操作	説明
	後ろに移動	Ctrl + [↓]	選択中のインデックスアイテムを下に移動します。
	セクションを分割	Alt + ENTER	編集中の位置でページを分割します。
	セクションを連結	Ctrl + [+]	選択中のインデックスアイテムを連結します。
	セクションタイトルバー	Alt + T	セクションタイトルバーをアクティブにしますします。

編集

	内容	キー操作	説明
	切り取り	Ctrl + X Shift + DEL	選択範囲の文字列をカットします。
	コピー	Ctrl + C Ctrl + INS	選択範囲の文字列をクリップボードにコピーします。
	貼り付け	Ctrl + V Shift + INS	コピーされた文字を編集ウィンドウに貼りつけます。
	拡張メタ形式貼り付け	Alt + Ctrl + V	Excel や Word のコンテンツを拡張メタ形式(画像)として貼りつけます。
	全て選択	Ctrl + A	全ての範囲を選択します。

挿入

	内容	キー操作	説明
	表を挿入	Ctrl + Shift + T	カーソルの場所に表を挿入します。
	改ページを挿入	Ctrl + ENTER	カーソル位置に改ページを挿入します。
	短いポーズを挿入	Ctrl + Shift + S	短いポーズを挿入します。
	長いポーズを挿入	Ctrl + Shift + L	長いポーズを挿入します。

	内容	キー操作	説明
	ハイライトを結合	Ctrl + Shift + [+]	カーソル位置でハイライトを結合します。
	ハイライト分割を挿入	Ctrl + Shift + [/]	カーソル位置でハイライトを分割します。
	ハイライト分割 (ポーズ無)	Alt + Ctrl + Shift + [/]	カーソル位置でハイライトを分割します。 ただし、ポーズ(無音)は挿入されません。
/	分かち書きスペース	Ctrl + W	カーソルの位置に分かち書きスペースを挿入します。
//	連文節スペース	Ctrl + Shift + W	カーソルの位置に連文節スペースを挿入します。

検索

	内容	キー操作	説明
	検索	Ctrl + F	テキストや数式の検索をおこないます。
	置換	Ctrl + H	テキストや数式の置換をおこないます。

書式

	内容	キー操作	説明
T	テキストモード	Ctrl + T	テキスト入力モードに切り替えます。
M	数式モード	Ctrl + M	数式入力モードに切り替えます。
C	化学式モード	Ctrl + K	化学式モードに切り替えます。
	TeX モード	Ctrl + Shift + SPACE	LaTeX 入力モードに切り替えます。
B	太字(ボールド)	Ctrl + B	選択中の文字や入力モードをボールド(太字体)に設定/解除します。
I	斜体(イタリック)	Ctrl + I	選択中の文字や入力モードをイタリック(斜体)に設定/解除します。
U	下線	Ctrl + U	選択中の文字や入力モードを下線に設定/解除します。
	ルビの設定	Ctrl + 1	ルビ設定ダイアログボックスを表示します。
		Ctrl + Shift + UP	

	内容	キー操作	説明
	読みの設定	Ctrl + 3 Ctrl + Shift + DOWN Ctrl + Shift + Y	読み設定ダイアログボックスを表示します。
	左寄せ	Ctrl + L	カーソル行を左寄せに設定します。
	中央寄せ	Ctrl + E	カーソル行を中央寄せ(センタリング)に設定します。
	右寄せ	Ctrl + R	カーソル行を右寄せに設定します。
	タイトルスタイル	Alt + Ctrl + Shift + I	カーソル位置の行をタイトルスタイルに設定/解除します。DAISY/EPUB3 出力時に見出しとして出力できます。
	ページ番号スタイル	Alt + Ctrl + P Alt + P	カーソル位置の行をページ番号スタイルに設定/解除します。
	複数行のボックス	Alt + Ctrl + G	複数行を枠で囲みます。
	複数行のボックスの設定	Alt + Ctrl + Shift + G	複数行枠の設定を変更します。
	箇条書きスタイル	Alt + Ctrl + L	選択範囲を箇条書きスタイルに設定します。箇条書きの見出しとテキストはタブ[Tab]キーで区切って記述します。
	無音範囲に設定	Ctrl + 0 Ctrl + Shift + N	選択された範囲を無音に設定します。無音範囲はハイライト区切りの影響を受けることは有りません。
	フレーズ結合/解除	Ctrl + [+] Ctrl + [*]	選択された範囲をフレーズ結合します。フレーズ結合した範囲はハイライト分割されません。
	話者切り替え	Alt + Ctrl + Shift + DOWN Ctrl + Shift + V	読み上げる話者を切り替えます。
	話者の詳細設定	Alt + Shift + V	話者の詳細設定画面を表示します。

表示

	内容	キー操作	説明
	スタイル表示	Alt + Ctrl + S	スタイル表示(&S)
	表示サイズ拡大	Alt + PAGEUP	表示文字サイズを大きくします。(ズームアップ)
	元のサイズで表示	Alt + HOME	表示文字サイズを通常の大きさに設定します。
	表示サイズ縮小	Alt + PAGEDOWN	表示文字サイズを小さくします。(ズームダウン)

読み上げ機能

	内容	キー操作	説明
	選択範囲	Ctrl + 5 Ctrl + NUM5	選択範囲を読み上げます。
	カーソル位置から後	Ctrl + 6 Ctrl + NUM6	カードル位置から後ろを読み上げます。
	現在の行	Ctrl + 7 Ctrl + NUM7	現在の行の折り返しまでを読み上げます。
	現在の段落	Ctrl + 8 Ctrl + NUM8	現在の行全体を読み上げます。
	セクション全体	Ctrl + 9 Ctrl + NUM9	セクション全体を読み上げます。
§	セクションタイトル	Ctrl + 3 Ctrl + NUM3	現在のセクションのレベルとタイトルを読み上げます。
IA	カーソルの文字	Alt + Ctrl + H Ctrl + 4 Ctrl + NUM4	カーソルの文字を読み上げる
R/C	カーソルの位置	Ctrl + F1	カーソルの位置を読み上げる

設定

	内容	キー操作	説明
	音声 ON/OFF	Alt + R Ctrl + NUM0	音声出力のオン／オフを切り替えます。
	倍速読み上げ	Ctrl + 2 Ctrl + NUM2	読み上げ速度を通常の 2 倍の速度で読み上げます。※音声エンジンのサポートする速度以上で読み上げることはできません。
	改行読み上げモードの切替	Ctrl + F8	行末の読み上げの ON・OFF を切り替えます。
	田町読みモード	Alt + Ctrl + T	田町読みモードを ON/OFF します。田町読みモードを ON にするとカーソル移動で漢字の詳細を読み上げます。
	テキスト中の記号読み上げ	Ctrl + D	テキスト中の記号の読み上げを ON/OFF します。
	単語辞書の編集	Ctrl + Shift + J	ユーザー単語辞書を編集します。
	単語の追加	Ctrl + J	ユーザー単語辞書に新しい単語を登録します。

ハイライト領域編集

	内容	キー操作	説明
	戻す（アンドゥ）	Ctrl + Z	
	やり直し（リドゥ）	Ctrl + Y	
	削除（切り取り）	Ctrl + X	
	貼り付け（ペースト）	Ctrl + V	
	全て選択	Ctrl + A	
	選択した領域を右に移動	Ctrl + [→]	
	選択した領域を左に移動	Ctrl + [←]	
	選択した領域を上に移動	Ctrl + [↑]	
	選択した領域を下に移動	Ctrl + [↓]	
	選択した領域を拡大	Ctrl + [+]	
	選択した領域を縮小	Ctrl + [−]	

	内容	キー操作	説明
	読み上げテキストを画像上に表示	F1 または Ctrl + T	

ヘルプ

	内容	キー操作	説明
	ショートカット一覧	Alt + Ctrl + Shift + S	ショートカット一覧を表示します。

その他

	内容	キー操作	説明
	編集画面とインデックスの切替	Ctrl + Shift + TAB F1	インデックスウィンドウと編集ウィンドウのフォーカスを切り替えます。
	数式添字モードの切替	Ctrl + F9	数式の添字の読み上げモードを切り替えます。指数とそれ以外での読み方を指定することができます。
	定型句の挿入	F2	定型句挿入パネルを表示します
	音声付き HTML 出力	Ctrl + Shift + 5	音声付き HTML 形式でエクスポートします。
	タイトル編集を自動設定	Alt + Ctrl + T	セクションタイトルバーのタイトル編集を自動設定します。
	ハイパーリンク	Alt + Shift + L	選択範囲をハイパーリンクにします。すでにハイパーリンクの場合は設定画面を表示します。
	一行読み上げ	Alt + L	行の折り返し位置までを読み上げます。(自動読み上げと同時に設定することはできません。)
	自動読み上げ	Alt + A	ハイライト機能がＯＮの時に自動的に次の行を読み上げます。
	すべて読み上げ	Ctrl + Shift + A	編集画面に表示中のコンテンツをすべて読み上げます。
	表に列を削除	Alt + Ctrl + Shift + C	表の列を削除します。

	内容	キー操作	説明
	表の行を削除	Alt + Ctrl + Shift + R	表の行を削除します。
	表に列を追加	Ctrl + Shift + C Ctrl + Shift + ENTER	表に列を追加します。
	表に行を追加	Ctrl + Shift + R Shift + ENTER	表に行を追加します。
	横書きスタイル 切り替え	Ctrl + Shift + H	選択範囲の横書きスタイルを切り替えます。 枠なし→枠あり→解除の順に切り替わります。
	書式を削除	Alt + DEL	選択範囲の書式設定を削除します。
	読みの設定 (アクセント制御なし)	Alt + Ctrl + Y Alt + Shift + DOWN Ctrl + 4	アクセント制御なしで読み設定ダイアログボックスを表示します。
	行読み上げモードを 切り替え	Ctrl + Shift + F5	行の読み上げモードを切り替ええます。
	読み上げモード 切り替え	Ctrl + F5	詳細読み・簡易読み・標準読みのモードを切り替えます。
	話者の置換	Alt + Ctrl + Shift + V	指定された話者を別の話者に置き換えます。
	コンテンツのリロード	F5	
	やり直し	Ctrl + Y	編集操作をやり直します。
	元に戻す	Alt + BS Ctrl + Z	編集操作を一つ元に戻します。
	次のページへ移動	Alt + DOWN Ctrl + PAGEDOWN	次のページへ移動します。
	前のページへ移動	Alt + UP Ctrl + PAGEUP	前のページへ移動します。
	BrailleInfty を表示	Ctrl + Shift + B	BrailleInfty を表示して、点字編集を行います。